

性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）など
性別にかかわる市民意識調査
(調査結果報告書)

平成 30 年 12 月

名古屋市総務局総合調整部男女平等参画推進室

目次

I. 調査の概要

1. 調査の目的.....	1
2. 調査方法.....	1
調査地域.....	1
標本数.....	1
調査対象.....	1
抽出方法.....	1
調査方法.....	1
調査時期.....	1
回収状況.....	2
集計結果の表示方法について	2
3. 有識者ワーキングの開催	2

II. 回答者の属性

年齢.....	3
結婚.....	3
同居の家族構成.....	4
暮らしむき	4
最終学歴.....	5
職業.....	5
居住区	6

III. 調査結果

1. 性別役割分担意識や性的少数者に関する意識と認知度.....	7
問1 男女や性の多様性に関する意識	7
問2 性的少数者に関する人権上の考え.....	16
問3 性的少数者に関する言葉の認知度.....	17
問4 同性愛者やトランスジェンダーに対する寛容性	26
①「同性が好きである」（同性愛者）などと打ち明けられた場合	26
②「自分の性別に違和感を持っている」（トランスジェンダー）などと打ち明けられた場合	35
性別役割分担意識や性的少数者に関する意識と認知度について	44
2. 周囲の性的少数者	45
問5 周囲に性的少数者がいるかということ	45
問6 周囲の性的少数者との関係	46
問7 周囲の性的少数者の人数.....	47

問 8 性的少数者から打ち明けられた経験	48
周囲の性的少数者について	49
3. 性的少数者に対し必要な意識啓発や支援.....	50
問 9 性的少数者に対し必要な意識啓発や支援	50
性的少数者に対し必要な意識啓発や支援について	51
4. 性的少数者に関する情報	52
問 10 性的少数者に関する情報源.....	52
問 11 セクシュアル・マイノリティに関しての知識欲.....	53
性的少数者に関する情報について	54
5. 性的少数者の当事者であること	55
問 12 性的少数者の当事者であるか	55
問 13 当事者の性的指向、性自認.....	56
問 14 性的少数者であると意識し始めた時期	57
問 15 性的少数者であると打ち明けた人数	58
問 16 性的少数者であると打ち明けた相手	59
問 17 当事者が抱えている悩みや困りごと	60
性的少数者の当事者であることについて	61
IV. クロス集計	
性的少数者の当事者の意識や認知度等	62
V. 資料	
調査票.....	66

I. 調査の概要

1. 調査の目的

名古屋市では、LGBT など性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）の方々の生き方が尊重されるよう、「男女平等参画基本計画 2020」や「新たなごや人権施策推進プラン」に基づき、偏見や差別の解消に向けた取組の推進に努めています。

また国では、「第 4 次男女共同参画基本計画」において、「性的指向や性同一性障害を理由として困難な状況に置かれている場合」等について、人権教育・啓発活動の促進等の取組を進めています。

こうしたことを踏まえ、この調査は、市民の性的少数者に関する意識や知識等を把握し、本市の今後の施策の参考とするための基礎資料とすることを目的に実施したものです。

2. 調査方法

調査地域

名古屋市全域

標本数

10,000 人

調査対象

市内に居住する満 18 歳以上の者

抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

調査方法

郵送配布・郵送回収

調査時期

平成 30 年 7 月 17 日から 31 日

回収状況

- 配布数 : 10,000 件
- 回収数 : 4,767 件
- 回収率 : 47.7%
- 有効回収数 : 4,655 件 (男性 2,051 人、女性 2,604 人)
- 有効回収率 : 46.6%

※白紙票や性別・年齢無回答数については分析対象には含めず、統計グラフには表記していない。

集計結果の表示方法について

回答は各質問の回答者数 (N) を基数とした百分率 (%) で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。

複数回答が可能な質問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。

3. 有識者ワーキングの開催

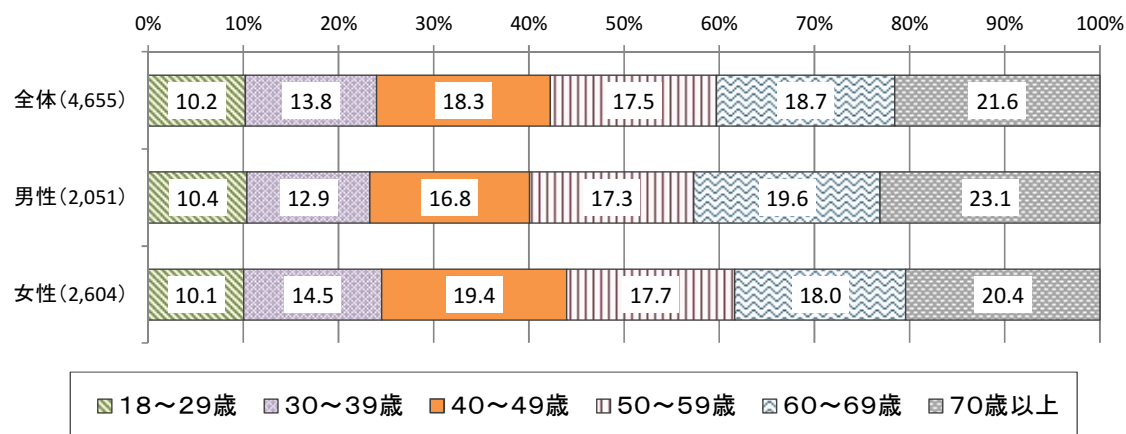
本調査を実施するにあたり、調査項目の検討及び調査結果の分析等を行うため、有識者ワーキングを開催しました。メンバーは以下の通りです。(五十音順)

- 太田 有矢 (株式会社 G-pit net works 取締役)
- 風間 孝 (中京大学 国際教養学部 教授)
- 末盛 慶 (日本福祉大学 社会福祉学部 准教授)
- 松岡 成子 (NPO 法人 ASTA 共同代表理事)

II. 回答者の属性

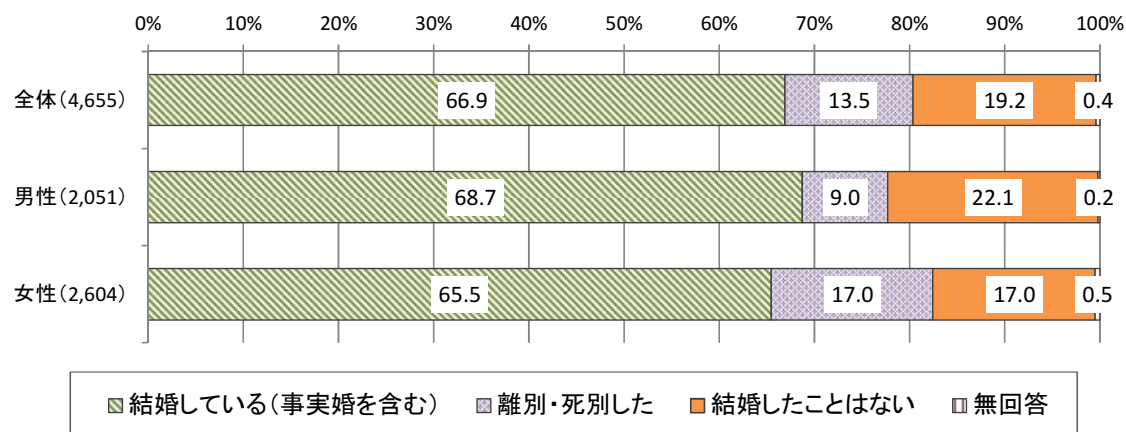
年齢

(N=4,655)



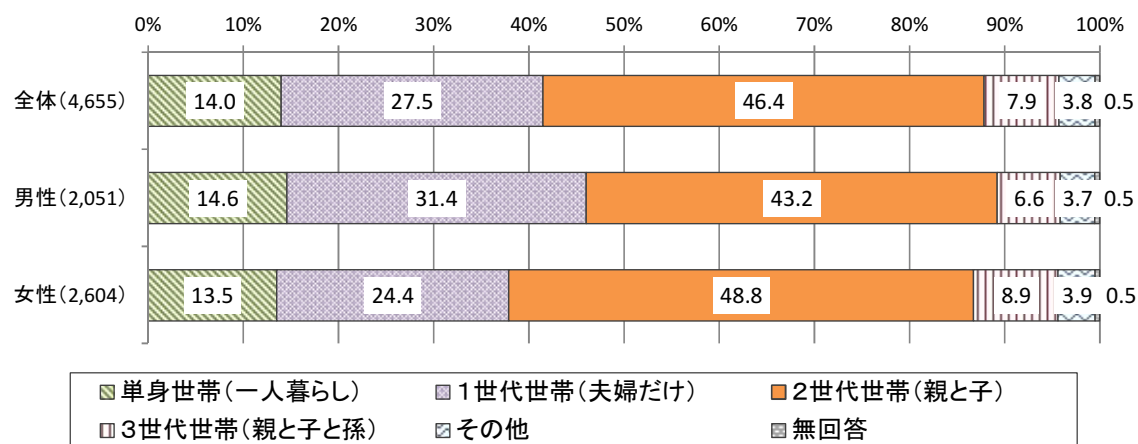
結婚

(N=4,655)



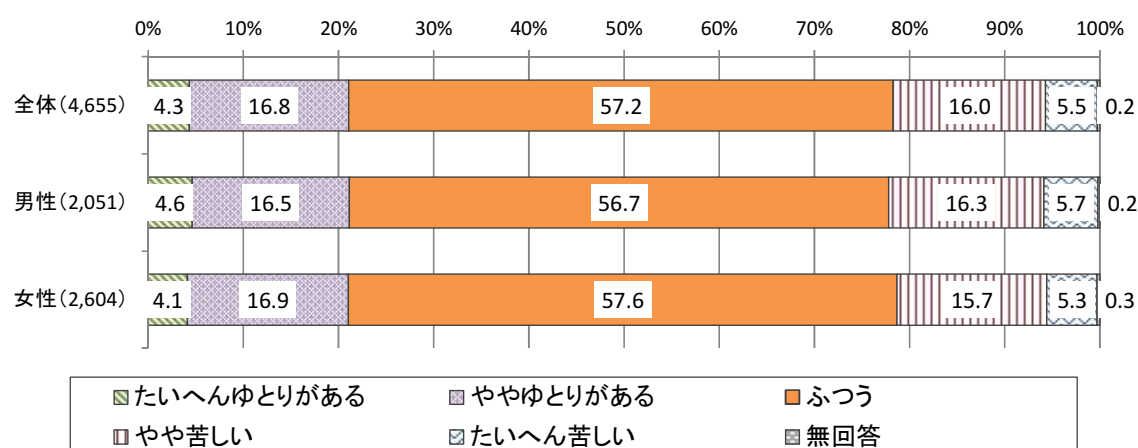
同居の家族構成

(N=4,655)



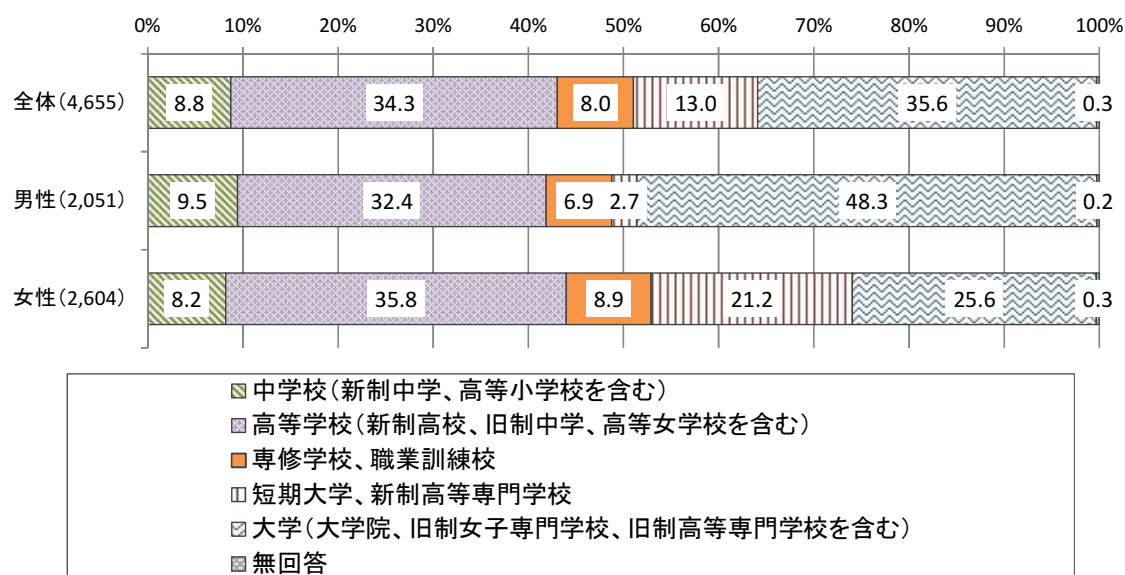
暮らしむき

(N=4,655)



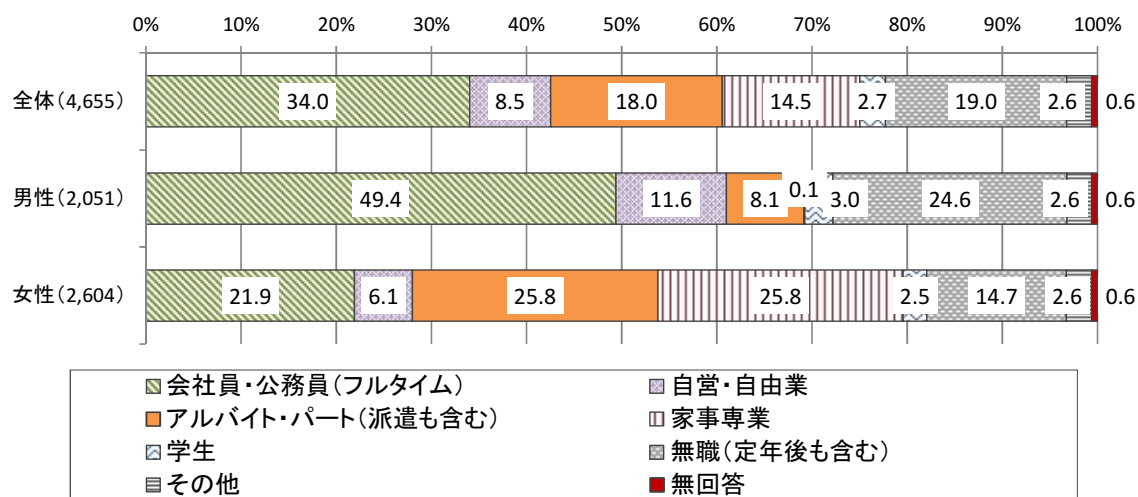
最終学歴

(N=4,655)



職業

(N=4,655)



居住区

(N=4,655)

区分	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区
全体	(7.2%) 334 人	(3.5%) 165 人	(7.4%) 343 人	(6.5%) 303 人	(5.6%) 261 人	(3.1%) 146 人	(4.6%) 214 人	(5.4%) 253 人	(2.9%) 135 人
男性	(6.6%) 135 人	(3.2%) 66 人	(7.8%) 159 人	(6.5%) 133 人	(5.1%) 105 人	(3.3%) 67 人	(4.7%) 97 人	(5.7%) 117 人	(2.9%) 60 人
女性	(7.6%) 199 人	(3.8%) 99 人	(7.1%) 184 人	(6.5%) 170 人	(6.0%) 156 人	(3.0%) 79 人	(4.5%) 117 人	(5.2%) 136 人	(2.9%) 75 人

区分	中川区	港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区	無回答	合計
全体	(9.1%) 425 人	(5.2%) 242 人	(5.5%) 255 人	(7.3%) 339 人	(11.3%) 528 人	(7.1%) 331 人	(7.3%) 342 人	(0.8%) 39 人	(100%) 4,655 人
男性	(8.6%) 177 人	(5.7%) 117 人	(6.5%) 134 人	(7.4%) 151 人	(12.1%) 248 人	(6.4%) 131 人	(6.7%) 138 人	(0.8%) 16 人	(100%) 2,051 人
女性	(9.5%) 248 人	(4.8%) 125 人	(4.6%) 121 人	(7.2%) 188 人	(10.8%) 280 人	(7.7%) 200 人	(7.8%) 204 人	(0.9%) 23 人	(100%) 2,604 人

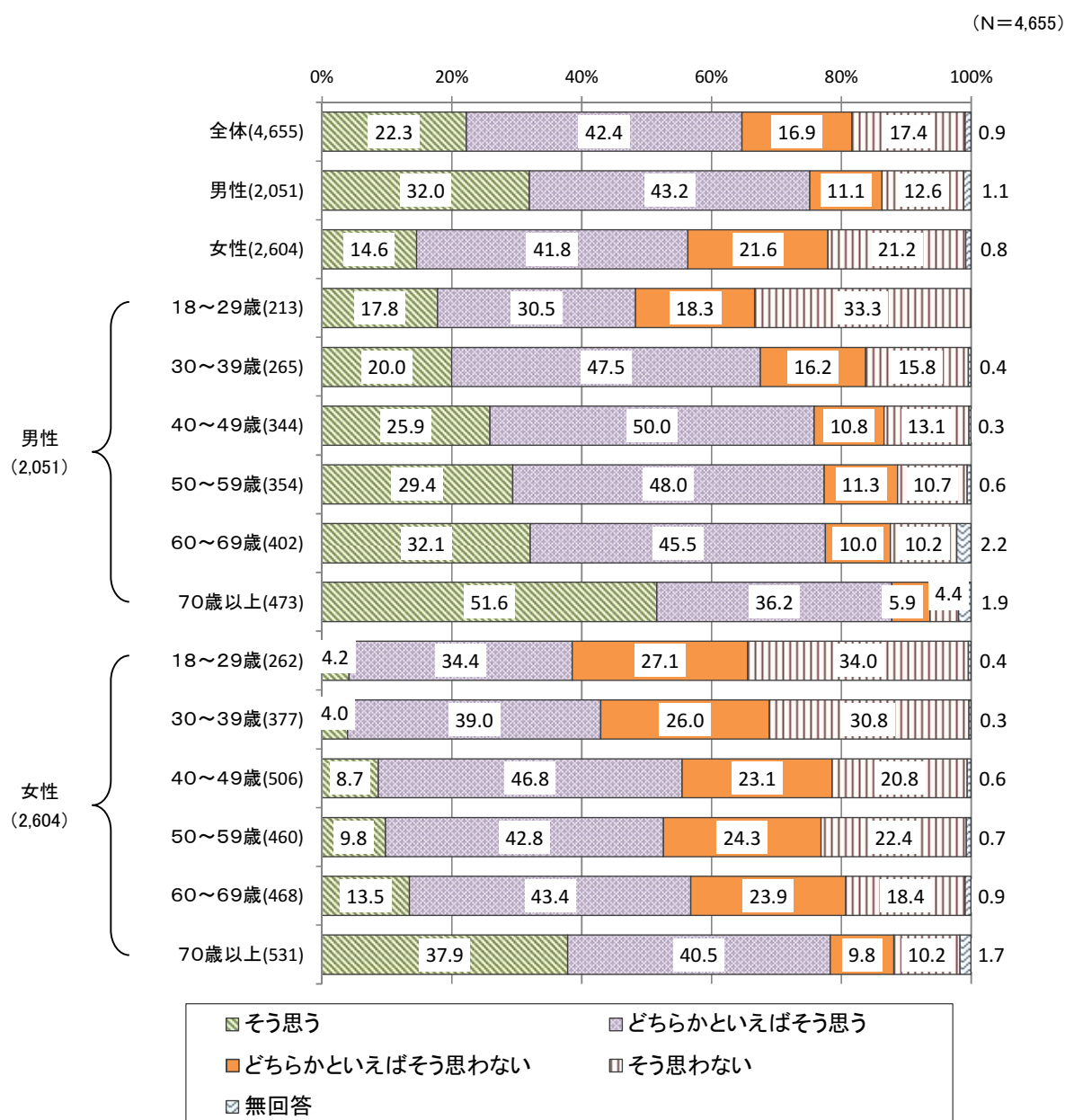
III. 調査結果

1. 性別役割分担意識や性的少数者に関する意識と認知度

問1 男女や性の多様性に関する意識

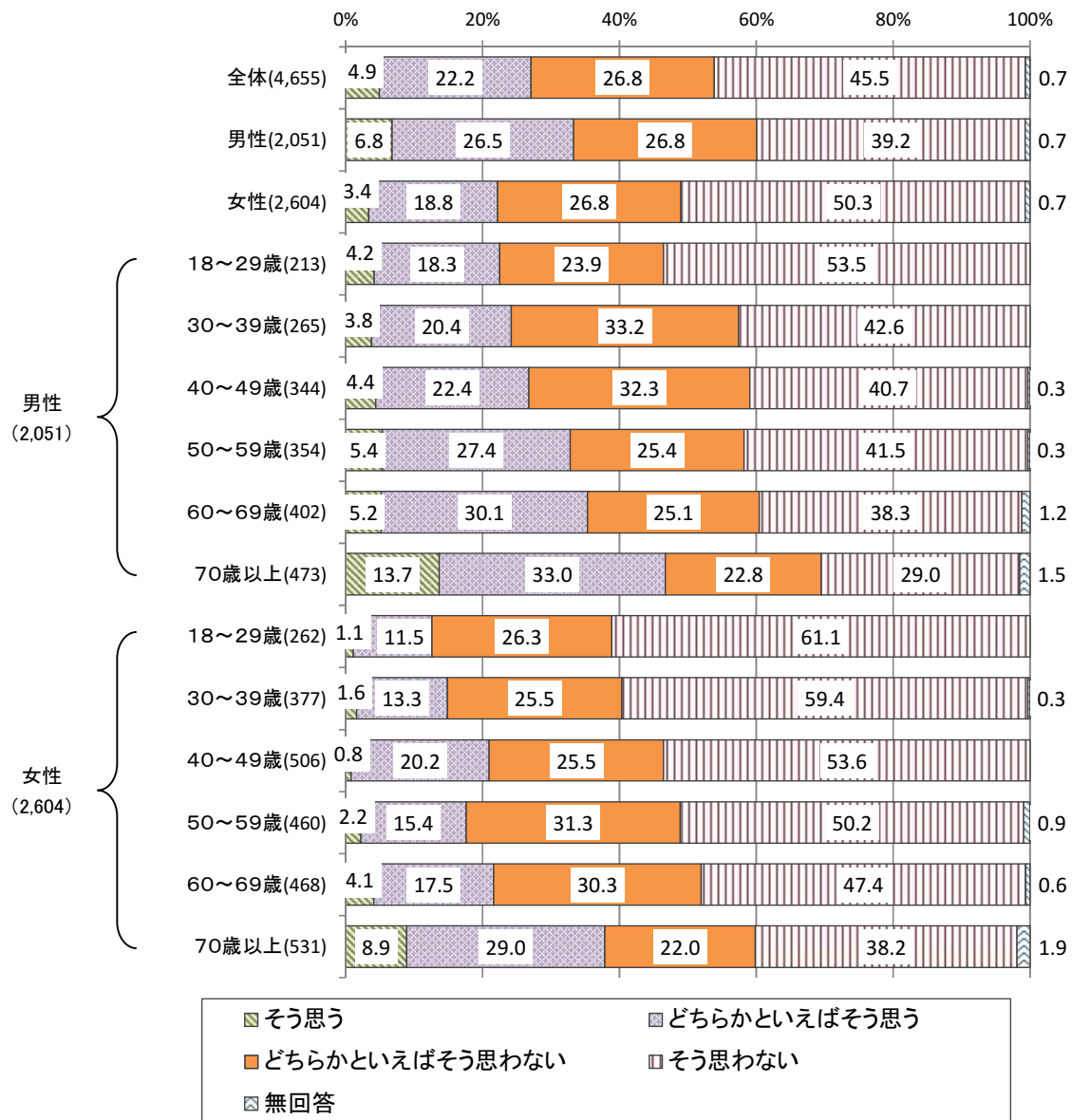
次のア～ケのそれぞれについて、あなたのお考えやお気持ちにもっとも近いものを1～4、から1つ選んで○をつけてください。【回答者：全員】

ア 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるべきだ



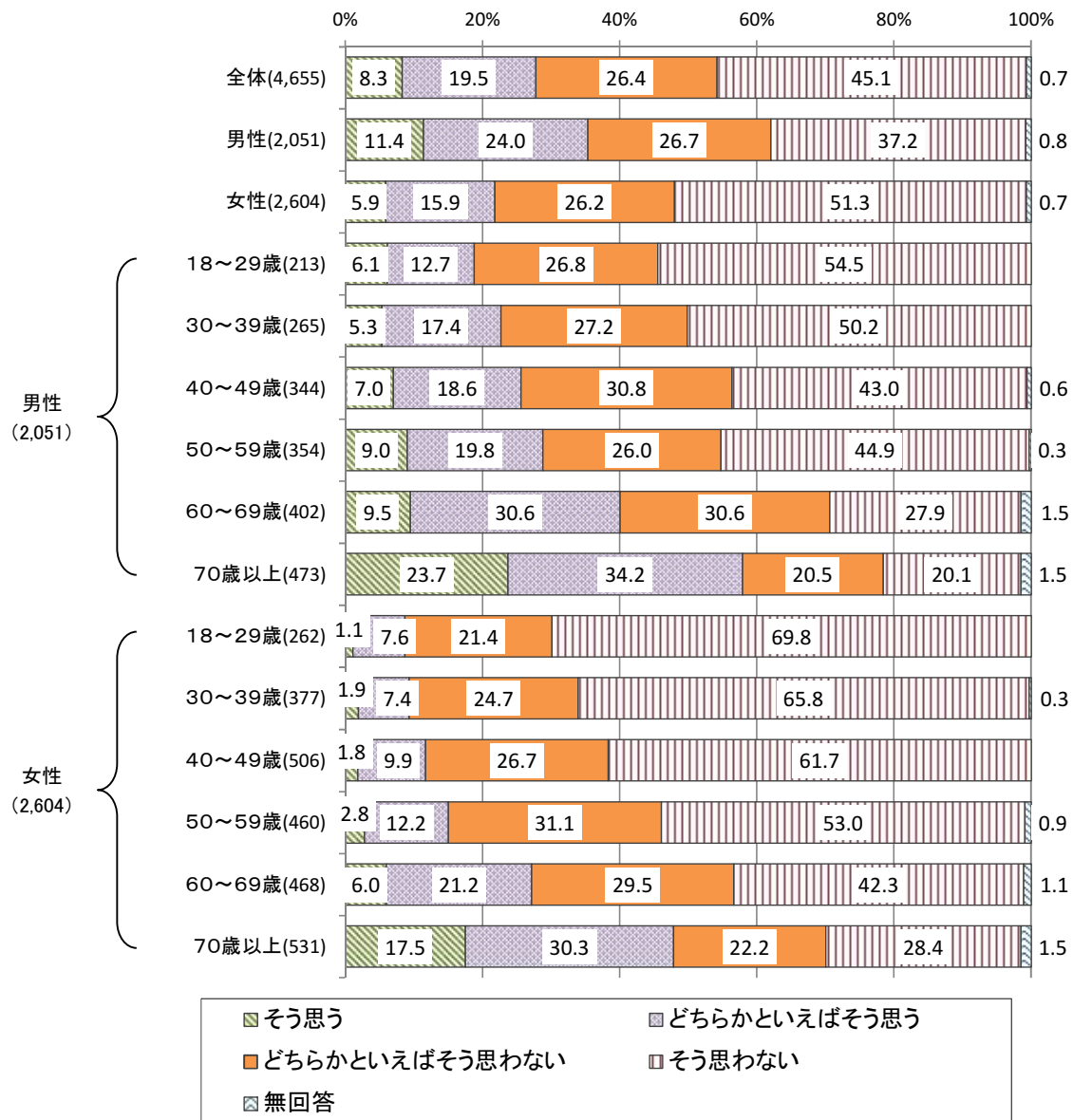
イ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

(N=4,655)



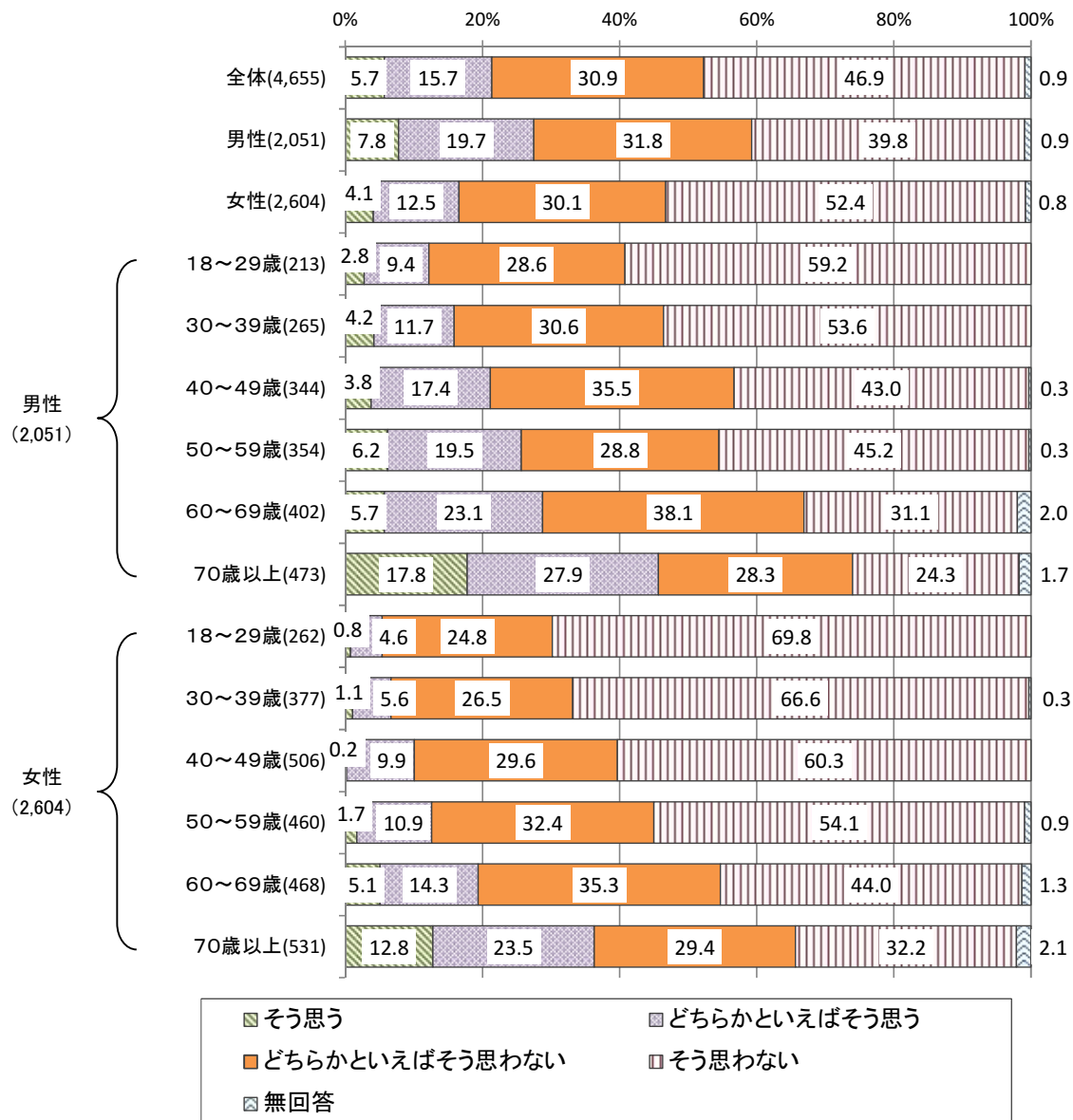
ウ 女性のような男性をみると、不快になる

(N=4,655)



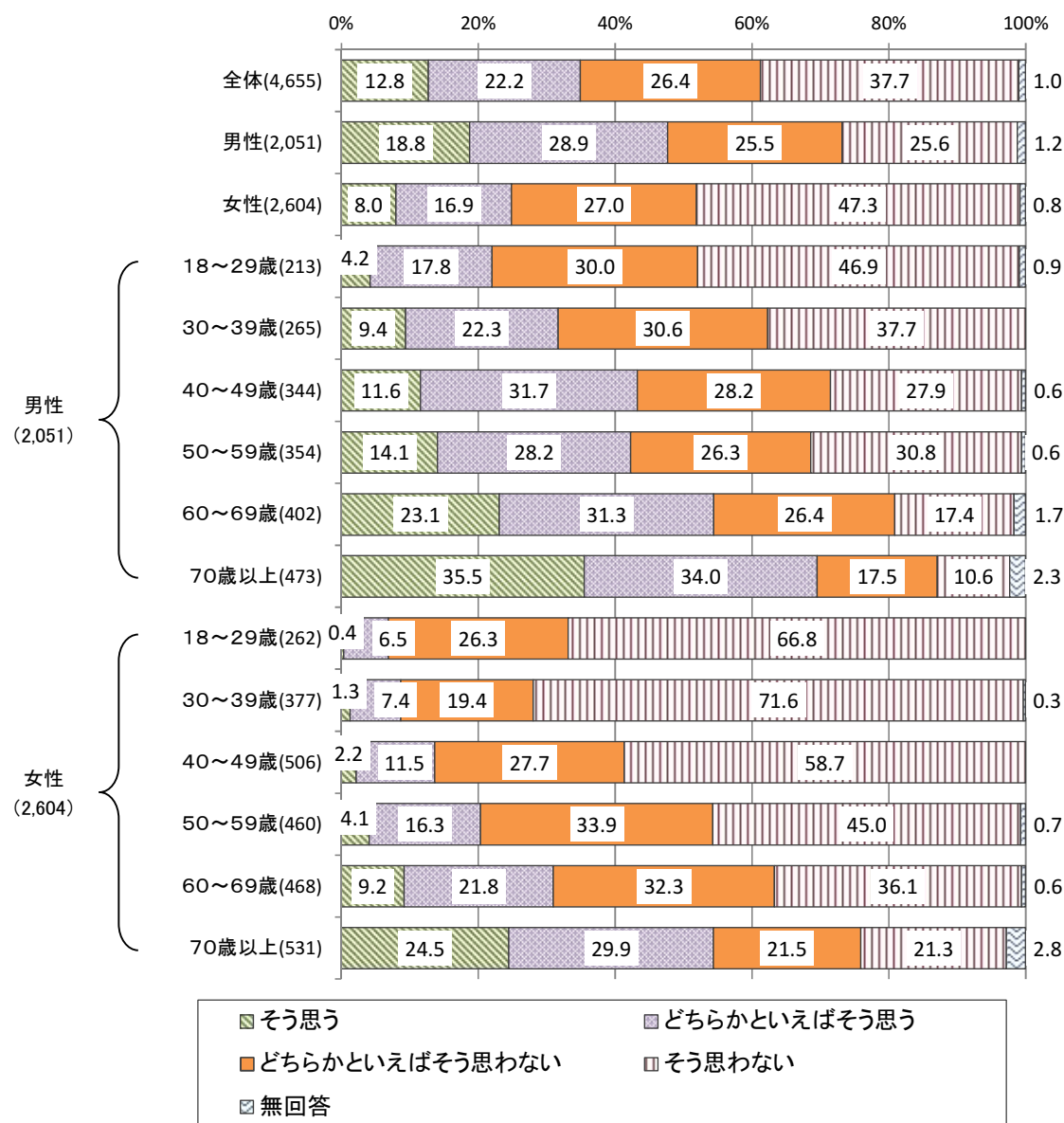
エ 男性のような女性をみると、不快になる

(N=4,655)



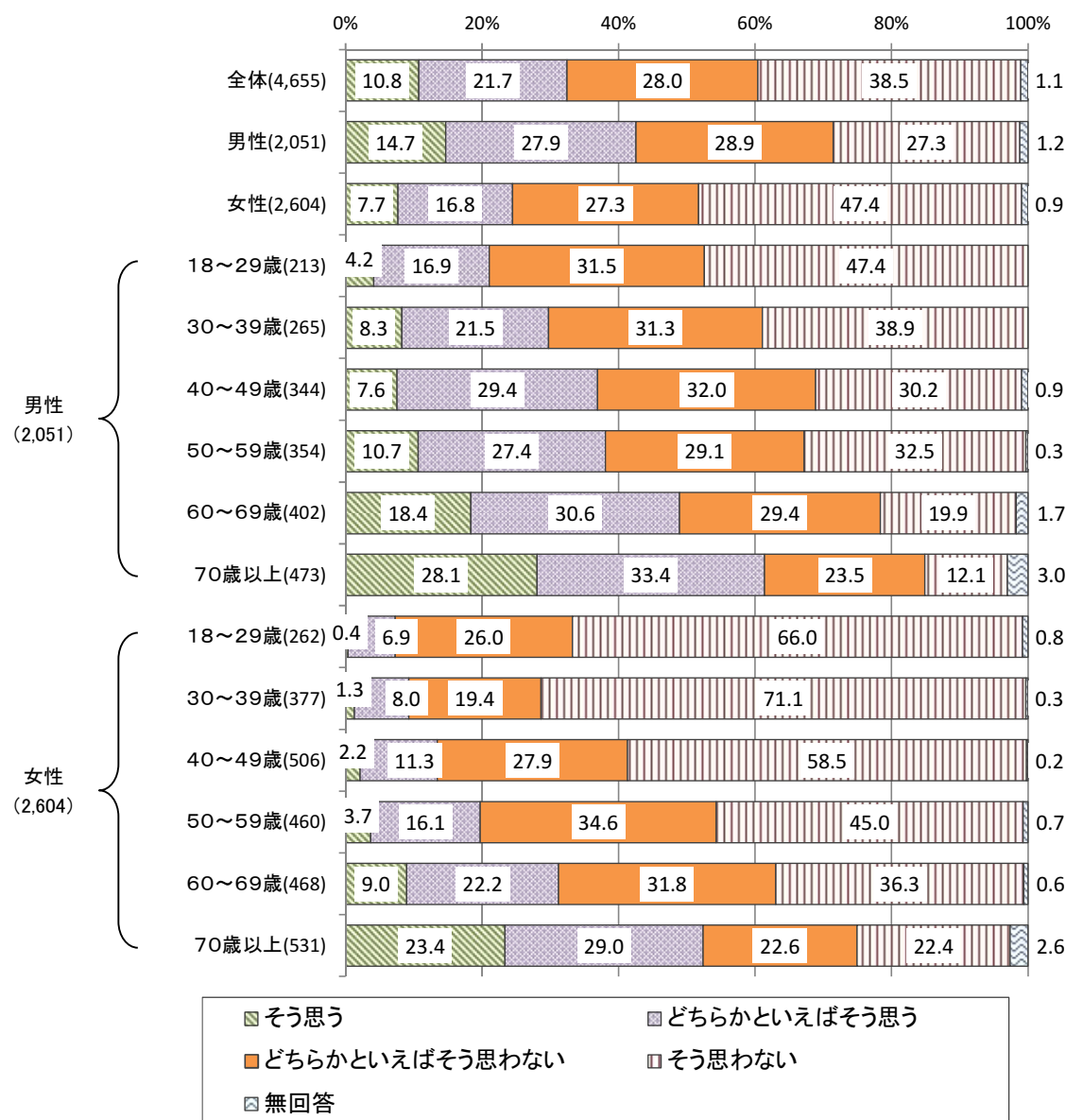
オ 男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい

(N=4,655)



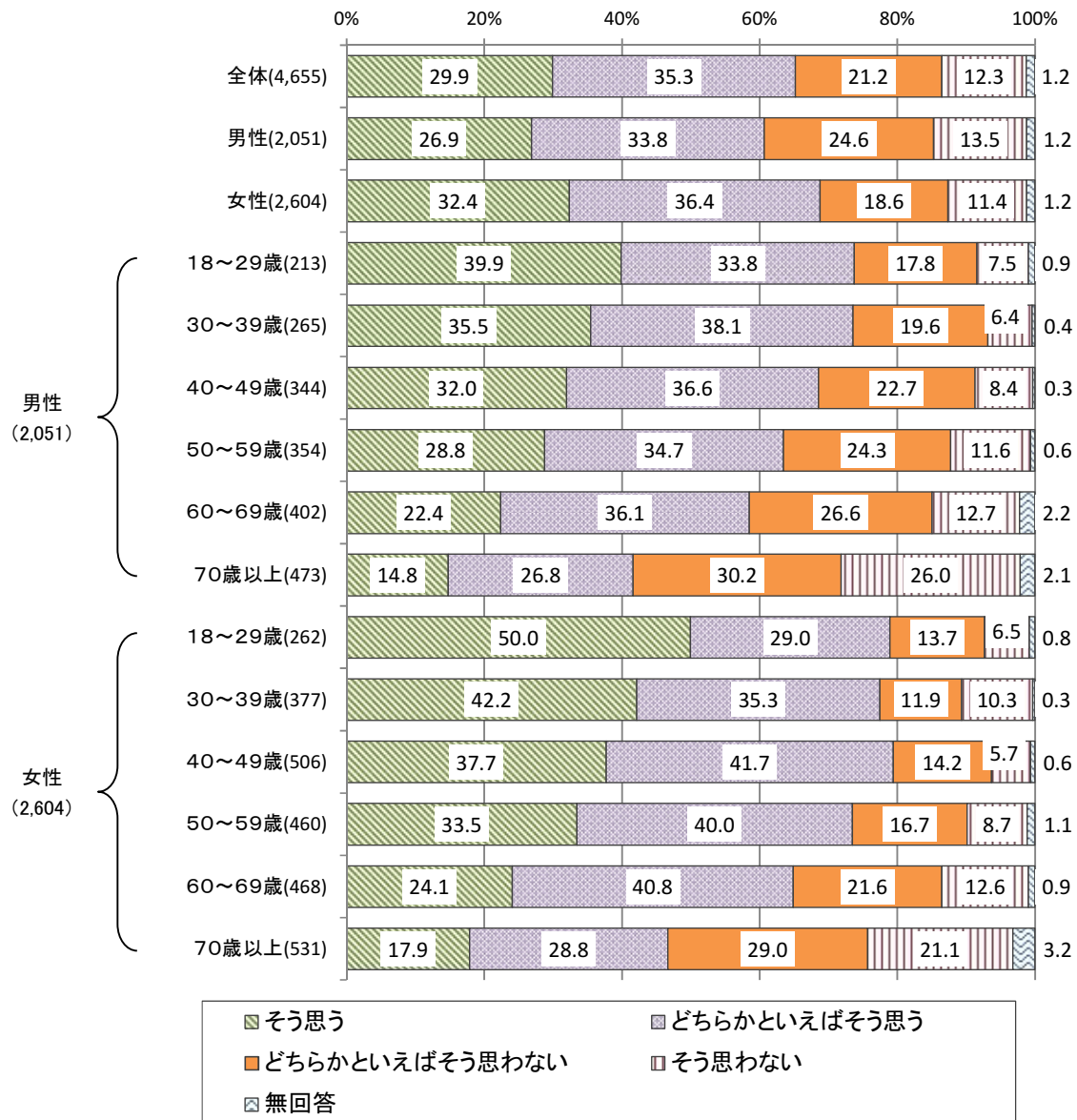
カ 女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい

(N=4,655)



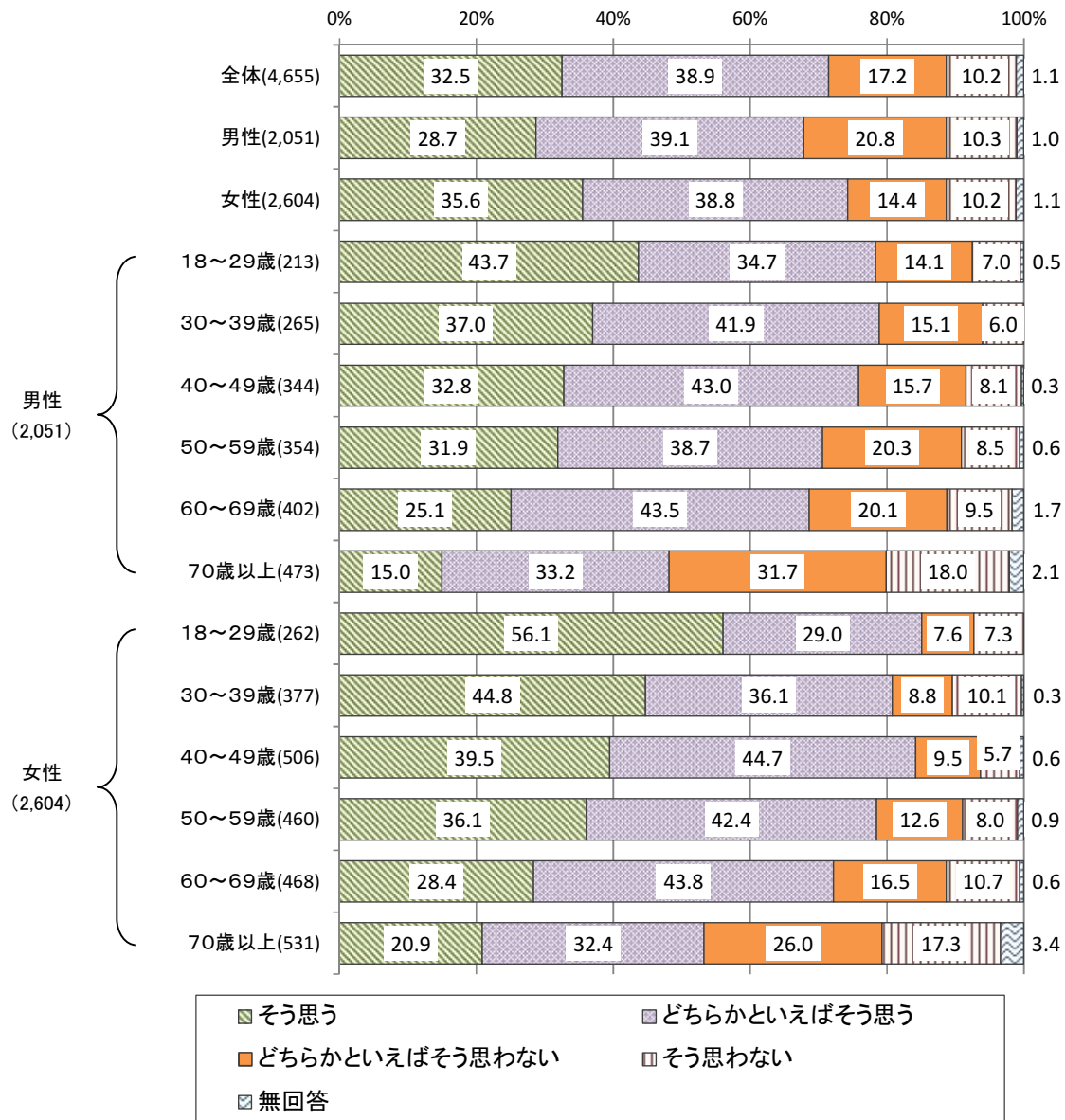
キ 男性には女性のような服装をする自由がある

(N=4,655)



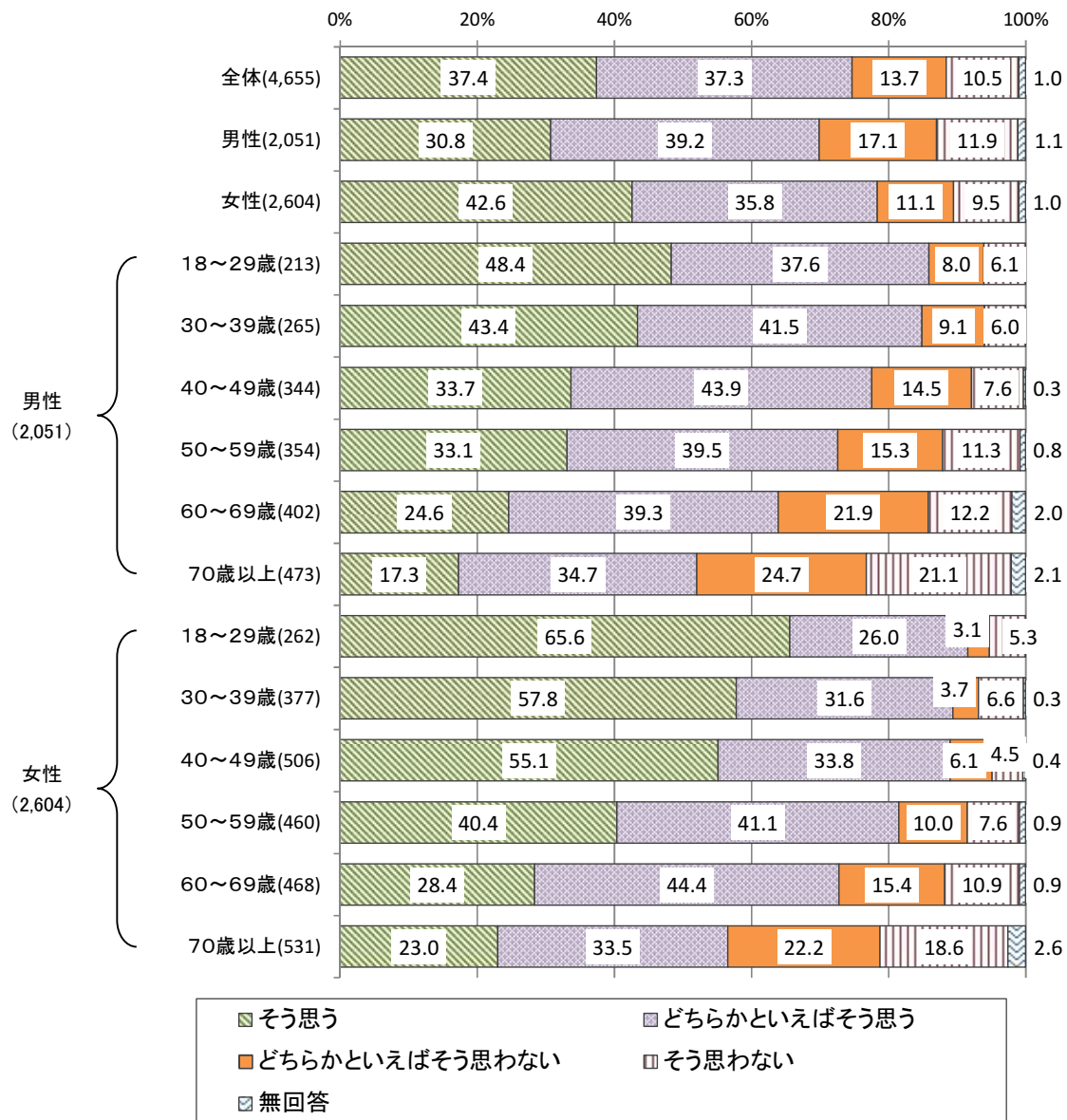
ク 女性には男性のような服装をする自由がある

(N=4,655)



ケ 同性を好きになることも性の多様性として認めるべきである

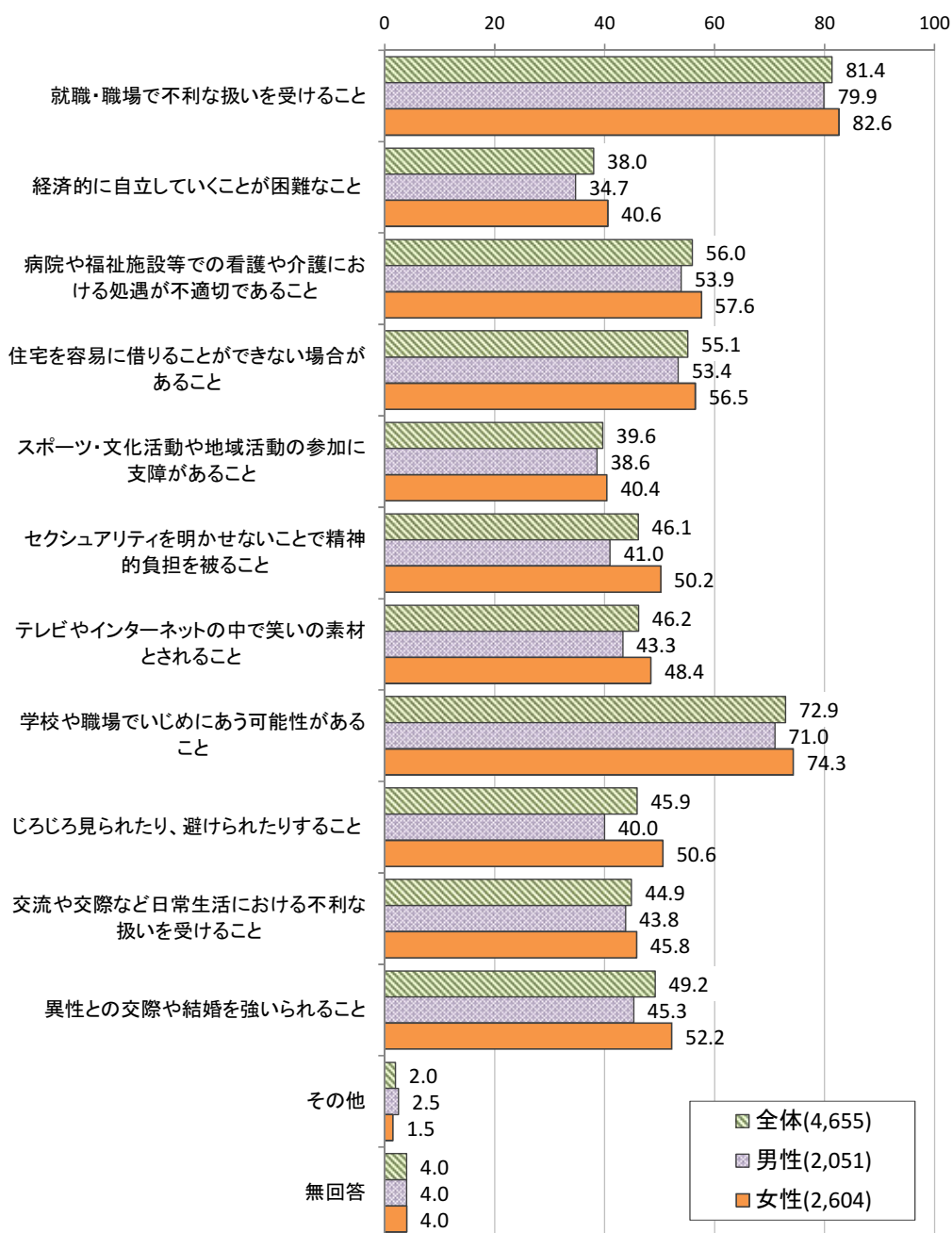
(N=4,655)



問2 性的少数者に関する人権上の考え

次の性的少数者に関する事からで、人権上問題があると思われるものはどれですか。(〇はいくつでも)【回答者：全員】

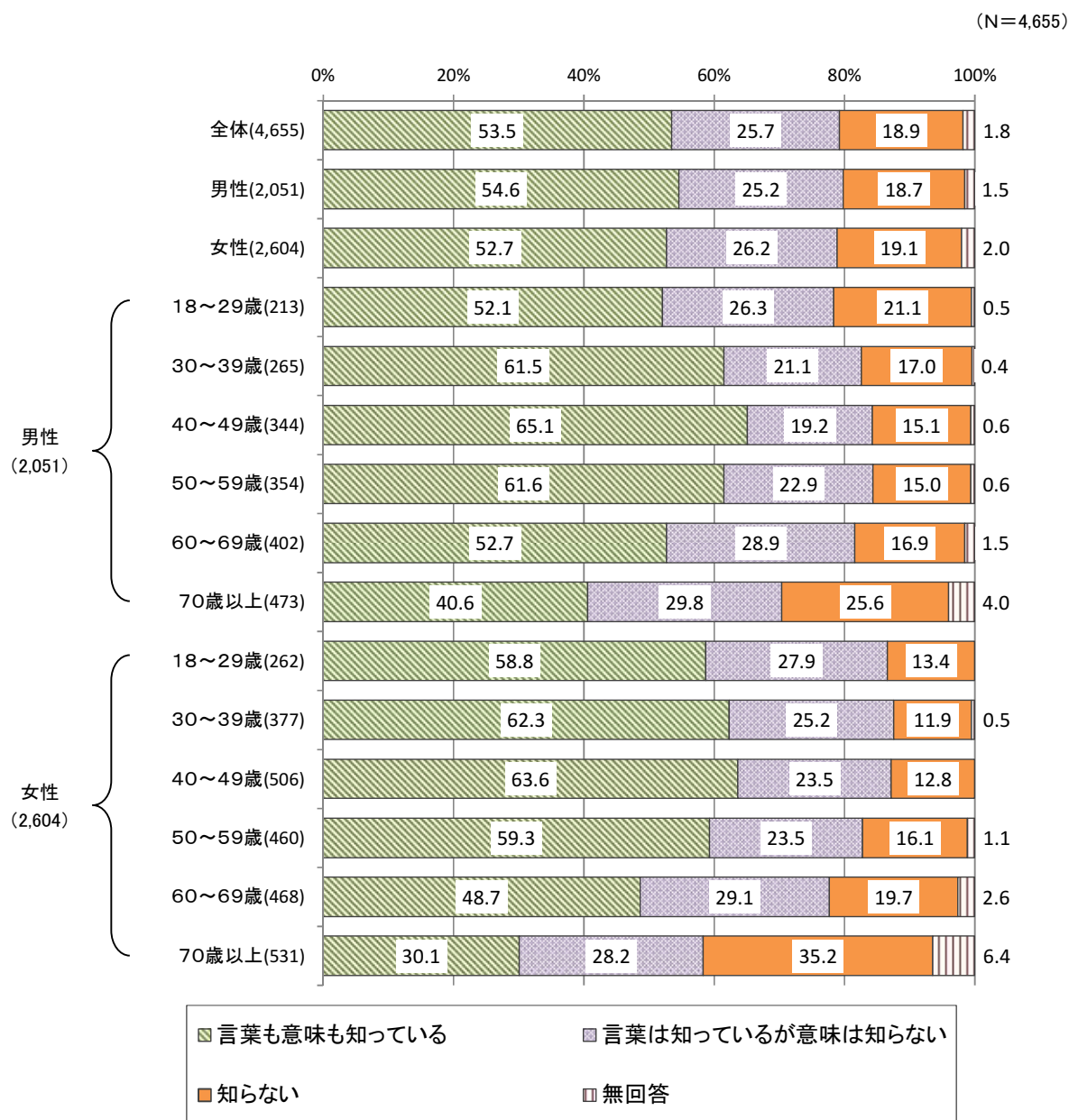
(N=4,655)



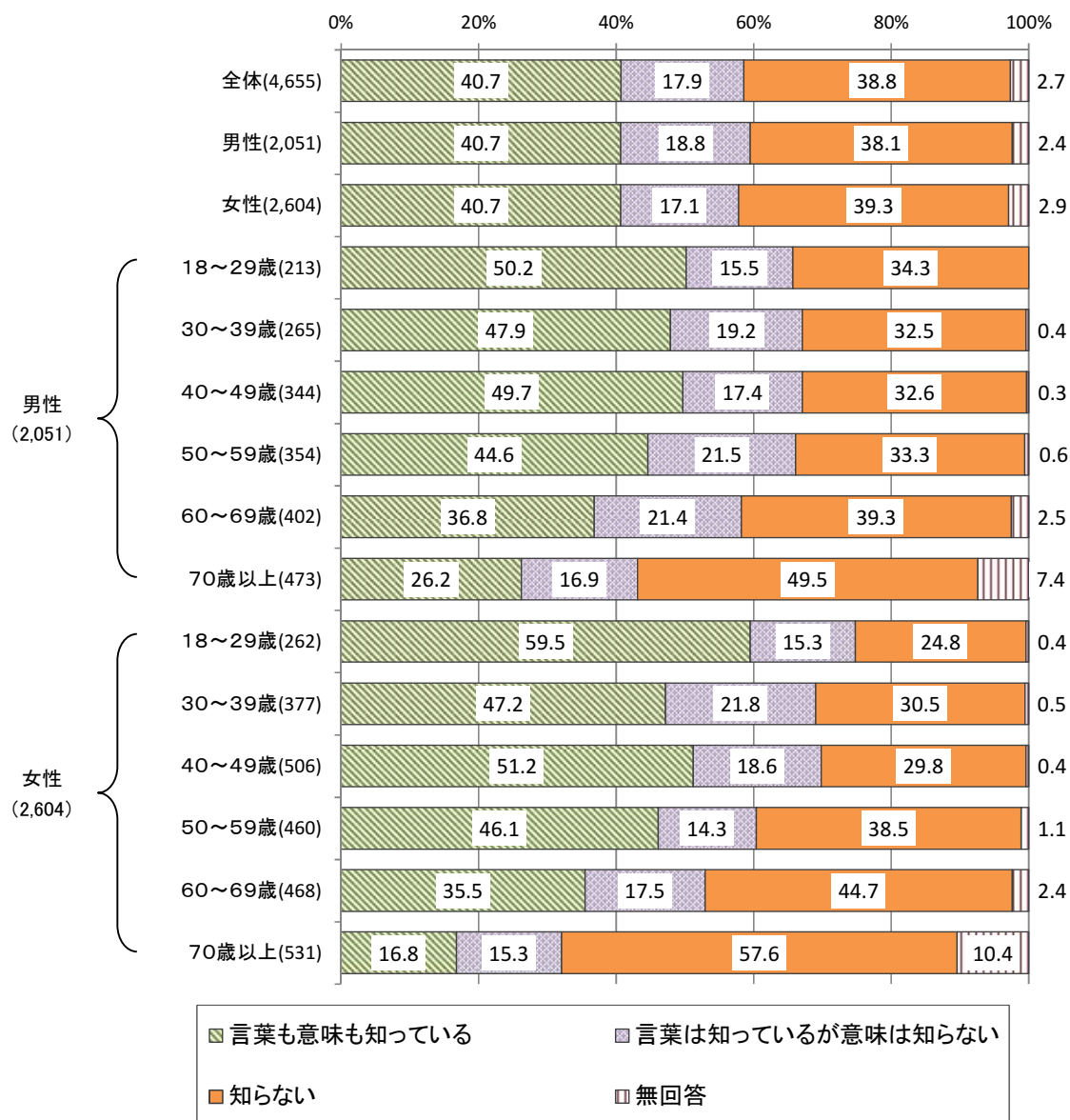
問3 性的少数者に関する言葉の認知度

次のア～ケの言葉と意味について、知っていますか。次の1～3、から1つ選んで○をつけてください。（それぞれ○は1つ）【回答者：全員】

ア セクシュアル・マイノリティ(性的少数者、性的マイノリティ)



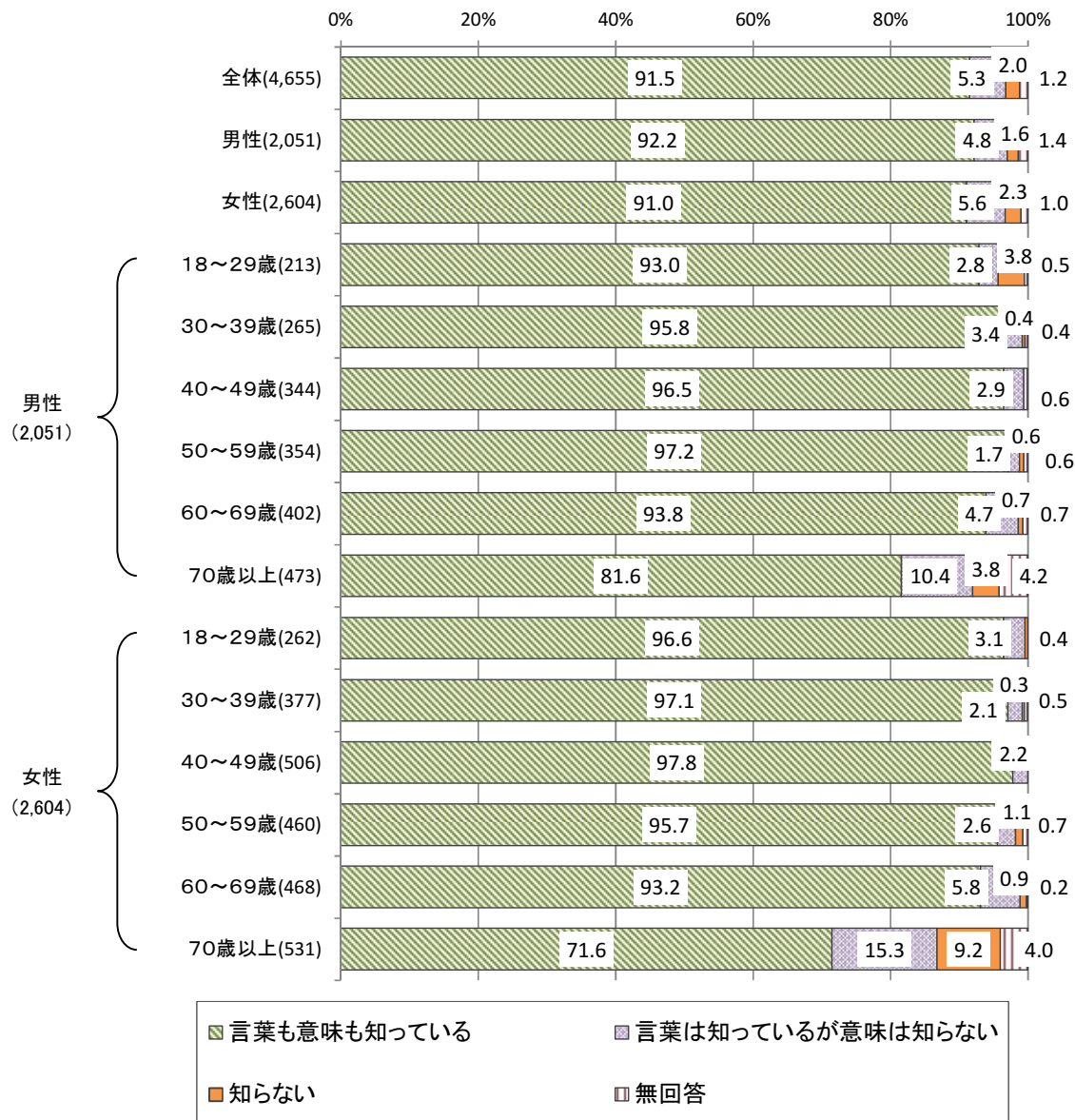
(N=4,655)



注1) 性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）の一部で、L（レズビアン：女性の同性愛者）、G（ゲイ：男性の同性愛者）、B（バイセクシュアル：両性愛者）、T（トランスジェンダー：性同一性障害・性別違和など）の頭文字を合わせた言葉です。

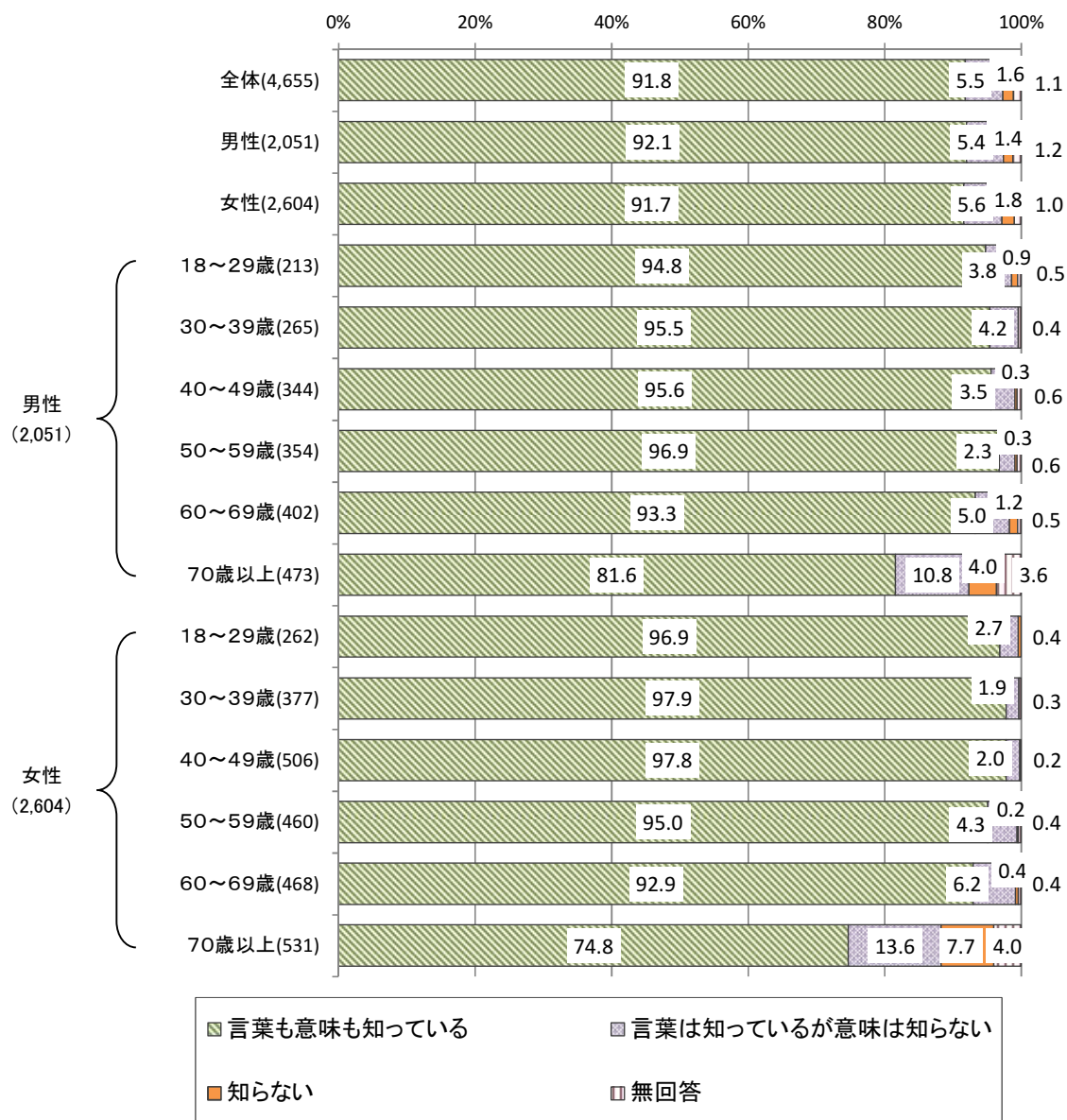
ウ レズビアン

(N=4,655)



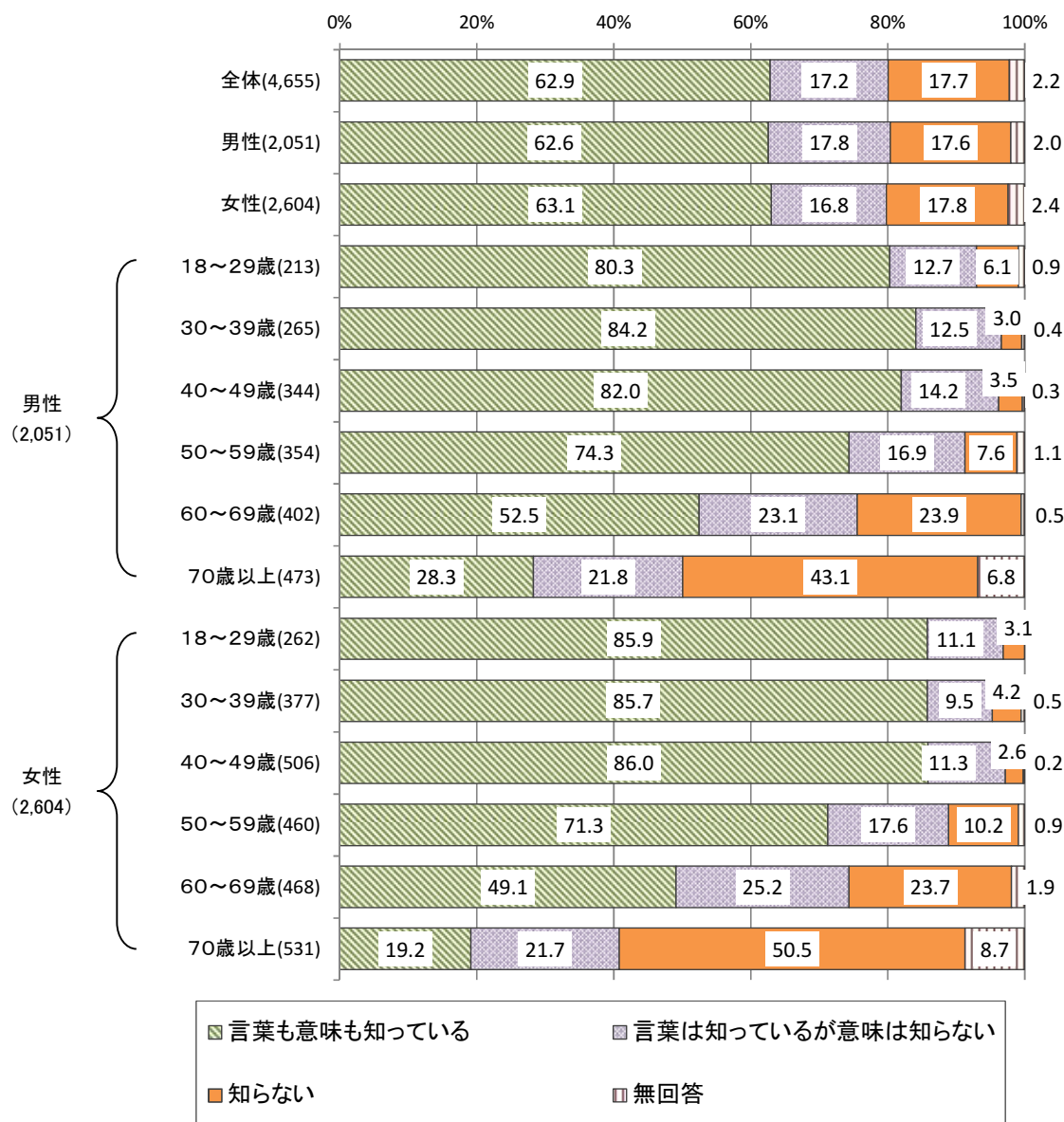
エ デイ

(N=4,655)



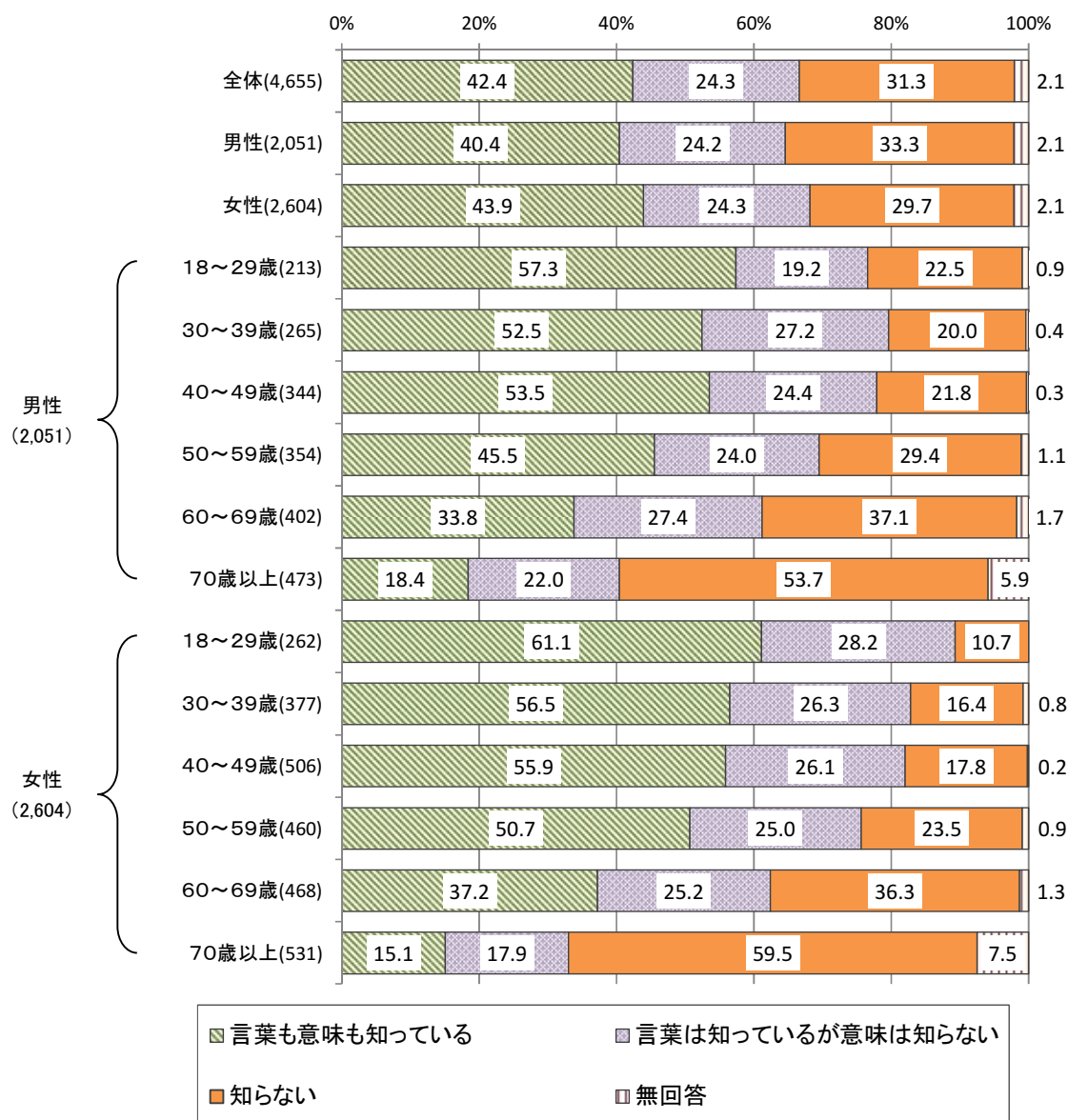
オ バイセクシュアル

(N=4,655)



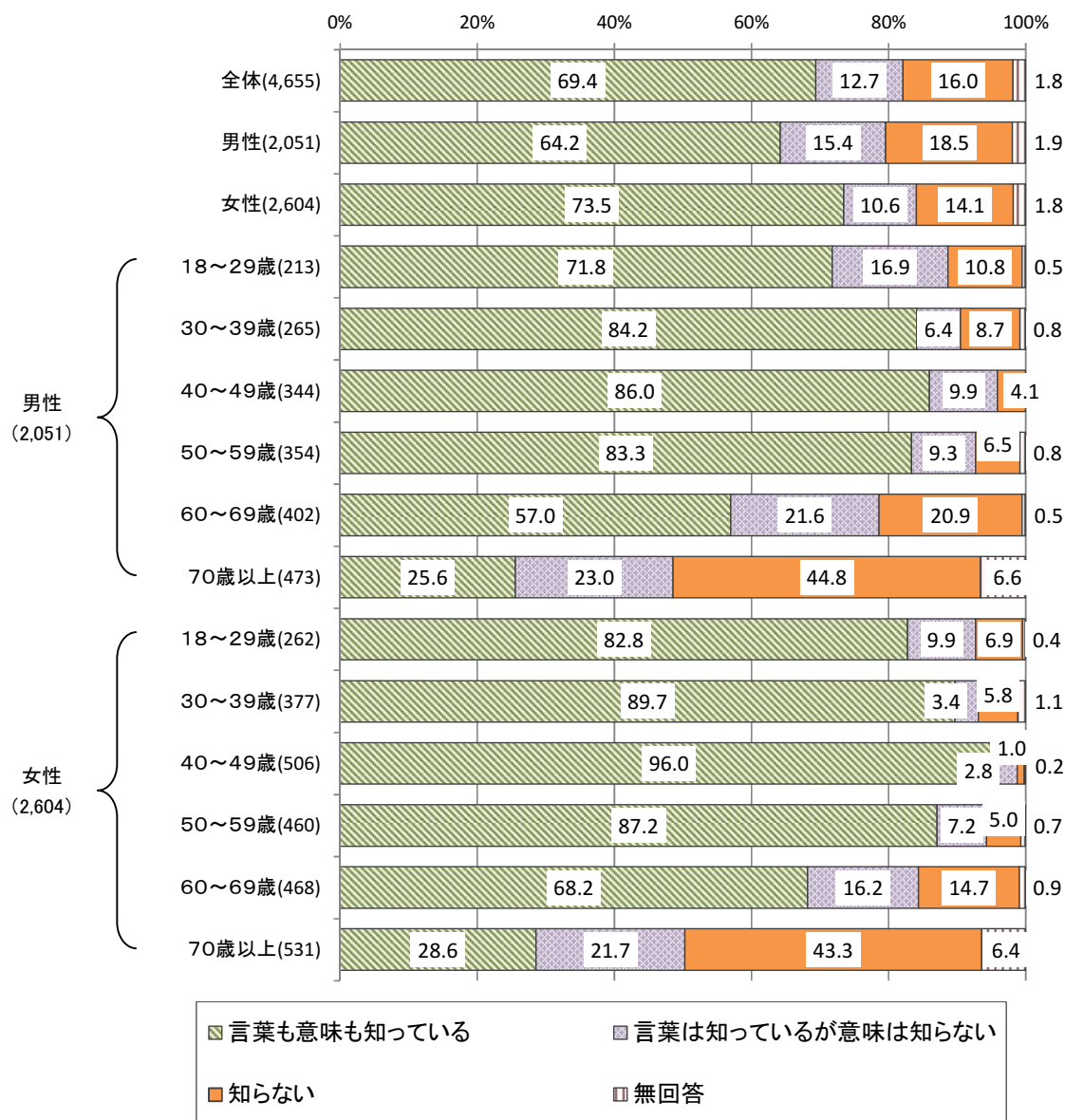
カ トランスジェンダー

(N=4,655)



キ カミングアウト^{注2}

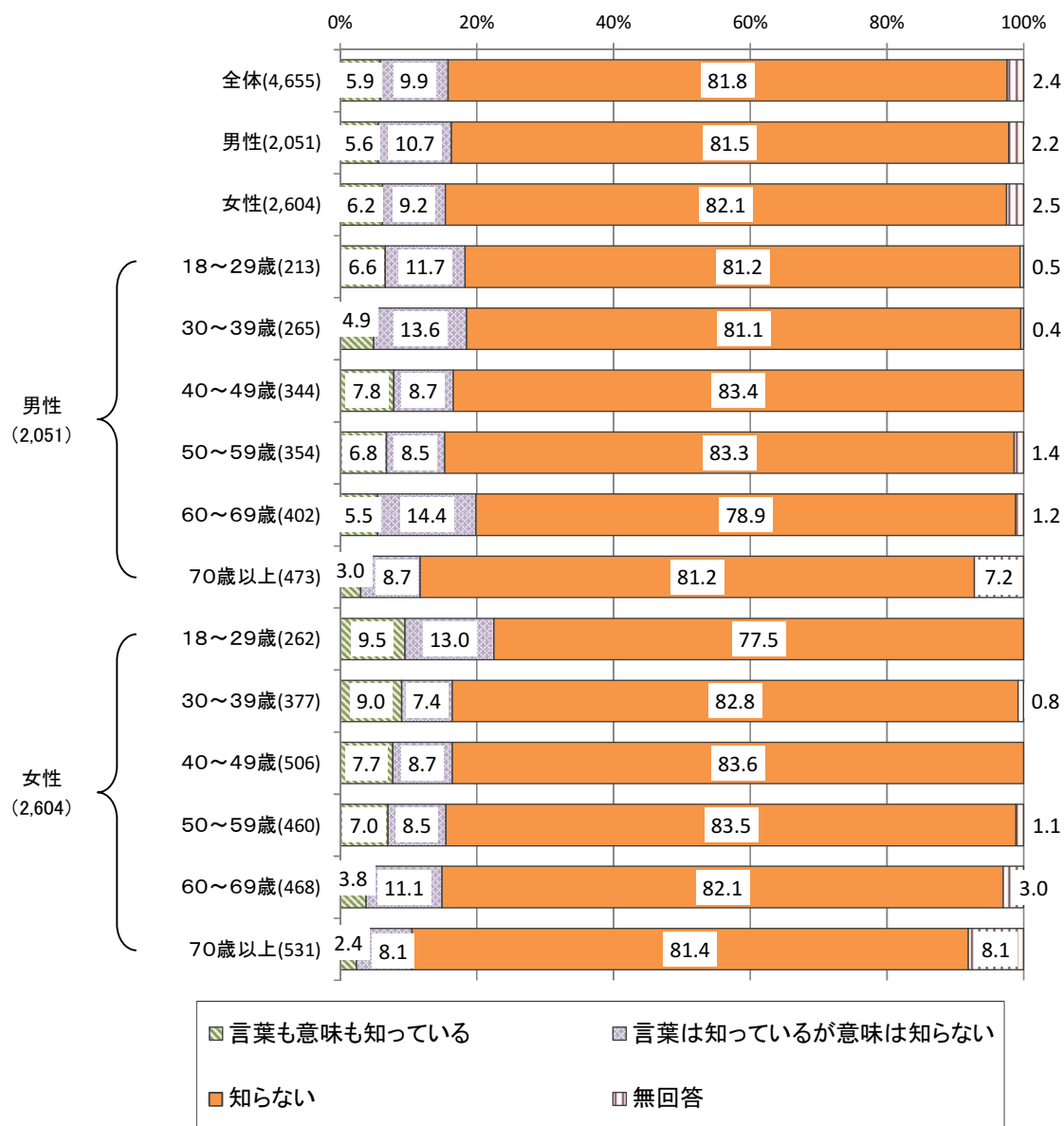
(N=4,655)



注2) 今まで公にしていなかった自らの性的指向等を表明すること。

ク アウティング^{注3}

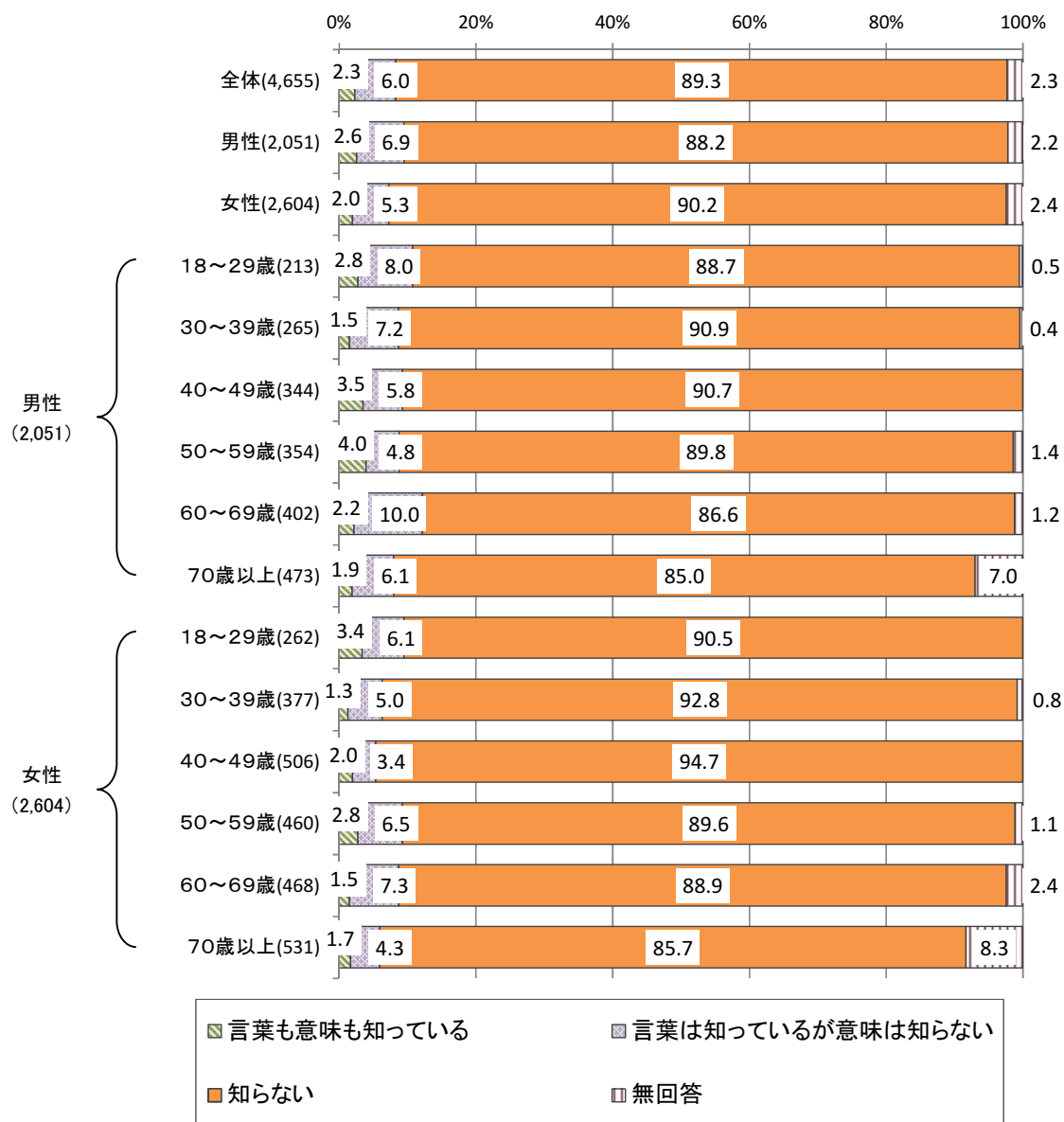
(N=4,655)



注3) 本人の了解を得ずに、公にしている性的指向等の秘密を暴露すること。

ケ SOGI^{注4}

(N=4,655)



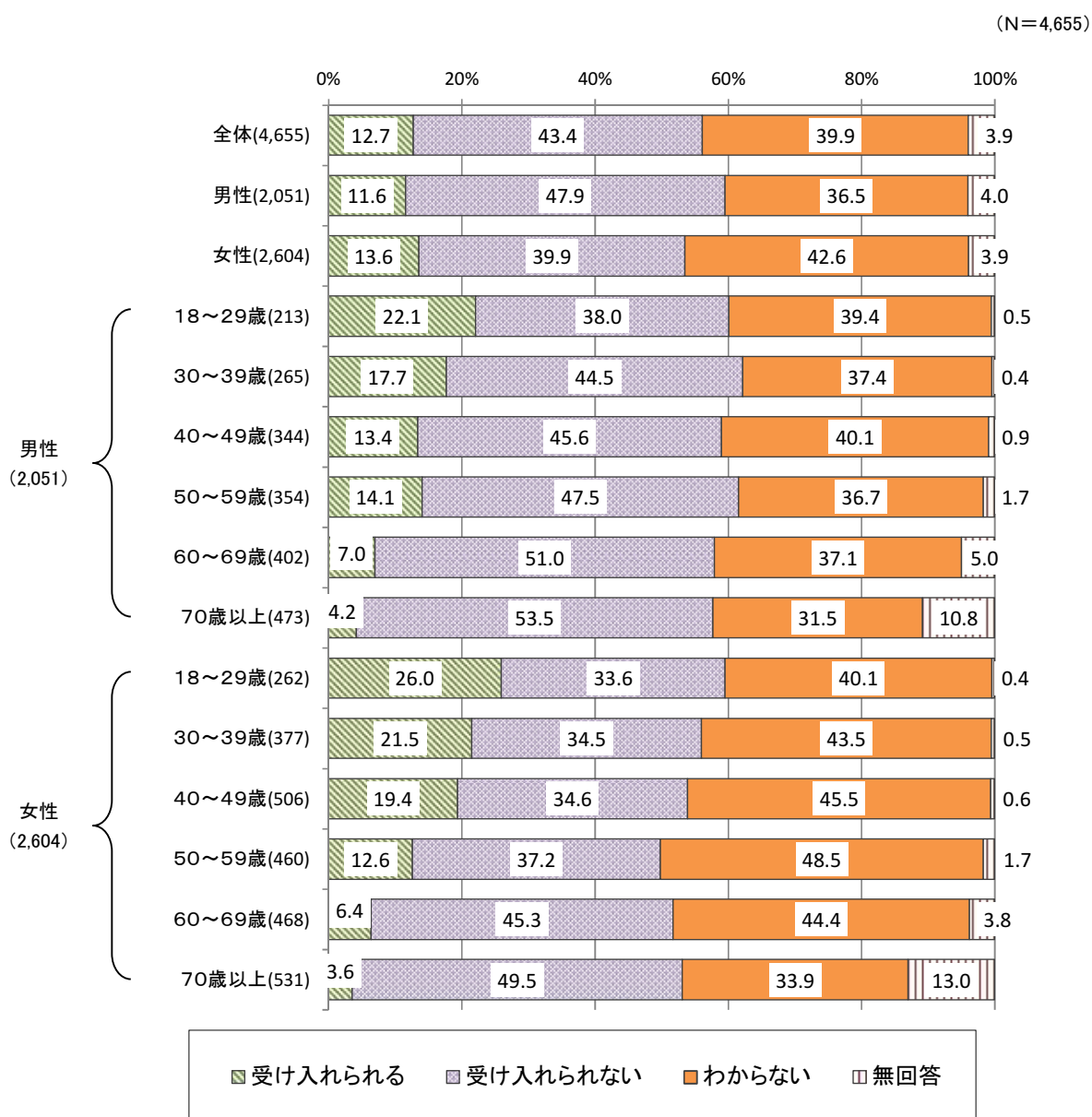
注4) 性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字を合わせた言葉。

問4 同性愛者やトランスジェンダーに対する寛容性

あなたは、次のア～ケの身近な人から、①「同性が好きである」(同性愛者)や、②「自分の性別に違和感を持っている」(トランスジェンダー)などと打ち明けられたとき、受け入れられますか。あなたのお気持ちにもっとも近いものを、①②それぞれについて1～3、から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)【回答者：全員】

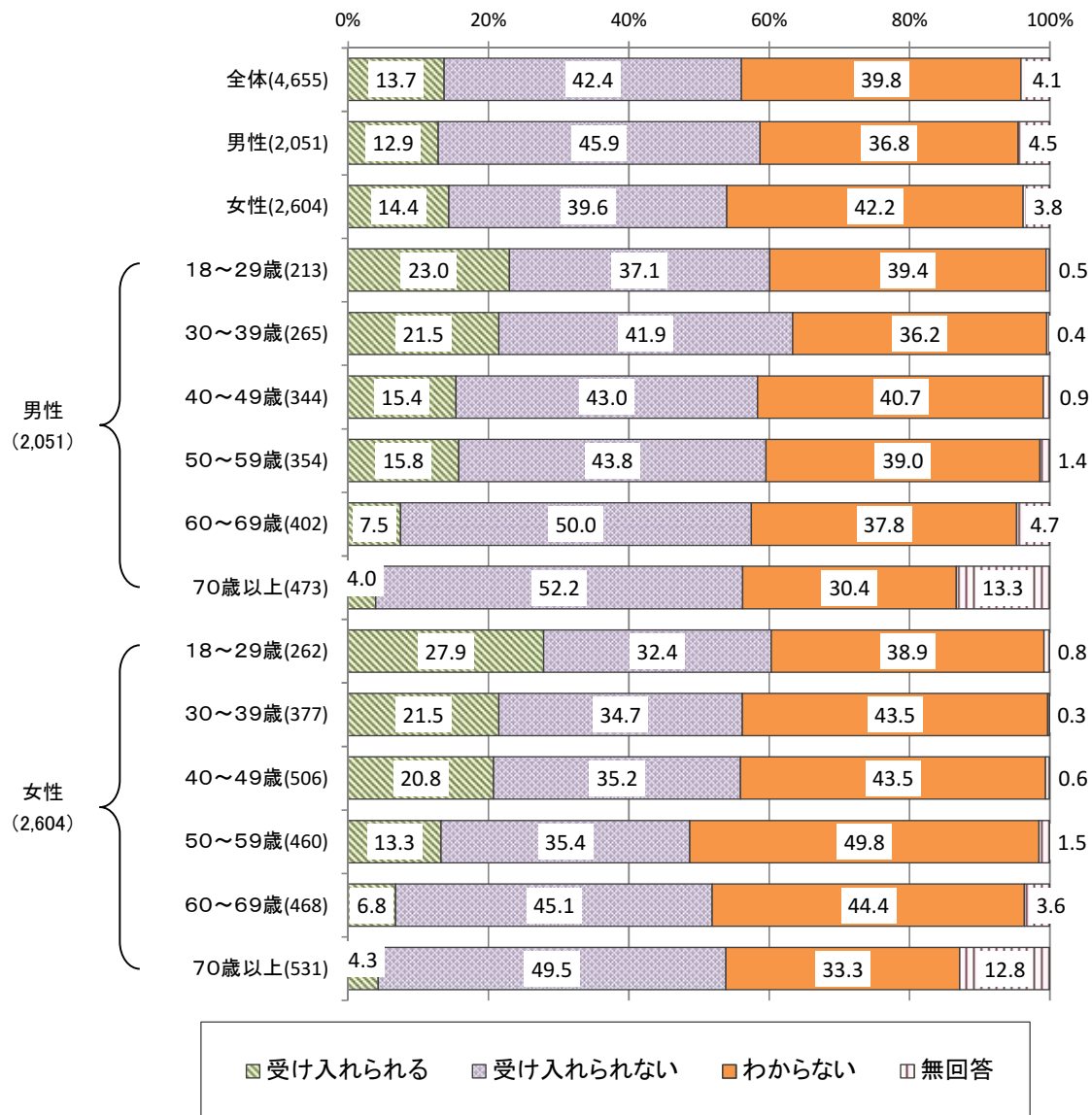
①「同性が好きである」(同性愛者)などと打ち明けられた場合

ア 父親



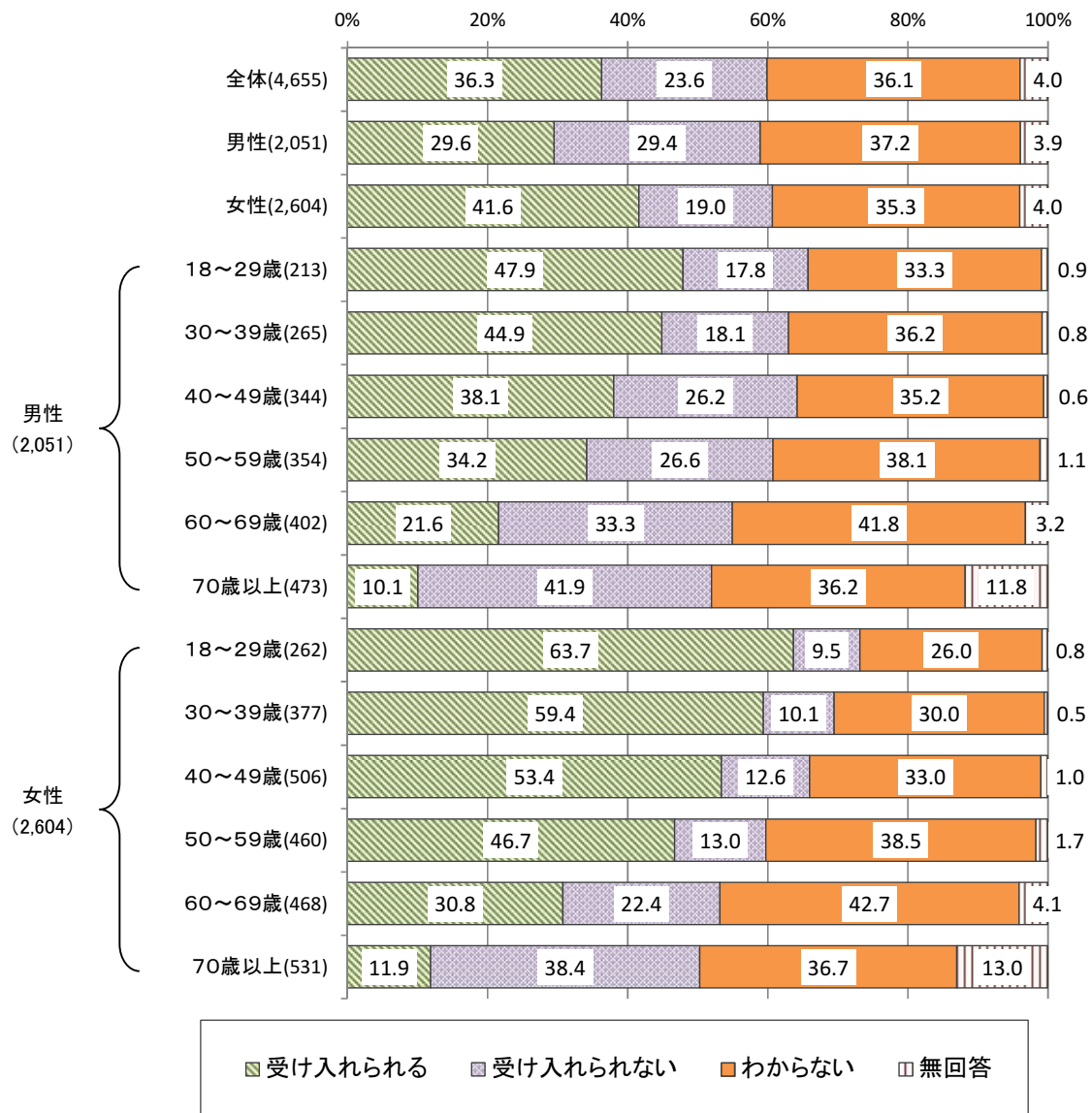
イ 母親

(N=4,655)



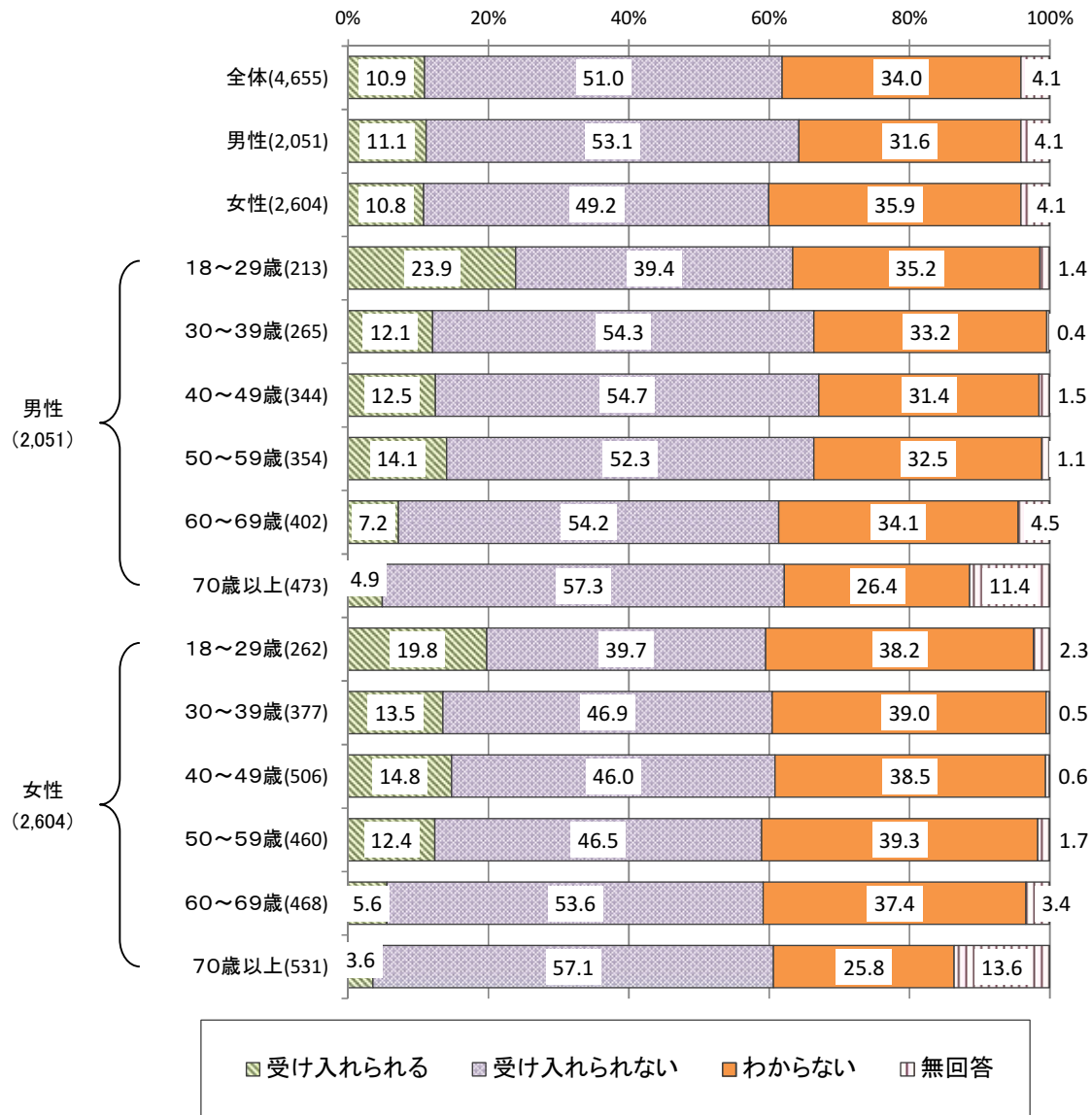
ウ 兄弟姉妹

(N=4,655)



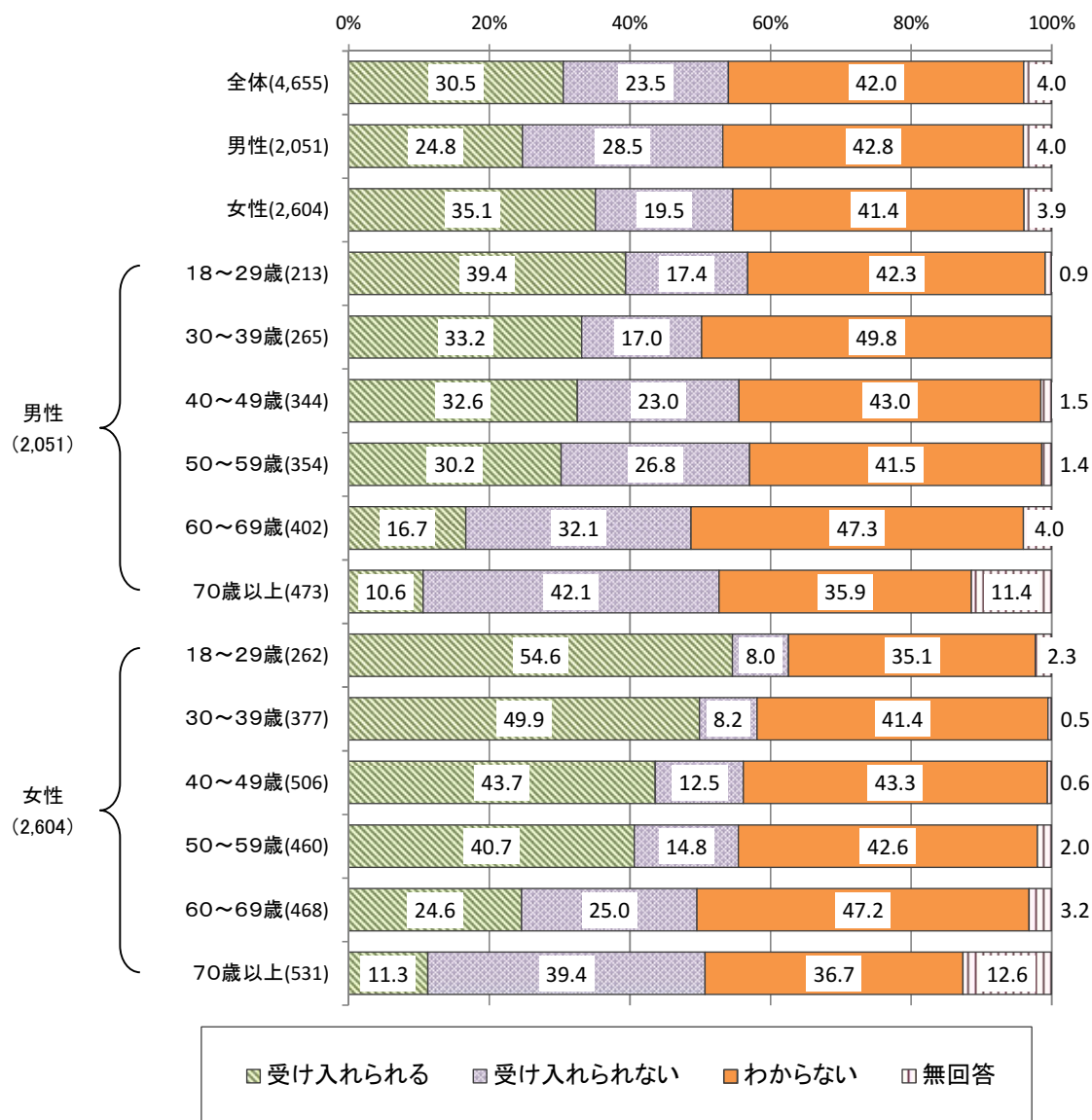
エ 配偶者

(N=4,655)

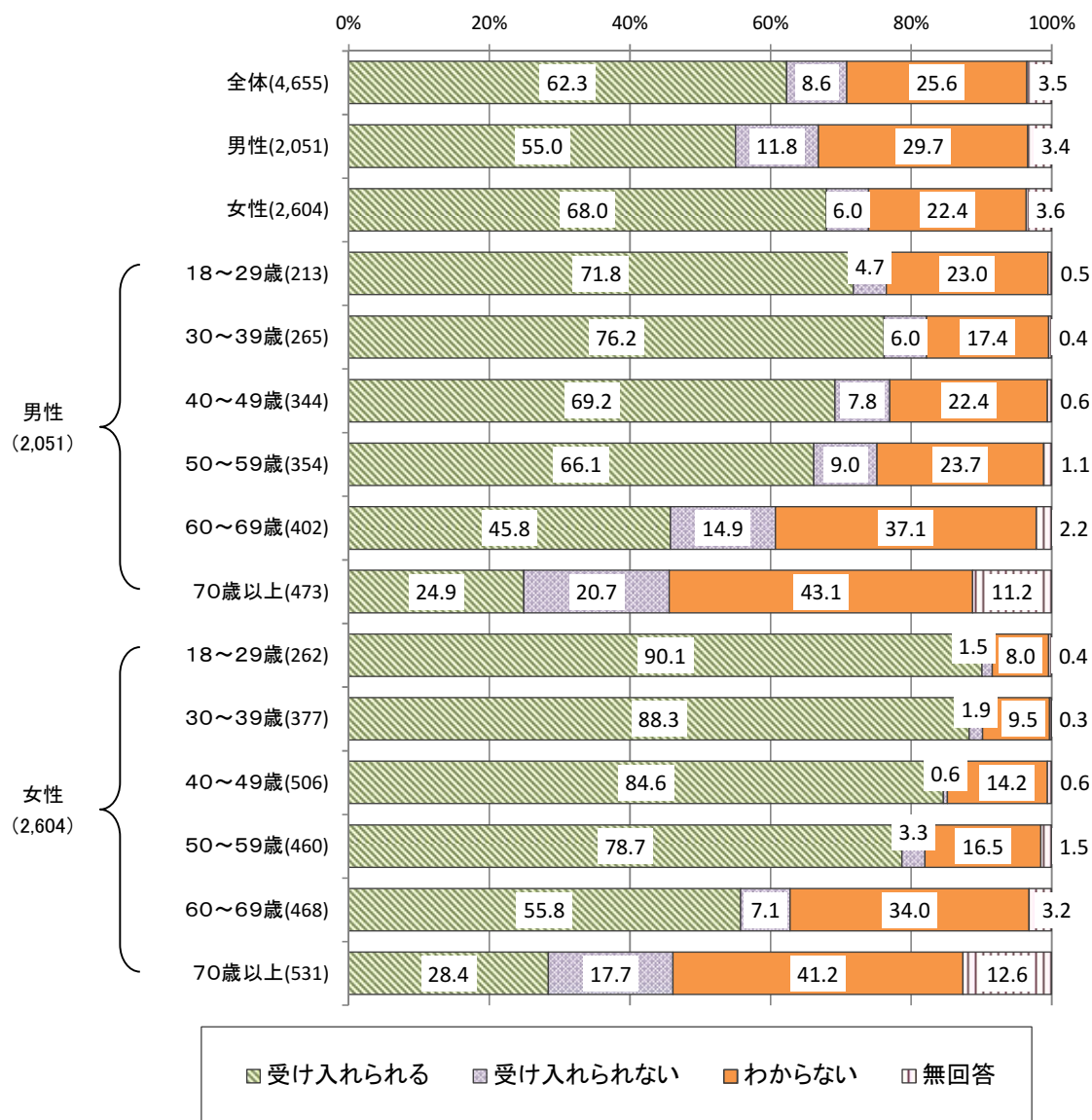


オ 子ども

(N=4,655)

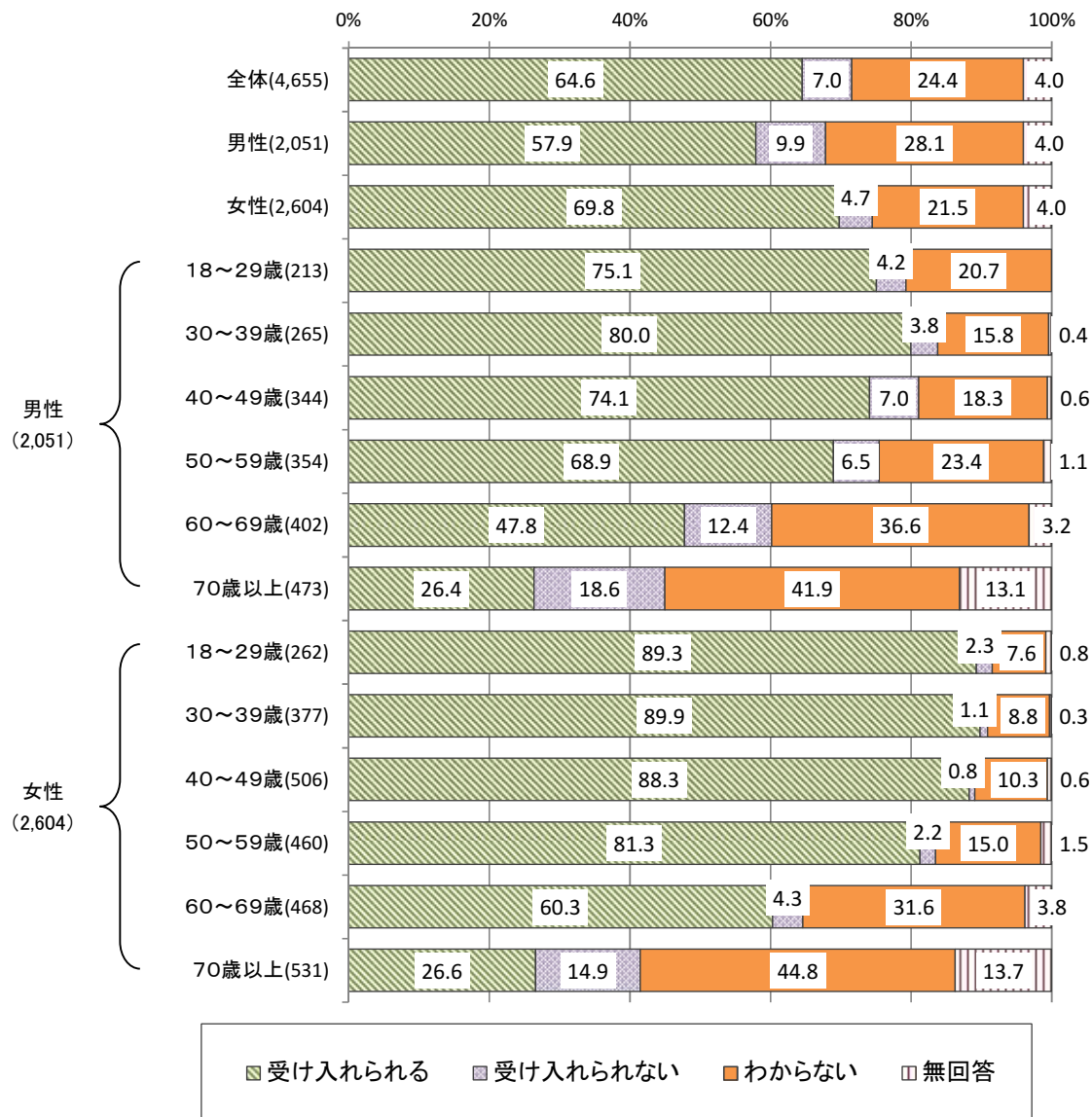


(N=4,655)



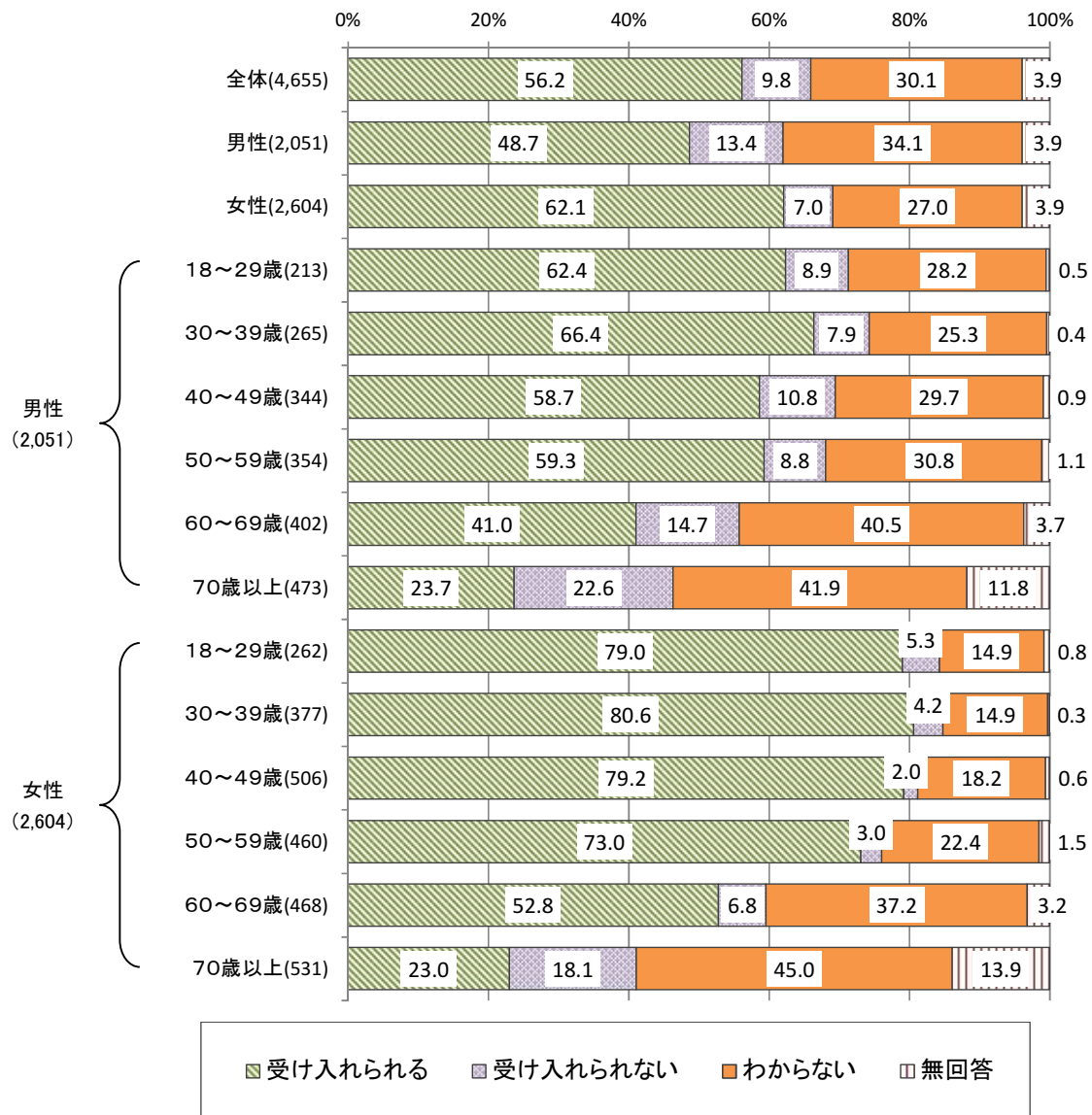
キ 職場の同僚・同じ学校の人

(N=4,655)



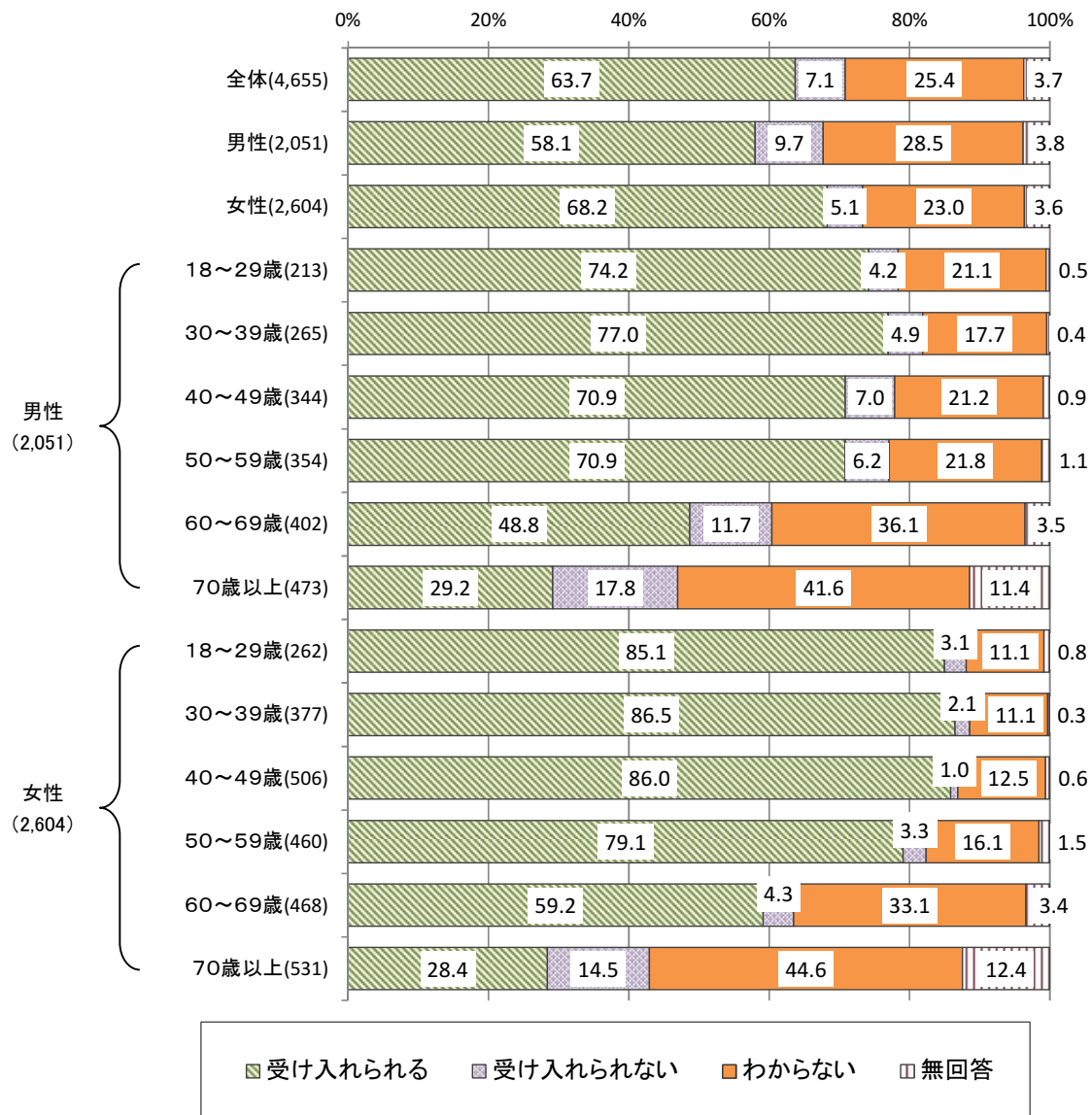
ク 親戚(親・兄弟姉妹・配偶者・子ども以外)

(N=4,655)



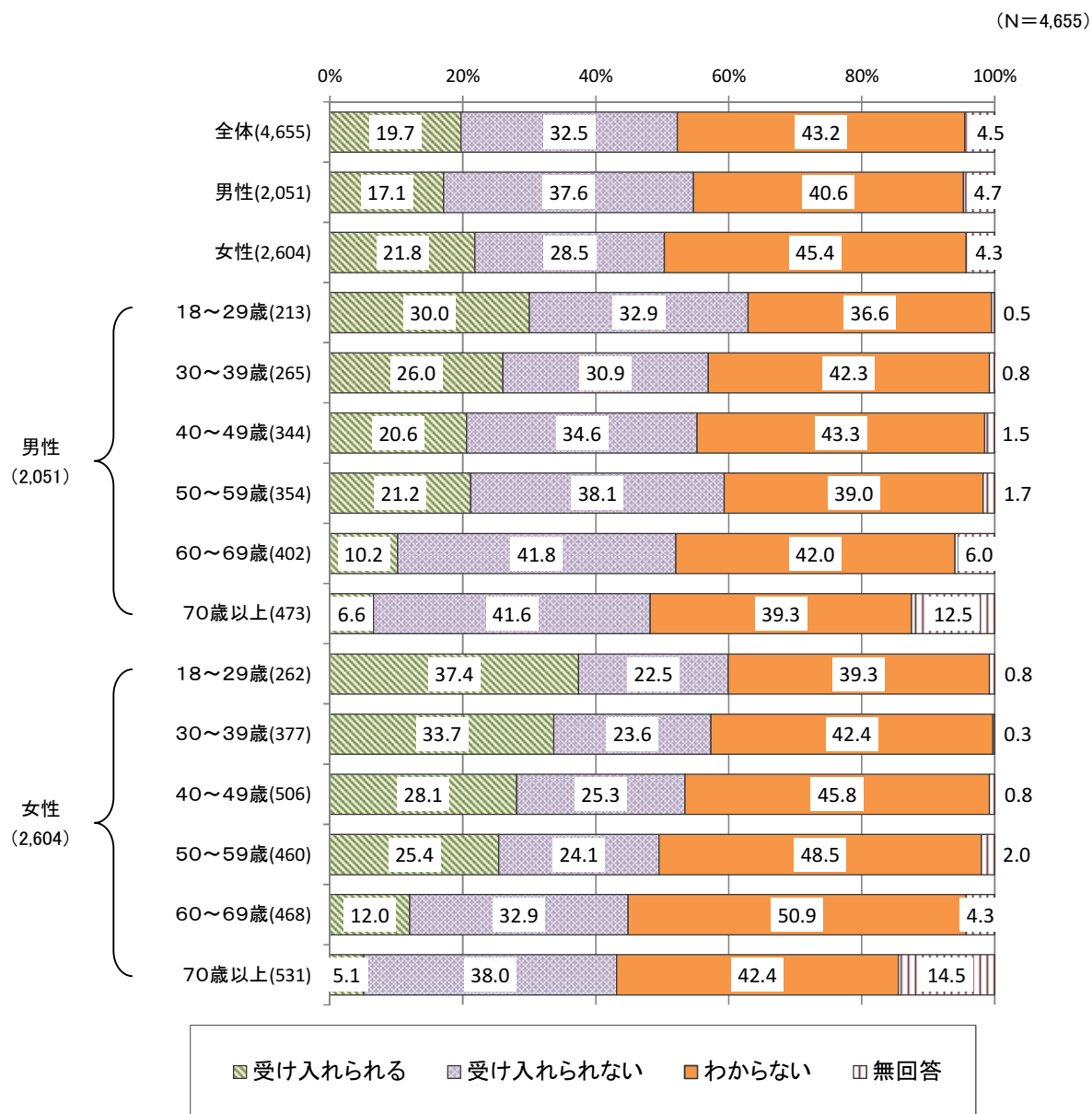
ケ 町内などの近所の人

(N=4,655)



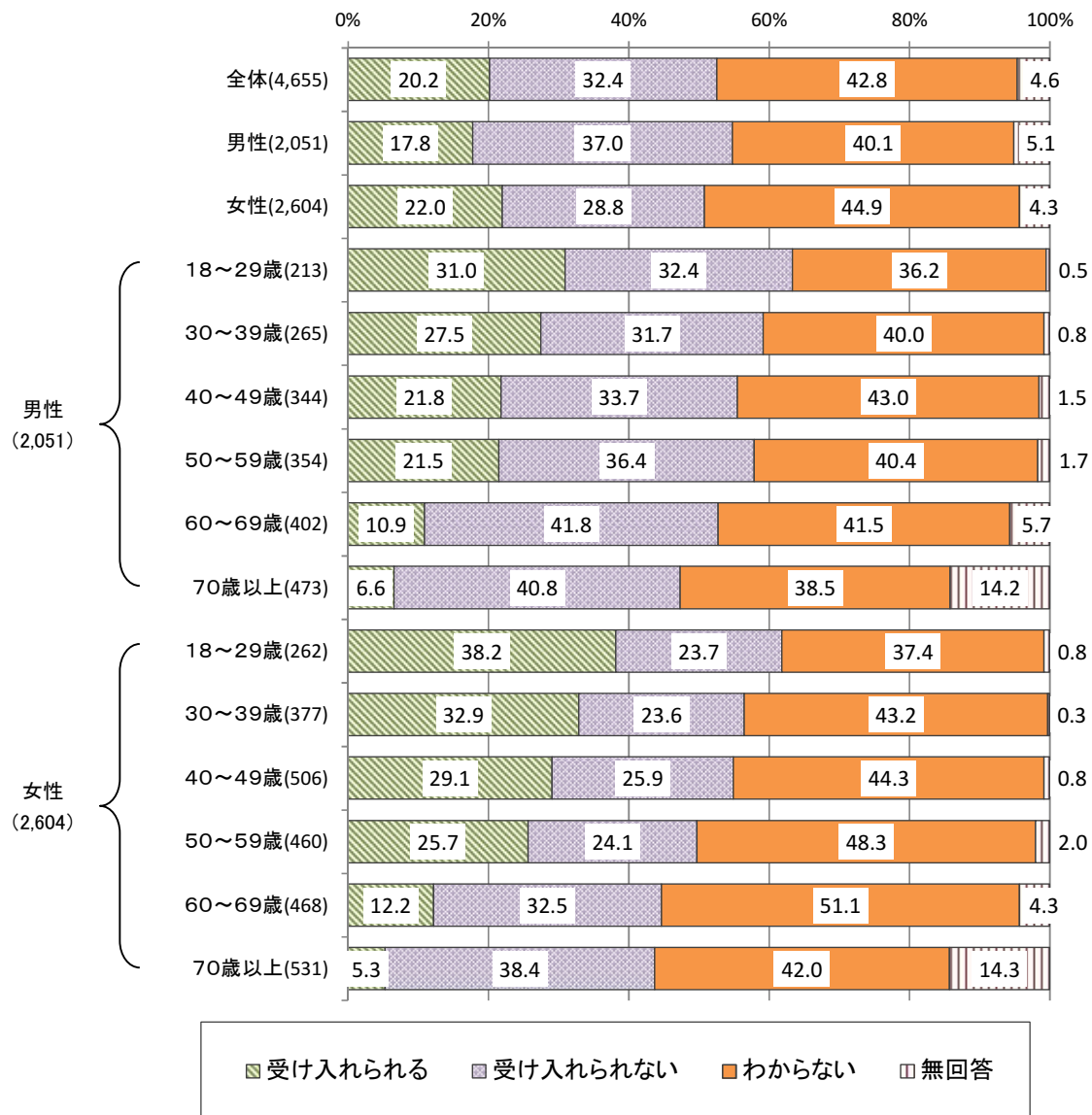
②「自分の性別に違和感を持っている」(トランスジェンダー)などと打ち明けられた場合

ア 父親



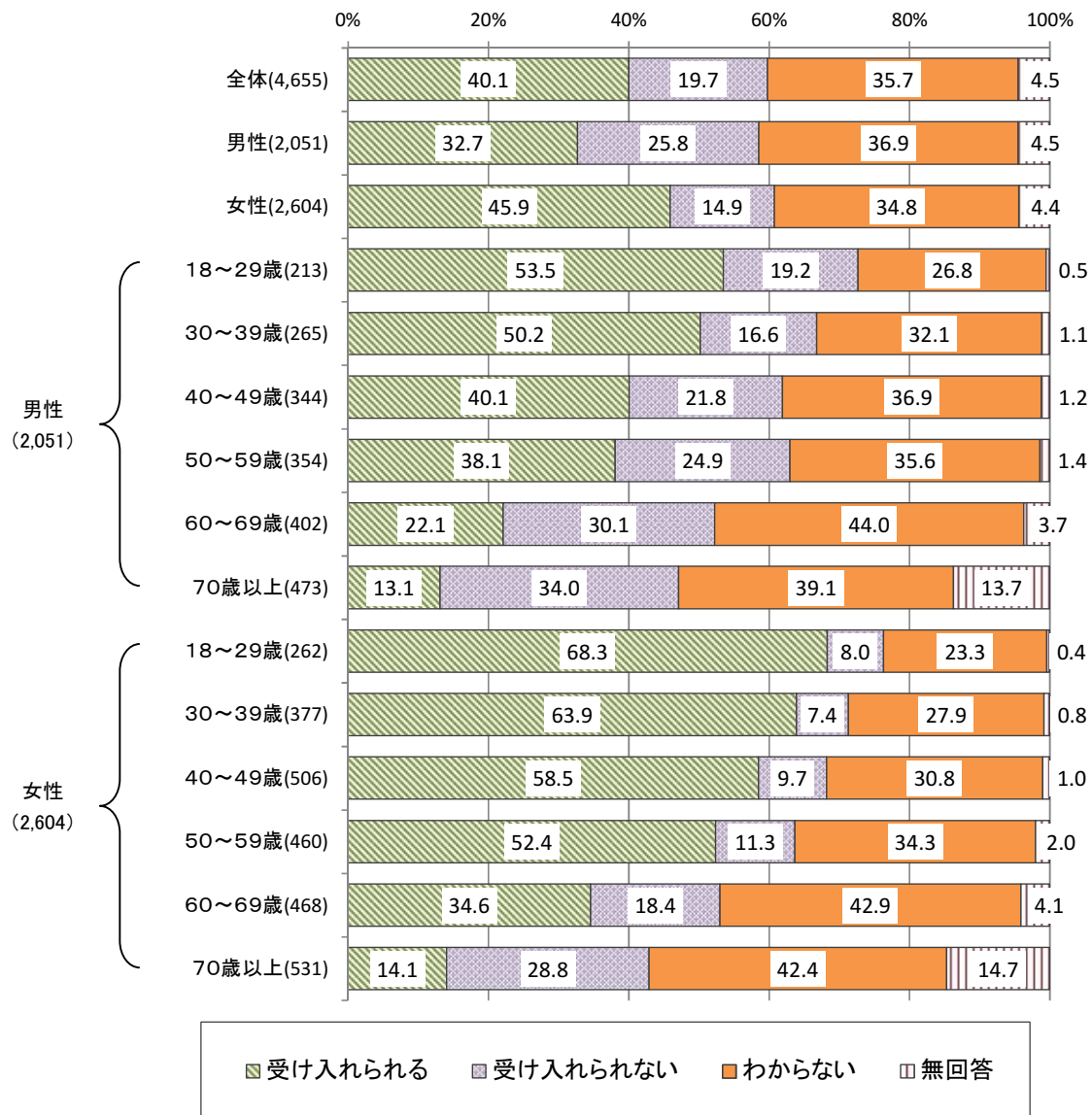
イ 母親

(N=4,655)



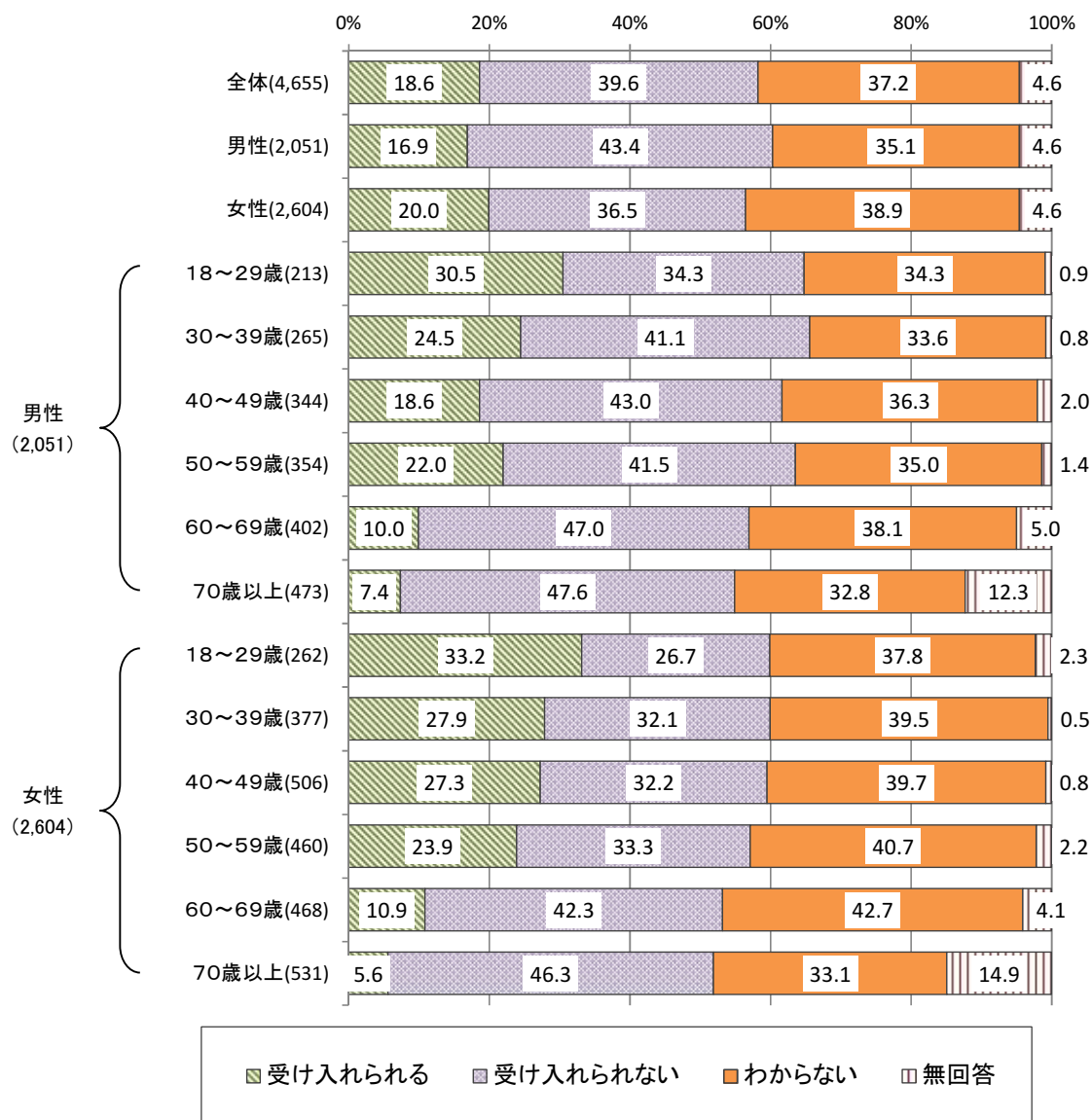
ウ 兄弟姉妹

(N=4,655)



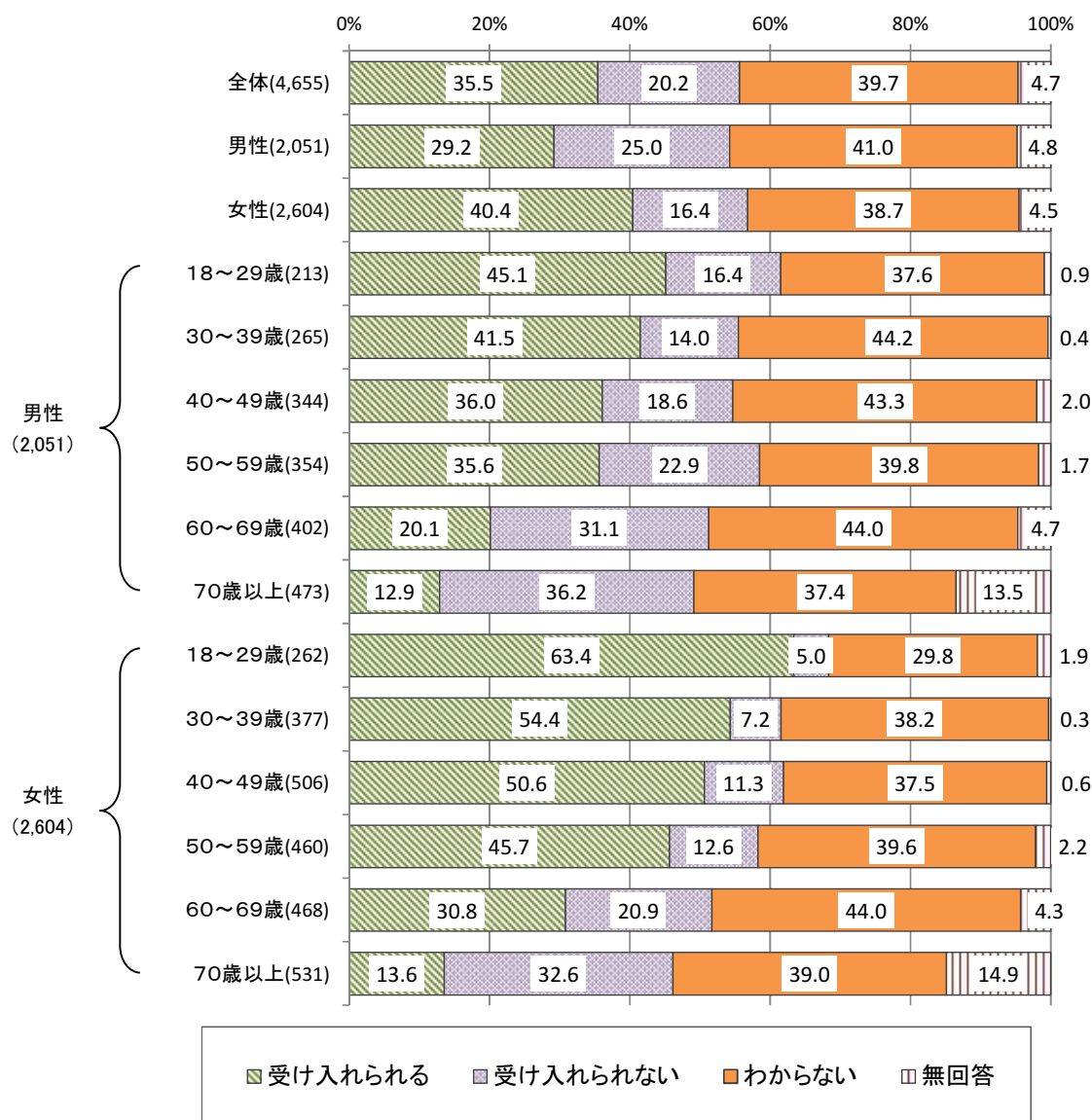
エ 配偶者

(N=4,655)

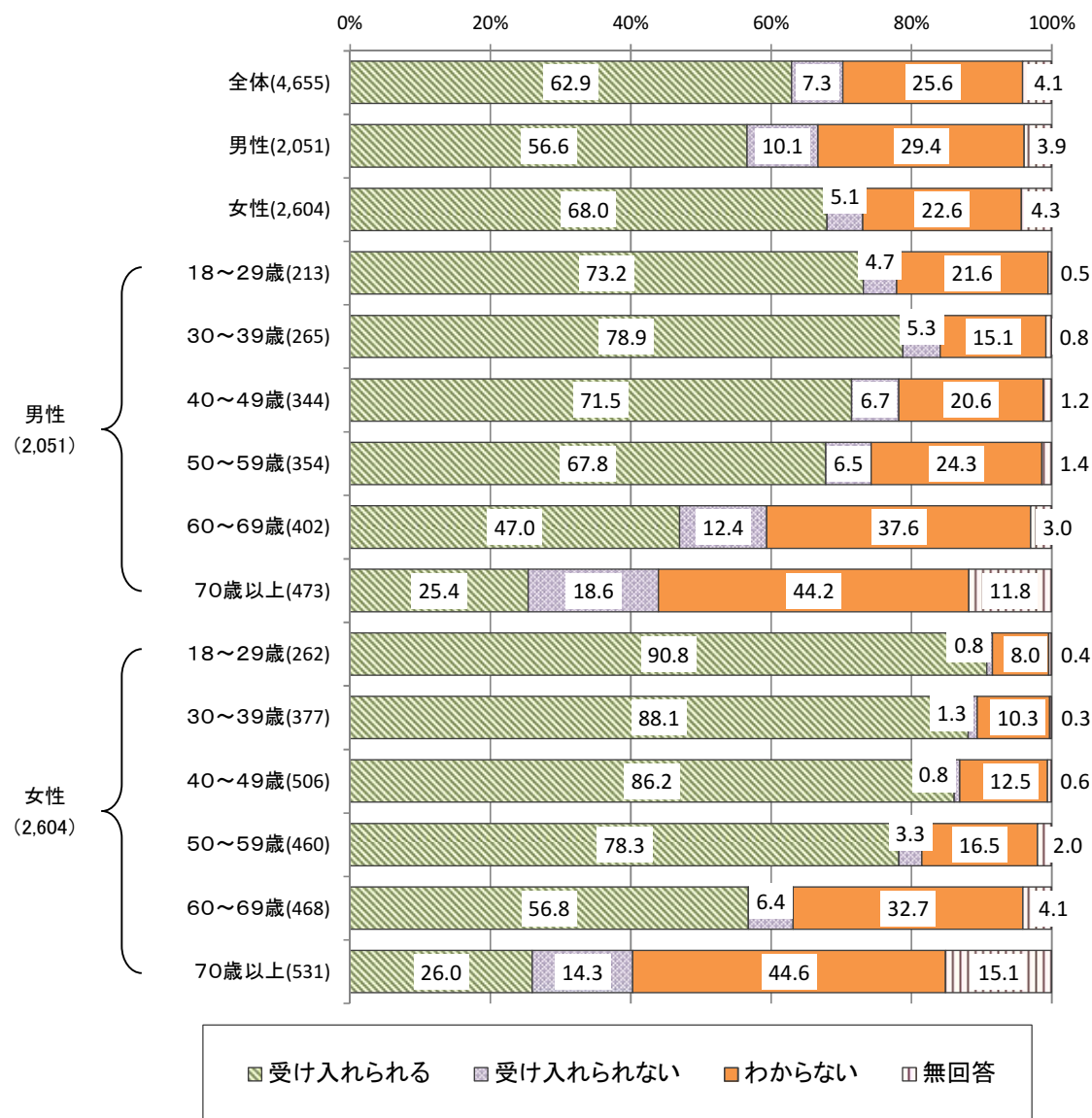


オ 子ども

(N=4,655)

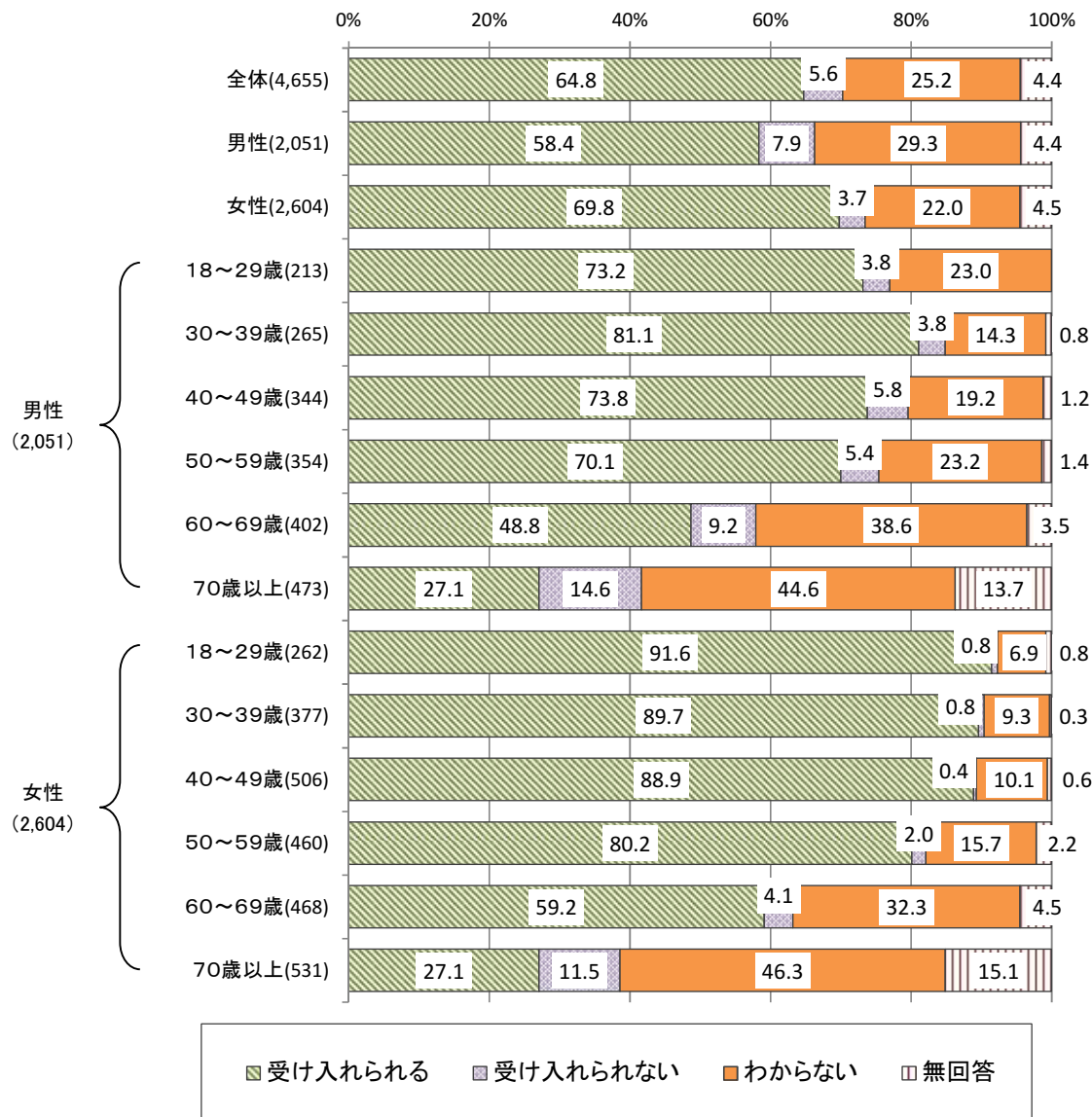


(N=4,655)



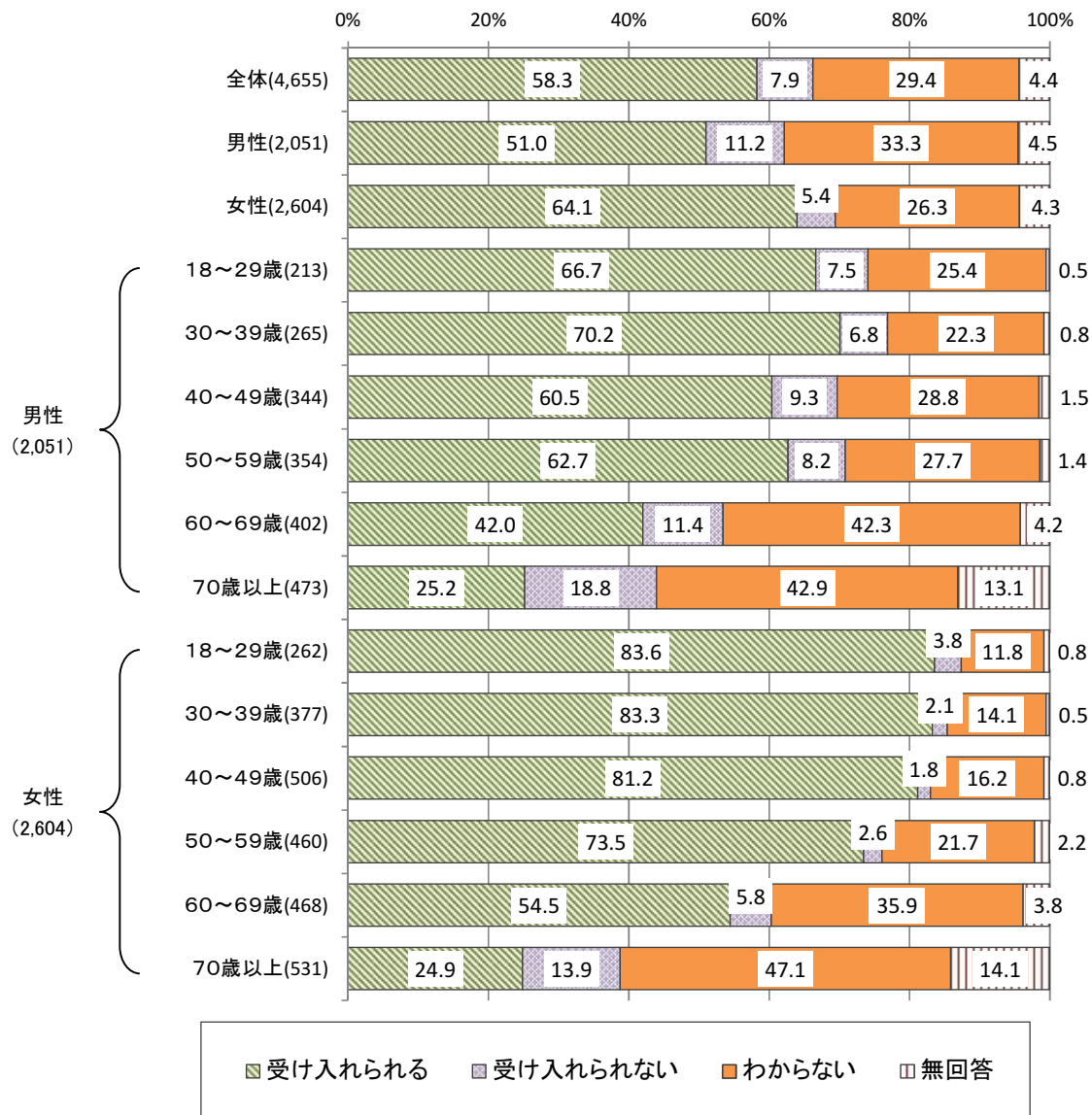
キ 職場の同僚・同じ学校の人

(N=4,655)



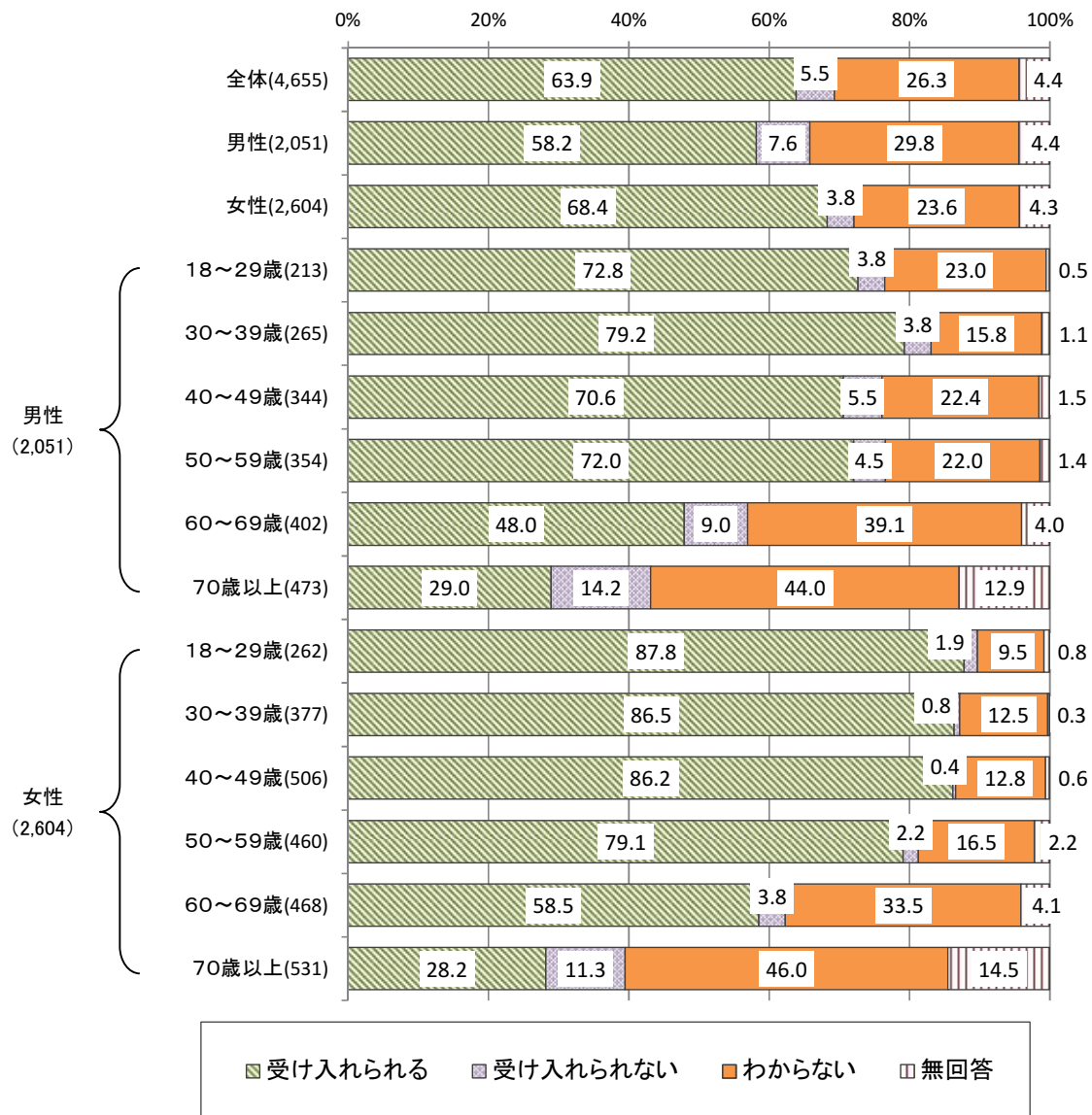
ク 親戚(親・兄弟姉妹・配偶者・子ども以外)

(N=4,655)



ケ 町内などの近所の人

(N=4,655)



性別役割分担意識や性的少数者に関する意識と認知度について

「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるべき」や、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」といった固定的な性別役割分担意識は、女性より男性が高い傾向にあります。

年齢層ごとに見ると、男女ともに若い年齢層ほど性別役割分担意識を持つ人の割合が低く、年齢が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

「同性を好きになることも性の多様性として認めるべきか」という質問については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と肯定的な回答した人が7割を超えました。このことを男女別にみると女性の方が、また年齢層別にみると若年層に肯定的な回答が多くなりました。

人権上問題があると思われるものについて尋ねたところ、全体では「就職・職場で不利な扱いを受けること」が81.4%と最も高く、次いで「学校や職場でいじめにあう可能性があること」72.9%、「病院や福祉施設等での看護や介護における処遇が不適切であること」56.0%、「住宅を容易に借りることができない場合があること」55.1%、「異性との交際や結婚を強いられること」49.2%の順となっています。

性的少数者に関する言葉の認知度については、「セクシュアル・マイノリティ（性的少数者、性的マイノリティ）」、「LGBT」、「レズビアン」、「ゲイ」、「バイセクシュアル」、「トランスジェンダー」、「カミングアウト」に対し、「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが意味は知らない」と回答した人が5割を超え、市民への認知が一定程度広がってきたと思われます。

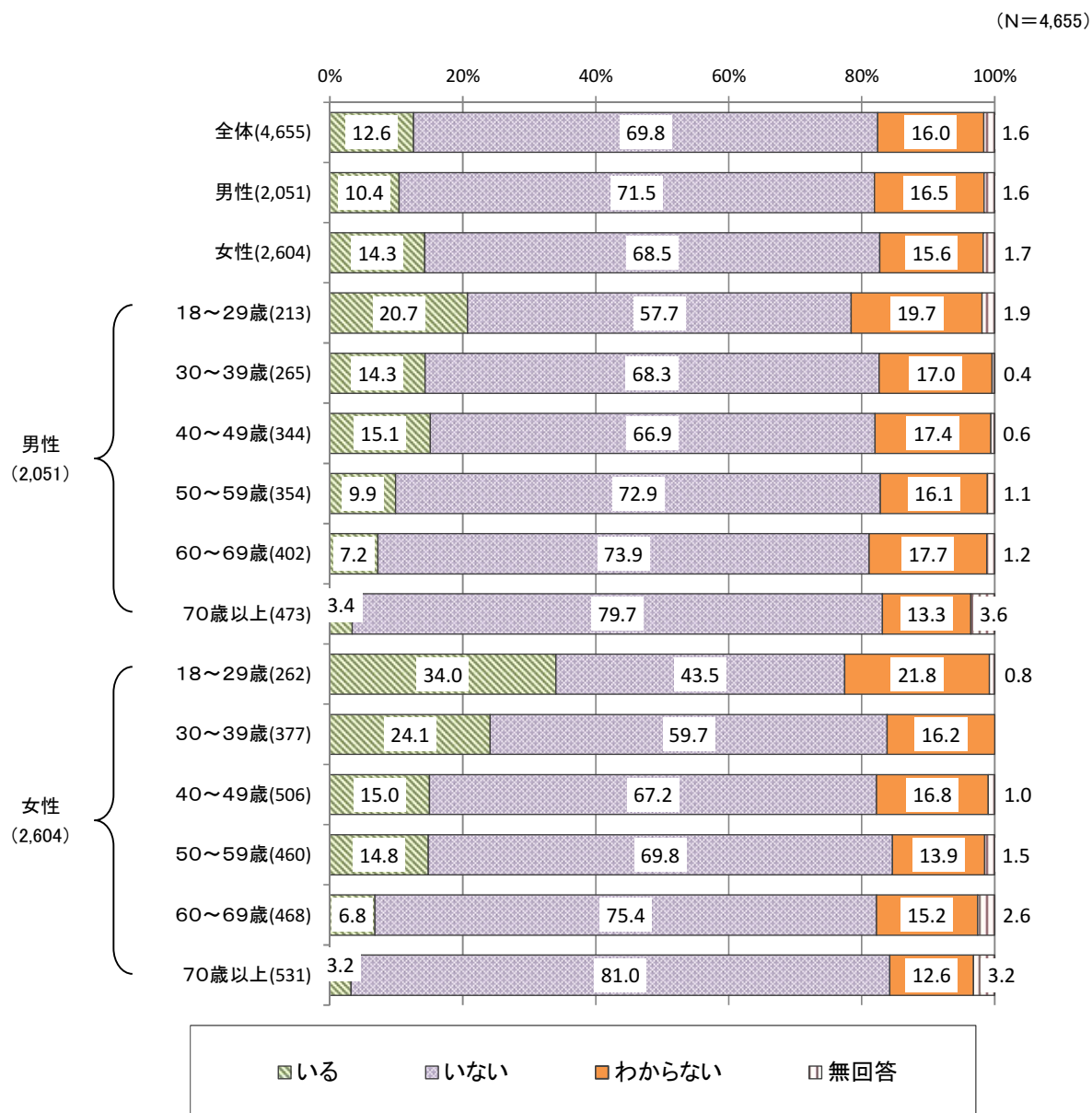
一方、「アウティング」、「SOGI」に対しては「知らない」と回答した人が8割を超え、市民への認知はまだまだ広がっていない状況です。

身近な人から「同性が好き」であったり、「自分の性別に違和感を持っている」ことを打ち明けられた場合の寛容性については、「友人」、「職場の同僚・同じ学校の人」、「親戚」、「町内などの近所の人」に対して「受け入れられる」と回答した人の割合が高い一方、「父親」、「母親」、「配偶者」に対しては「受け入れられない」、「わからない」の割合が高くなっています。「子ども」に対しては「受け入れられる」が「受け入れられない」を上回っています。

2. 周囲の性的少数者

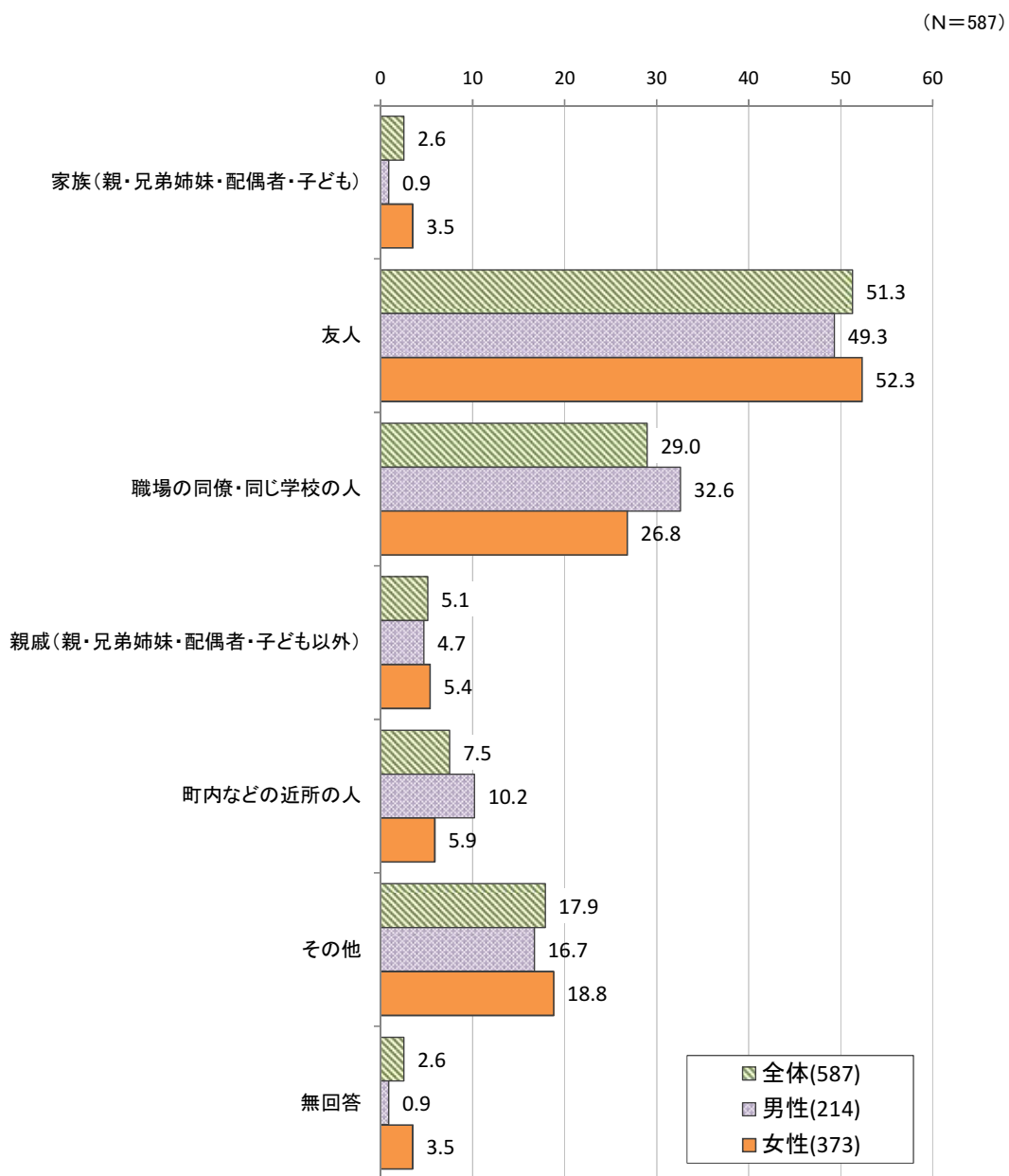
問5 周囲に性的少数者がいるかどうかということ

あなたの周りに、同性愛者や性別を変えた、又は変えようと考えている人はいますか。(○は1つ)【回答者：全員】



問6 周囲の性的少数者との関係

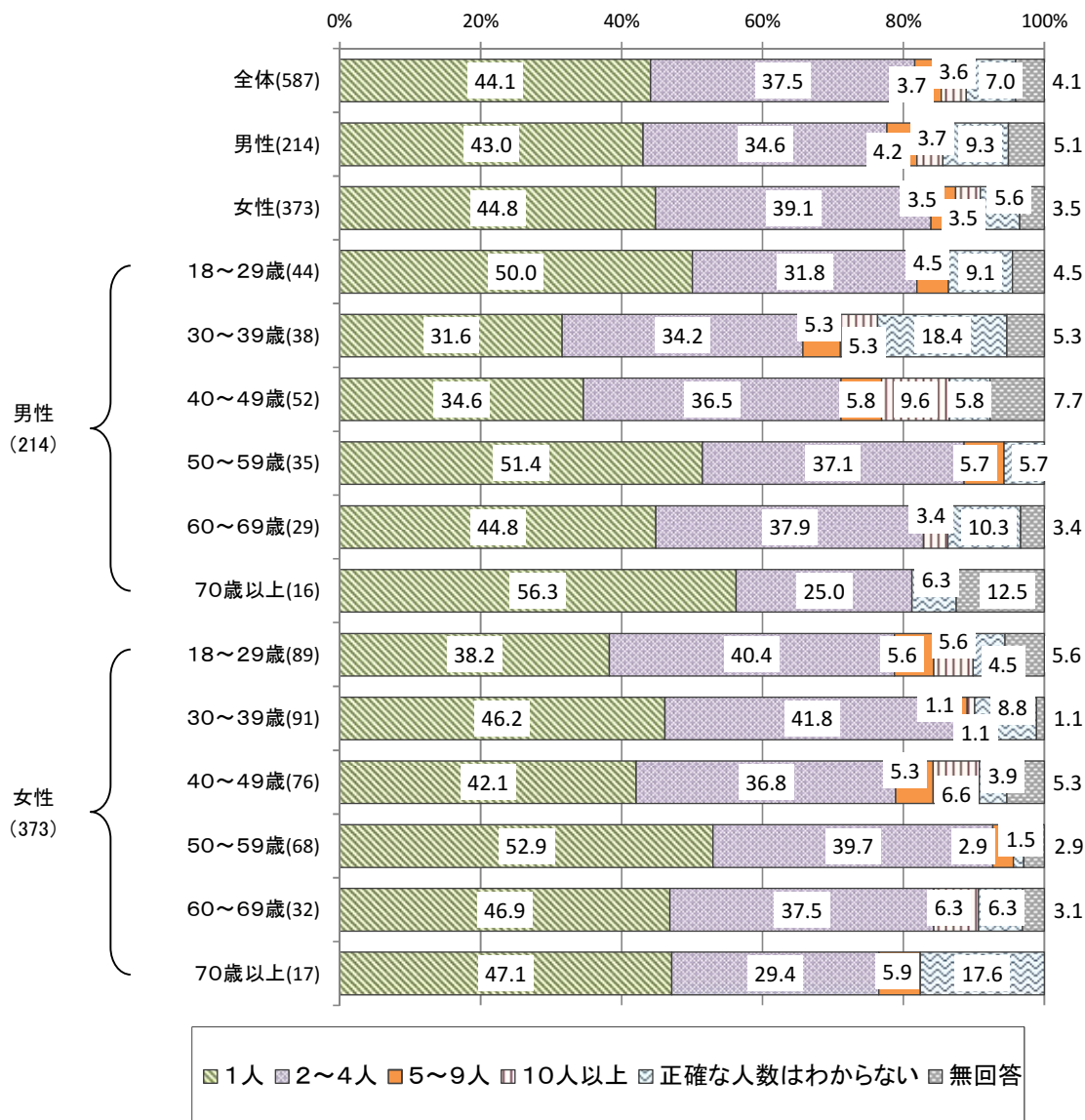
あなたと、その方との関係についてお答えください。(〇はいくつでも)【回答者：問5で「1 い
る」を選択】



問7 周囲の性的少数者の人数

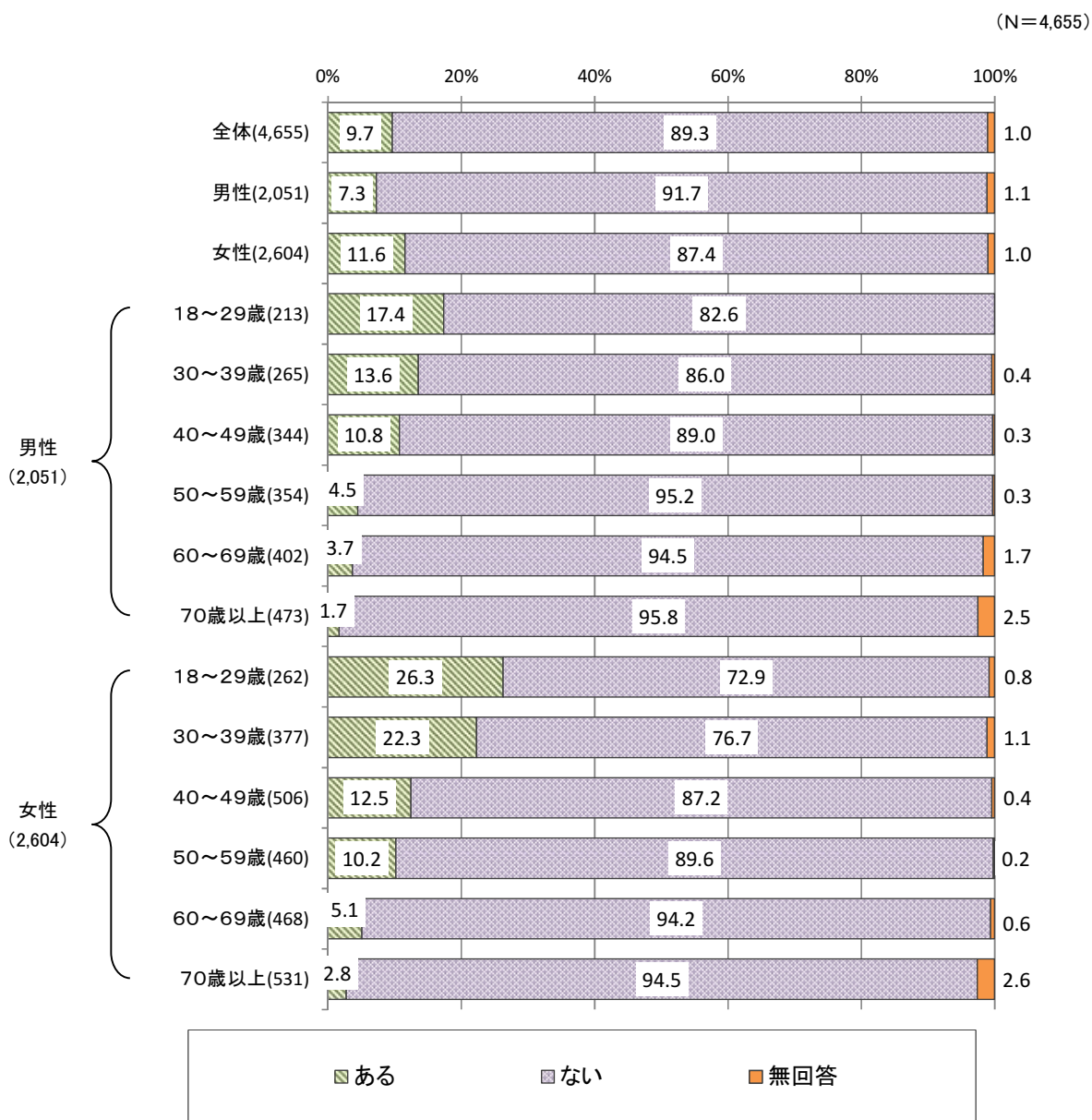
あなたの周りに、同性愛者や性別を変えた、又は変えようと考えている人は何人いますか。(〇は1つ)【回答者：問5で「1 いる」を選択】

(N=587)



問8 性的少数者から打ち明けられた経験

あなたは、同性愛者であることや、性別を変えた、又は変えようと考えていることを打ち明けられた経験はありますか。(〇は1つ)【回答者：全員】



周囲の性的少数者について

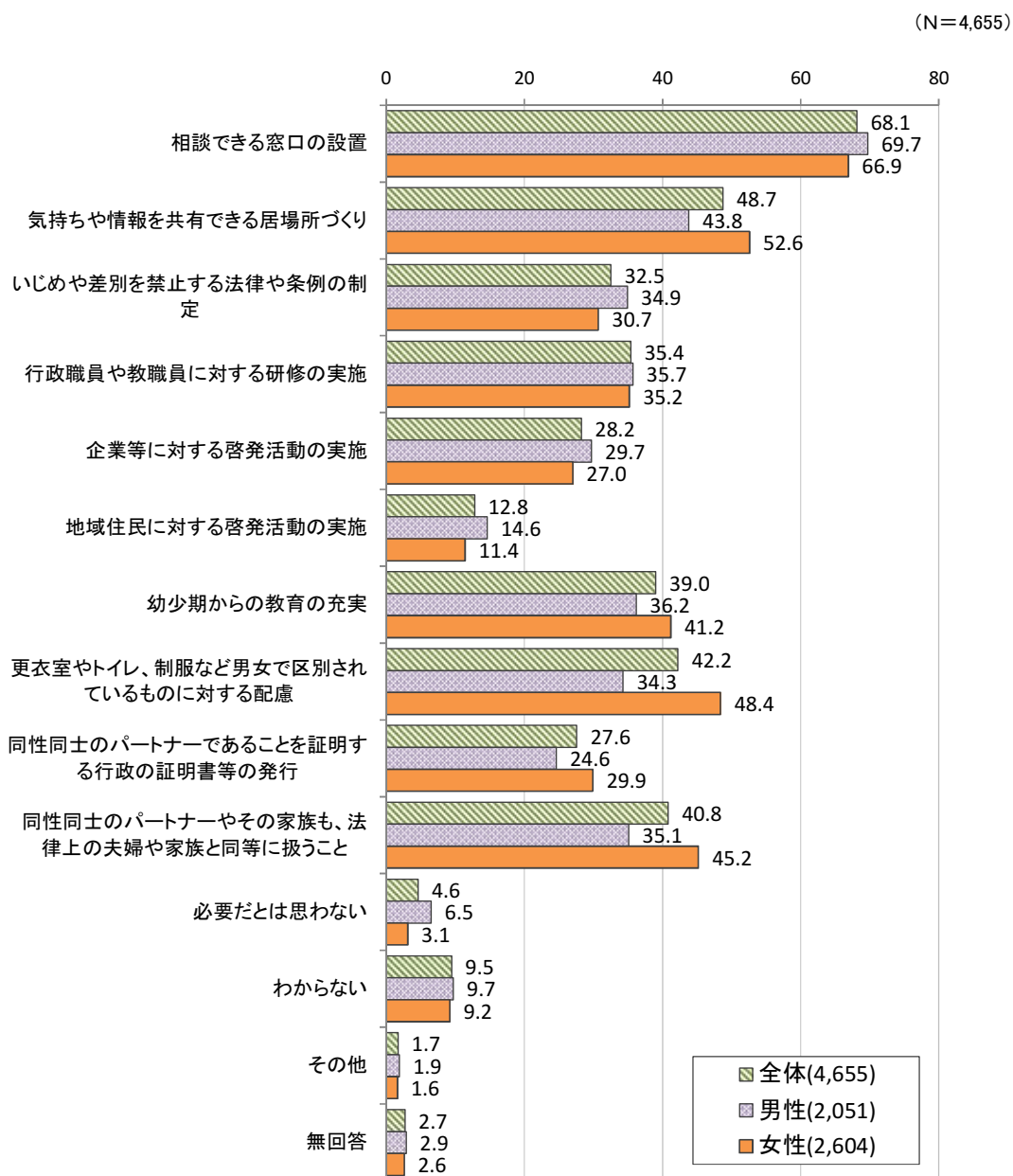
周囲に性的少数者がいるかどうかという質問に対し、「いる」と回答した人は全体で 12.6%あり、その対象は「友人」や「職場の同僚・同じ学校の人」が多いという結果になりました。

また、年齢層ごとに見ると、若い年齢層ほど「いる」と回答した割合が高くなっています。特に 18 歳～29 歳の女性は約 3 分の 1 が「いる」と回答しています。同様に、性的少数者であることを打ち明けられた経験も若い年齢層ほど高くなっています。

3. 性的少数者に対し必要な意識啓発や支援

問9 性的少数者に対し必要な意識啓発や支援

あなたは、同性愛者や性別を変えた、又は変えようと考えている人に関して、どのような意識啓発や、支援が必要だと思いますか。1～13のうち、当てはまるものの番号を最大5つまで□に記入してください。「13 その他」の場合は、具体的に記入してください。【回答者：全員】



性的少数者に対し必要な意識啓発や支援について

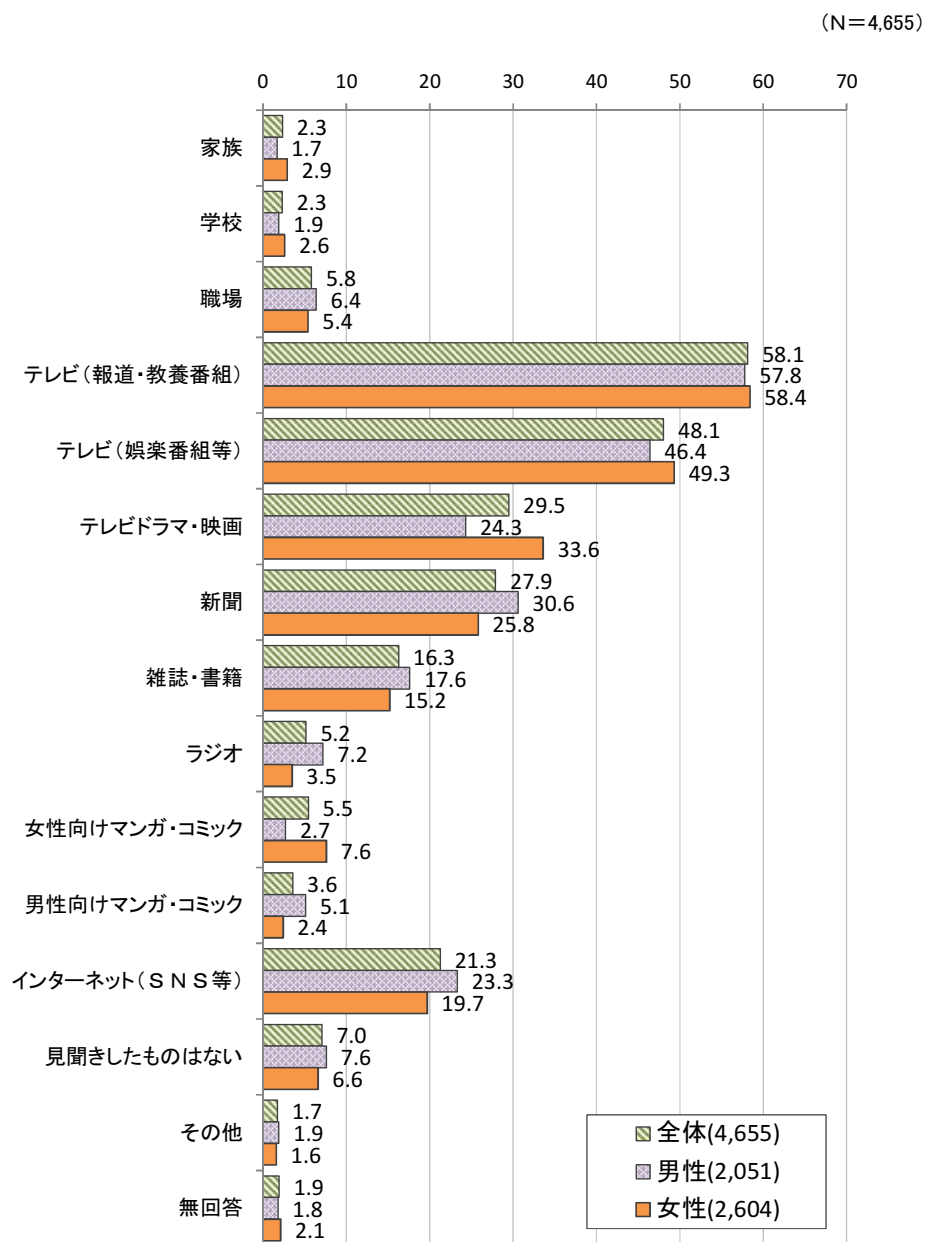
性的少数者に対し必要な意識啓発や支援については、全体の7割弱の人が「相談できる窓口の設置」と回答しており、次いで、「気持ちや情報を共有できる居場所づくり」48.7%、「更衣室やトイレ、制服など男女で区別されているものに対する配慮」42.2%、「同性同士のパートナーやその家族も、法律上の夫婦や家族と同等に扱うこと」40.8%の順に高くなっています。

これを男女別にみると、「気持ちや情報を共有できる居場所づくり」、「更衣室やトイレ、制服など男女で区別されているものに対する配慮」、「同性同士のパートナーやその家族も、法律上の夫婦や家族と同等に扱うこと」について、男性より女性の方が高い傾向があります。

4. 性的少数者に関する情報

問 10 性的少数者に関する情報源

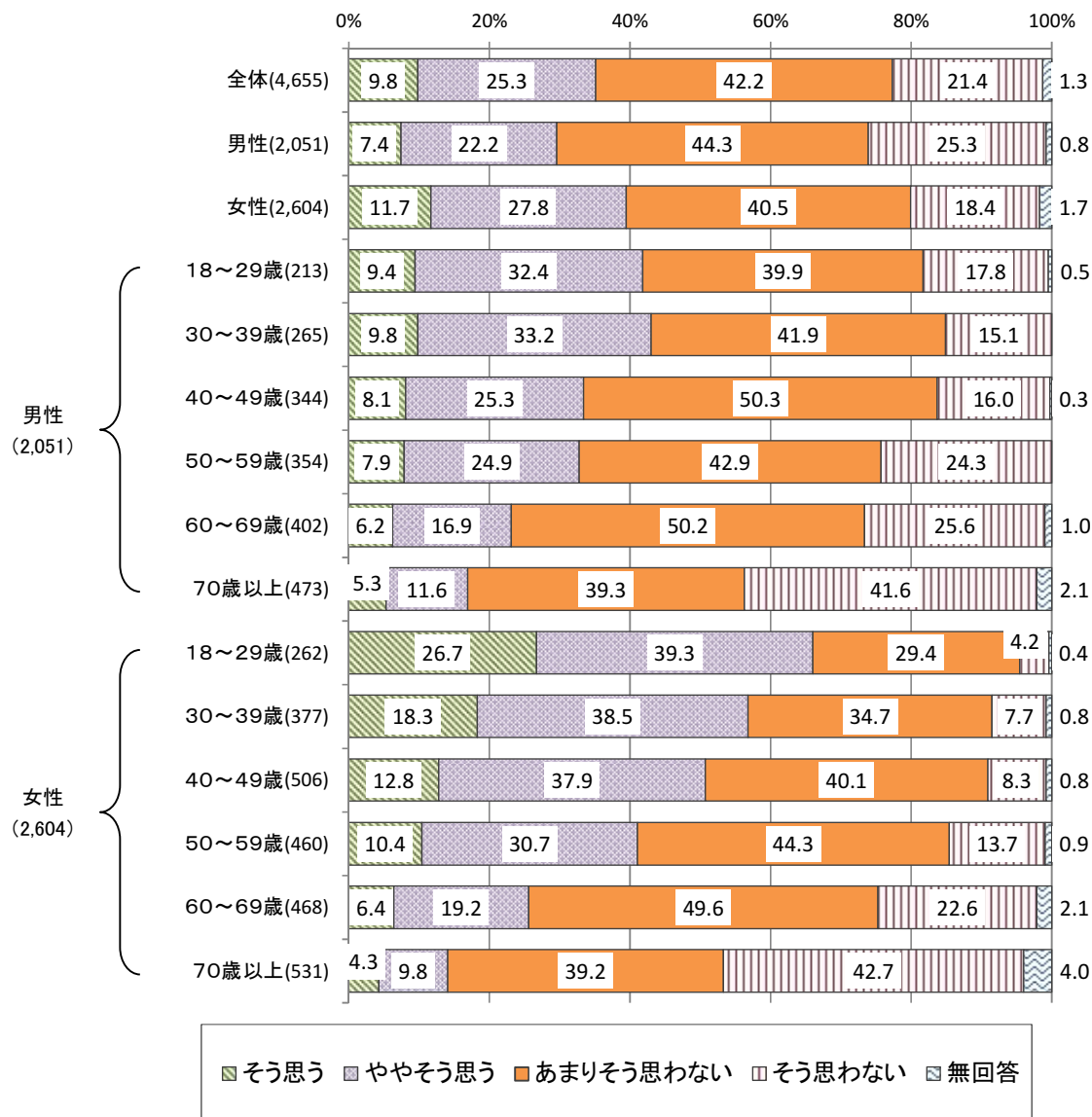
あなたが最近、性的少数者に関して情報を見聞きしたものはどれですか。次の1～14のうち当てはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)【回答者：全員】



問 1 1 セクシュアル・マイノリティについての知識欲

セクシュアル・マイノリティについて、もっと詳しく知りたいと思いますか。(○は1つ)【回答者：全員】

(N=4,655)



性的少数者に関する情報について

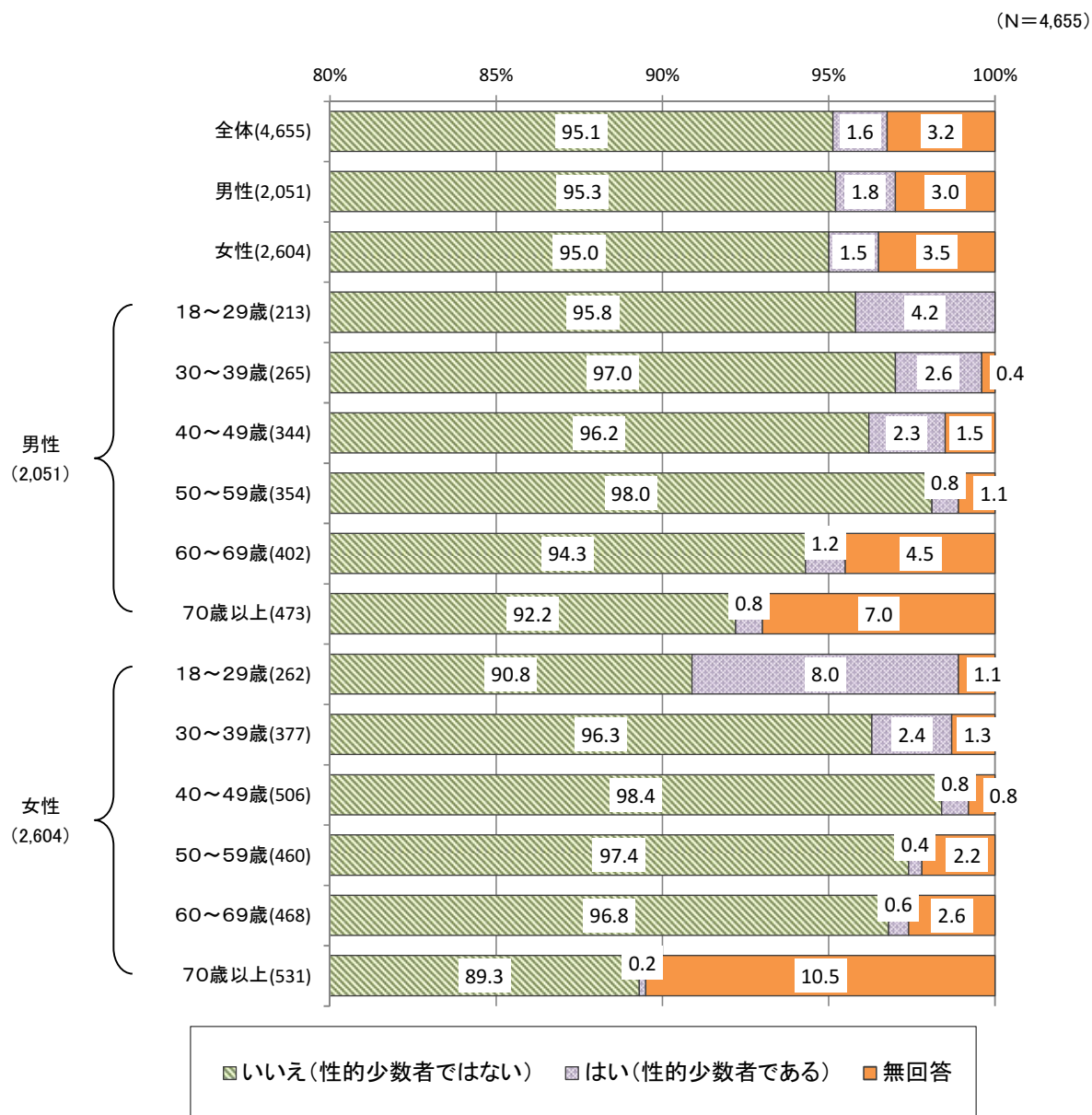
性的少数者に関する情報源について尋ねたところ、テレビを媒体としたものが男女を問わず圧倒的に多く、次いで、「新聞」、「インターネット（SNS）」の順となっています。

もっと詳しく知りたいかという質問については、全体の 35.1%が「そう思う」、「ややそう思う」と回答しており、特に女性の 18 歳から 49 歳の年齢層では、5 割以上の人が「そう思う」、「ややそう思う」と回答しています。

5. 性的少数者の当事者であること

問 1 2 性的少数者の当事者であるか

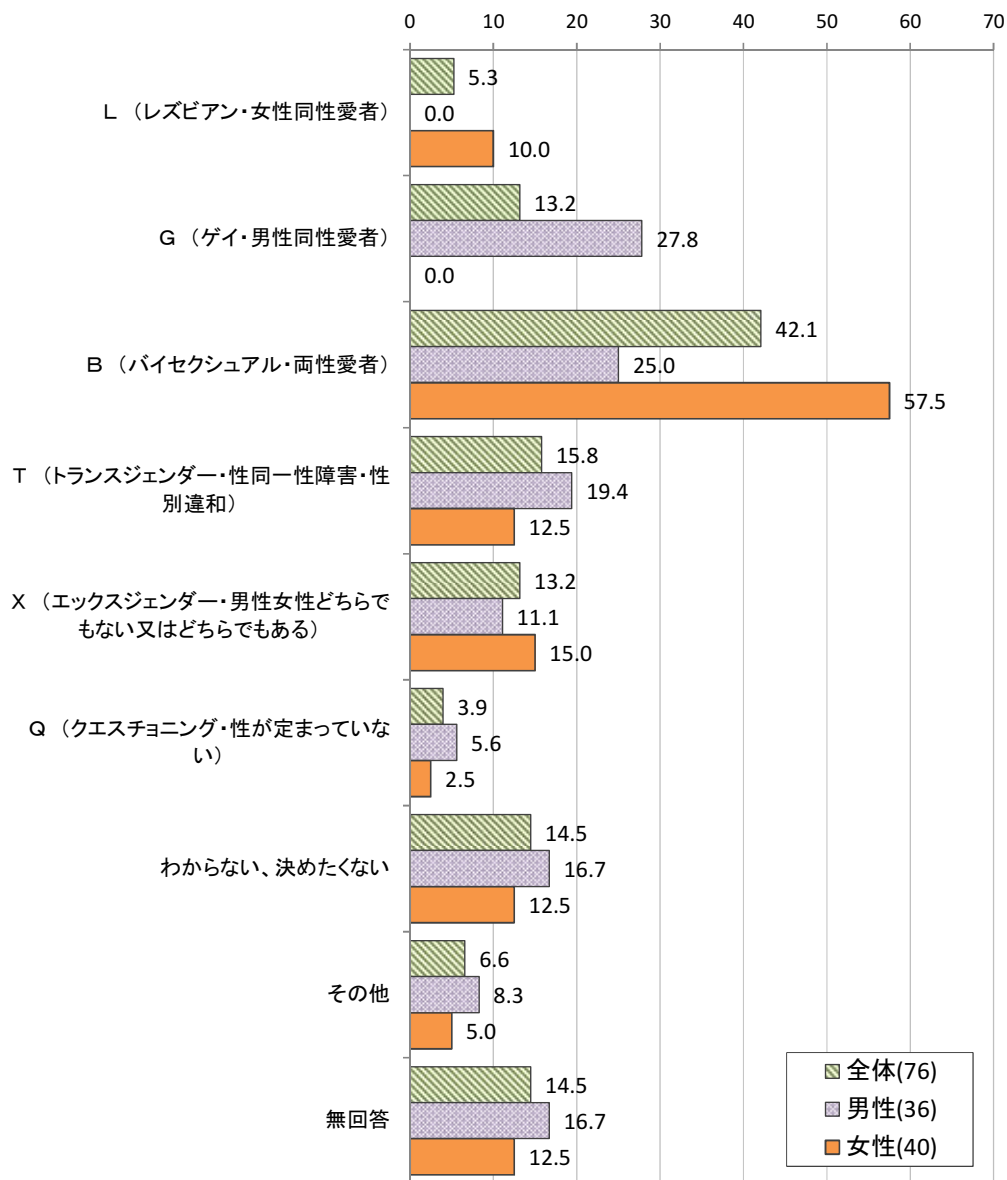
あなたご自身は、性的少数者の当事者ですか。(○は1つ、ただし、答えたくない場合は無記入でも構いません。その場合は、問 1 8 へ進んでください。)【回答者：全員】



問 1 3 当事者の性的指向、性自認

あなたご自身の認識に近いものはどれですか。(〇はいくつでも)【回答者：問 1 2 で「2 はい (性的少数者である)」を選択】

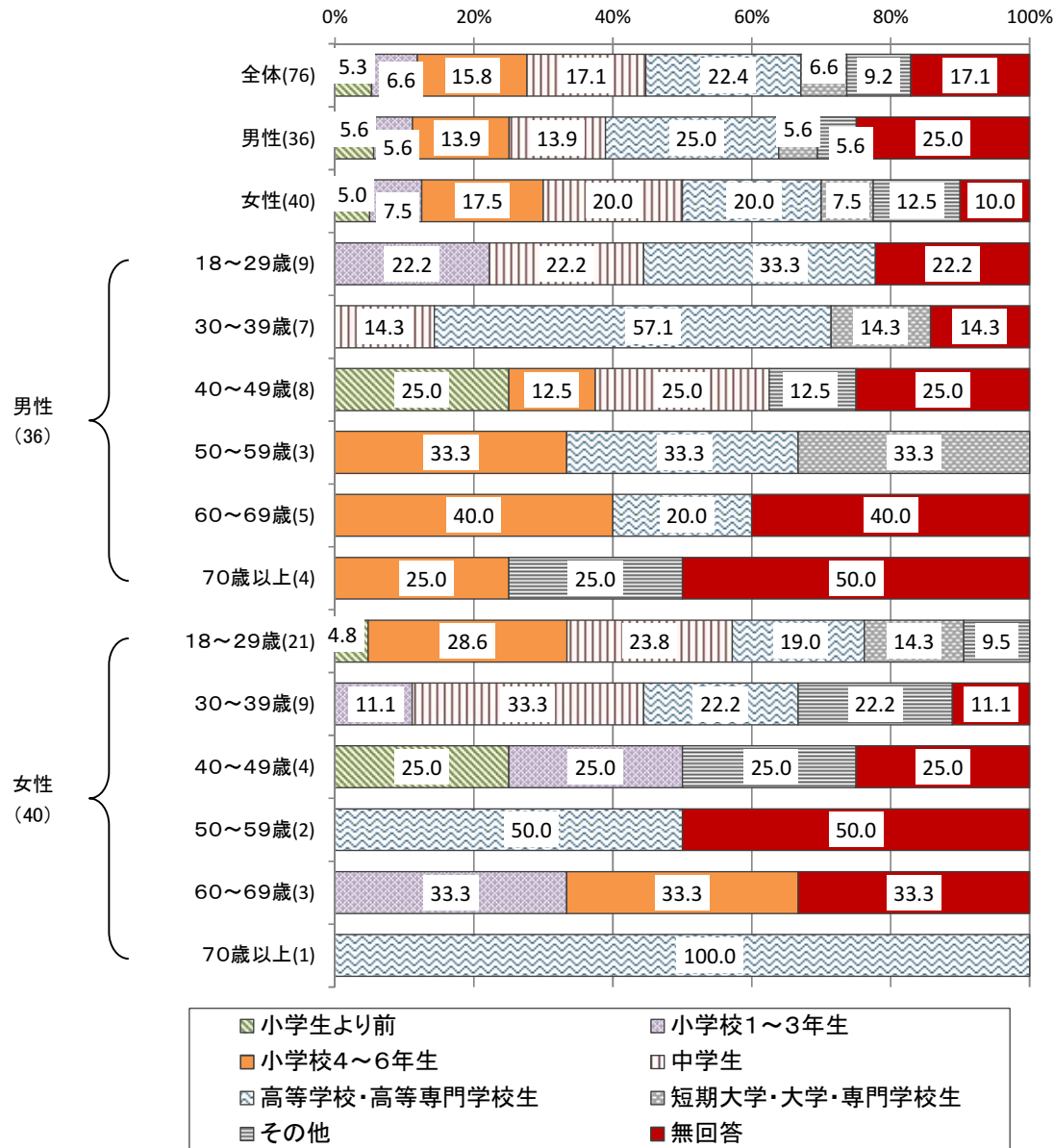
(N=76)



問 1 4 性的少数者であると意識し始めた時期

あなたが、性的少数者であると意識し始めた時期をお答えください。(○は1つ)【回答者：問12で「2 はい(性的少数者である)」を選択】

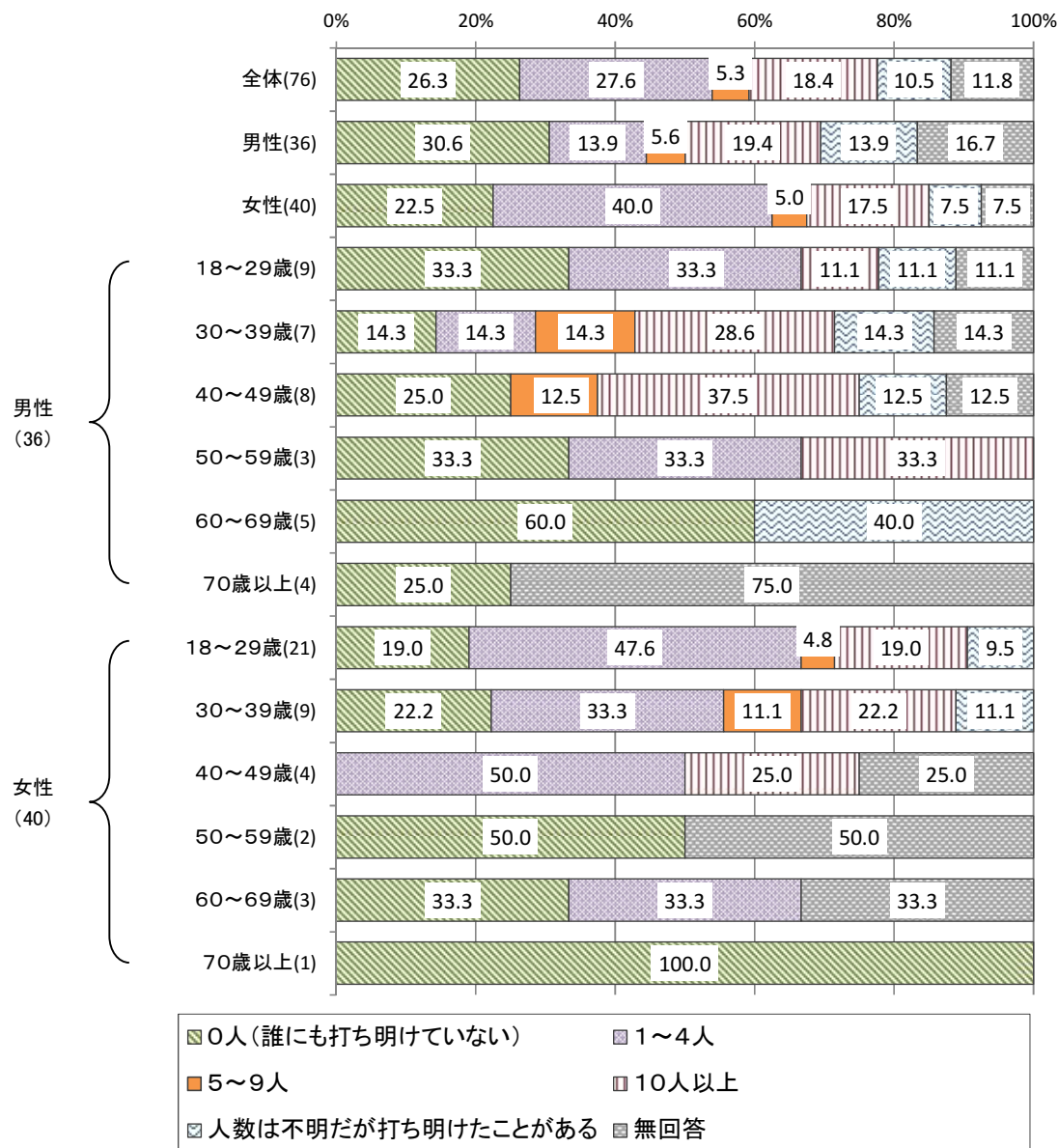
(N=76)



問 1 5 性的少数者であると打ち明けた人数

あなたが、これまでに性的少数者であると打ち明けた人数をお答えください。(○は1つ)【回答者：問12で「2 はい(性的少数者である)」を選択】

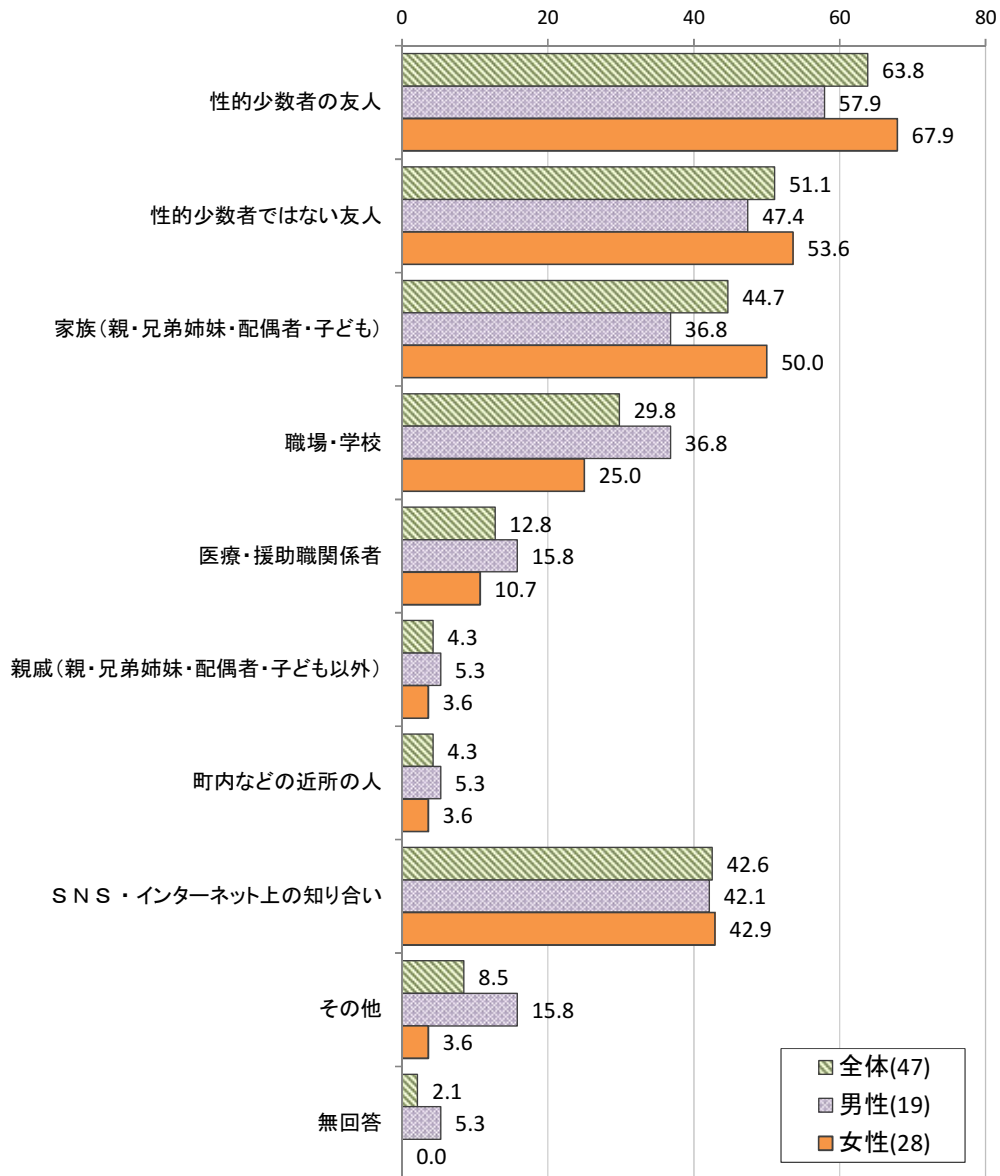
(N=76)



問 1 6 性的少数者であると打ち明けた相手

あなたが、これまでに性的少数者であると打ち明けた相手をお答えください。(〇はいくつでも)
【回答者：問 1 5 で「2 1～4 人」～「5 人数は不明だが打ち明けたことがある」を選択】

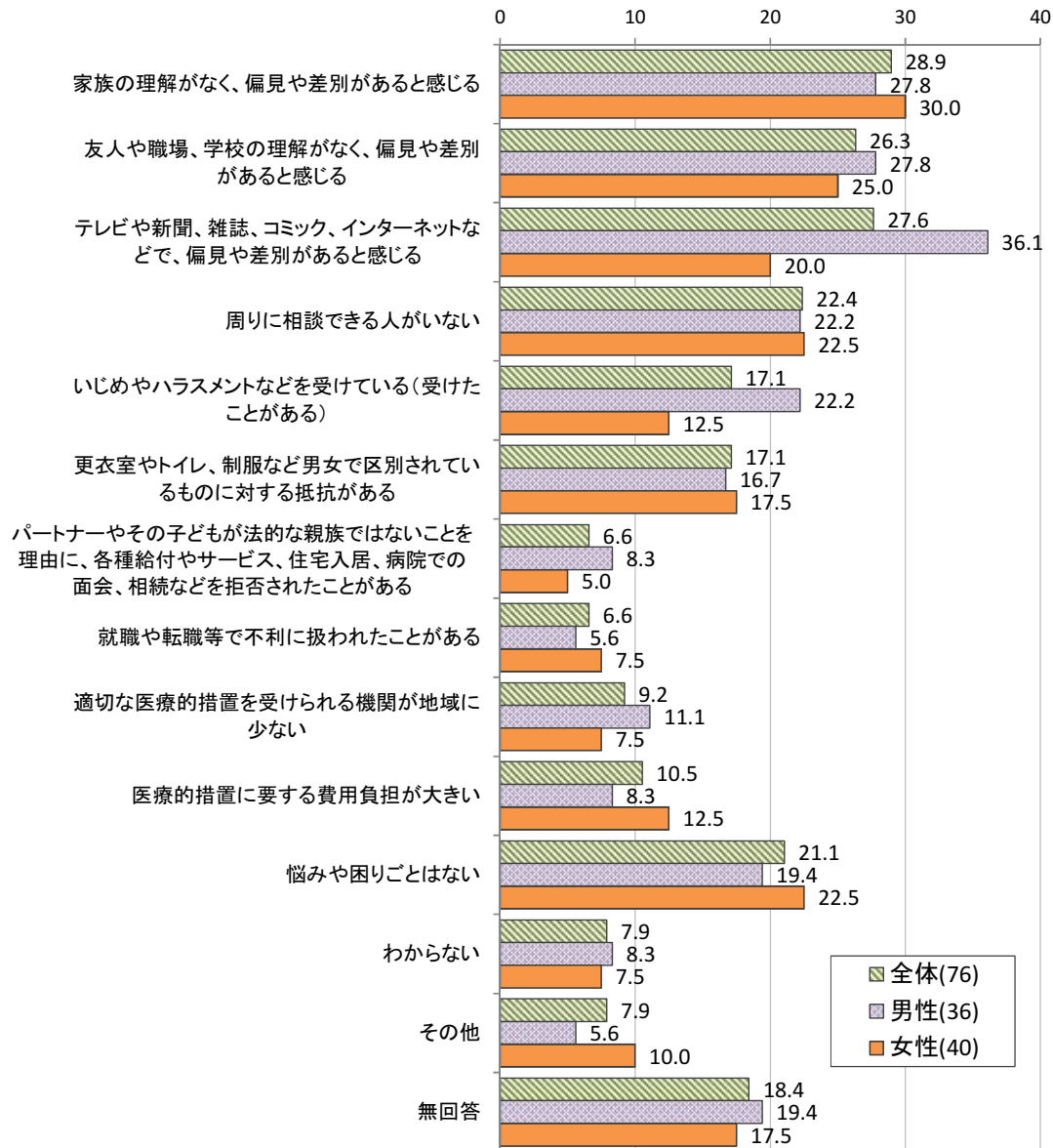
(N=47)



問 1 7 当事者が抱えている悩みや困りごと

あなたが抱えている悩みや困りごとについて、お答えください。(〇はいくつでも)【回答者：問
1 2 で「2 はい(性的少数者である)」を選択】

(N=76)



性的少数者の当事者であることについて

性的少数者の当事者であると回答した人は、全体では1.6%（男性1.8%、女性1.5%）でしたが、年齢層によるばらつきがみられます。最も多いのは18歳～29歳の女性で、8.0%が性的少数者であると回答しており、次いで18歳～29歳男性の4.2%、30歳～39歳男性の2.6%の順になっています。

当事者であると回答した人のうち、全体では「バイセクシュアル・両性愛者」と回答した人が42.1%と最も多く、次いで「トランスジェンダー・性同一性障害・性別違和」と回答した人が15.8%となっています。

性的少数者であると意識し始めた時期については、「高等学校・高等専門学校生」が22.4%と最も多く、次いで「中学生」17.1%、「小学校4～6年生」15.8%となっています。

性的少数者であると打ち明けた人数については、男性では「10人以上」と回答した人が19.4%と最も多く、女性では「1～4人」と回答した人が40.0%と最も多くなっています。その一方で、全体の約4分の1の人が「誰にも打ち明けていない」と回答しています。

当事者が抱えている悩みや困りごとについては、全体では「家族の理解がなく、偏見や差別があると感じる」が28.9%と最も高く、次いで「テレビや新聞、雑誌、コミック、インターネットなどで、偏見や差別があると感じる」27.6%、「友人や職場、学校の理解がなく、偏見や差別があると感じる」26.3%、「周りに相談できる人がいない」22.4%の順となっています。これを男女別にみると、男性で最も高いのは「テレビや新聞、雑誌、コミック、インターネットなどで、偏見や差別があると感じる」の36.1%で、女性は「家族の理解がなく、偏見や差別があると感じる」の30.0%となっています。一方で、「悩みや困りごとはない」と回答している人も21.1%いました。

IV. クロス集計

性的少数者の当事者の意識や認知度等

以下のクロス集計について、問12で「2 はい（性的少数者である）」と回答した方のみの割合を示しています。

問1 男女や性の多様性に関する意識

(N=76)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
ア 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるべきだ	14.5%	14.5%	25.0%	46.1%	0%
イ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	2.6%	10.5%	23.7%	63.2%	0%
ウ 女性のような男性をみると、不快になる	7.9%	6.6%	13.2%	72.4%	0%
エ 男性のような女性をみると、不快になる	3.9%	7.9%	11.8%	75.0%	1.3%
オ 男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい	5.3%	1.3%	18.4%	73.7%	1.3%
カ 女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい	3.9%	2.6%	13.2%	77.6%	2.6%
キ 男性には女性のような服装をする自由がある	52.6%	23.7%	7.9%	13.2%	2.6%
ク 女性には男性のような服装をする自由がある	53.9%	23.7%	7.9%	13.2%	1.3%
ケ 同性を好きになることも性の多様性として認めるべきである	63.2%	18.4%	7.9%	9.2%	1.3%

問2 性的少数者に関する人権上の考え

(N=76)

就職・職場で不利な扱いを受けること	85.5%
経済的に自立していくことが困難なこと	40.8%
病院や福祉施設等での看護や介護における処遇が不適切であること	60.5%
住宅を容易に借りることができない場合があること	63.2%
スポーツ・文化活動や地域活動の参加に支障があること	40.8%
セクシュアリティを明かせないことで精神的負担を被ること	56.6%
テレビやインターネットの中で笑いの素材とされること	52.6%
学校や職場でいじめにあう可能性があること	75.0%
じろじろ見られたり、避けられたりすること	61.8%
交流や交際など日常生活における不利な扱いを受けること	63.2%
異性との交際や結婚を強いられること	68.4%
その他	6.6%
無回答	2.6%

問3 性的少数者に関する言葉の認知度

(N=76)

	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが意味は知らない	知らない	無回答
ア セクシュアル・マイノリティ (性的少数者、性的マイノリティ)	72.4%	19.7%	3.9%	3.9%
イ L G B T	69.7%	17.1%	9.2%	3.9%
ウ レズビアン	94.7%	3.9%	0%	1.3%
エ ゲイ	93.4%	5.3%	0%	1.3%
オ バイセクシュアル	82.9%	9.2%	5.3%	2.6%
カ トランスジェンダー	67.1%	19.7%	11.8%	1.3%
キ カミングアウト	85.5%	6.6%	6.6%	1.3%
ク アウティング	14.5%	22.4%	61.8%	1.3%
ケ S O G I	10.5%	9.2%	78.9%	1.3%

問4 同性愛者やトランスジェンダーに対する寛容性

① 「同性が好きである」(同性愛者)などと打ち明けられた場合

(N=76)

	受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答
ア 父親	43.4%	22.4%	31.6%	2.6%
イ 母親	44.7%	17.1%	36.8%	1.3%
ウ 兄弟姉妹	67.1%	9.2%	21.1%	2.6%
エ 配偶者	38.2%	21.1%	38.2%	2.6%
オ 子ども	68.4%	7.9%	21.1%	2.6%
カ 友人	84.2%	6.6%	7.9%	1.3%
キ 職場の同僚・同じ学校の人	81.6%	3.9%	11.8%	2.6%
ク 親戚(親・兄弟姉妹・配偶者・子ども以外)	72.4%	6.6%	17.1%	3.9%
ケ 町内などの近所の人	73.7%	5.3%	17.1%	3.9%

② 「自分の性別に違和感を持っている」(トランスジェンダー)などと打ち明けられた場合

(N=76)

	受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答
ア 父親	47.4%	13.2%	36.8%	2.6%
イ 母親	50.0%	11.8%	36.8%	1.3%
ウ 兄弟姉妹	72.4%	9.2%	15.8%	2.6%
エ 配偶者	48.7%	17.1%	31.6%	2.6%
オ 子ども	73.7%	9.2%	14.5%	2.6%
カ 友人	84.2%	3.9%	10.5%	1.3%
キ 職場の同僚・同じ学校の人	81.6%	2.6%	14.5%	1.3%
ク 親戚(親・兄弟姉妹・配偶者・子ども以外)	73.7%	3.9%	19.7%	2.6%
ケ 町内などの近所の人	76.3%	3.9%	15.8%	3.9%

問5 周囲に性的少数者がいるかということ

(N=76)

いる	43.4%
いない	30.3%
わからない	25.0%
無回答	1.3%

問6 周囲の性的少数者との関係

(N=33)

家族（親・兄弟姉妹・配偶者・子ども）	3.0%
友人	75.8%
職場の同僚・同じ学校の人	18.2%
親戚（親・兄弟姉妹・配偶者・子ども以外）	0%
町内などの近所の人	3.0%
その他	18.2%
無回答	3.0%

問7 周囲の性的少数者の人数

(N=33)

1人	6.1%
2～4人	33.3%
5～9人	12.1%
10人以上	27.3%
正確な人数はわからない	18.2%
無回答	3.0%

問8 性的少数者から打ち明けられた経験

(N=76)

ある	42.1%
ない	55.3%
無回答	2.6%

問 9 性的少数者に必要な意識啓発や支援

(N=76)

相談できる窓口の設置	48.7%
気持ちや情報を共有できる居場所づくり	51.3%
いじめや差別を禁止する法律や条例の制定	48.7%
行政職員や教職員に対する研修の実施	28.9%
企業等に対する啓発活動の実施	26.3%
地域住民に対する啓発活動の実施	19.7%
幼少期からの教育の充実	44.7%
更衣室やトイレ、制服など男女で区別されているものに対する配慮	53.9%
同性同士のパートナーであることを証明する行政の証明書等の発行	43.4%
同性同士のパートナーやその家族も、法律上の夫婦や家族と同等に扱うこと	57.9%
必要だとは思わない	3.9%
わからない	5.3%
その他	5.3%
無回答	1.3%

問 10 性的少数者に関する情報源

(N=76)

家族	6.6%
学校	5.3%
職場	11.8%
テレビ（報道・教養番組）	55.3%
テレビ（娯楽番組等）	42.1%
テレビドラマ・映画	35.5%
新聞	23.7%
雑誌・書籍	30.3%
ラジオ	7.9%
女性向けマンガ・コミック	26.3%
男性向けマンガ・コミック	15.8%
インターネット（SNS等）	61.8%
見聞きしたものはなし	5.3%
その他	3.9%
無回答	1.3%

問 11 セクシュアル・マイノリティについての知識欲

(N=76)

そう思う	48.7%
ややそう思う	17.1%
あまりそう思わない	21.1%
そう思わない	11.8%
無回答	1.3%

調査票

性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）など 性別にかかわる市民意識調査

名古屋市では、LGBTなど性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）（以下性的少数者）の方々の生き方が尊重されるよう、「男女平等参画基本計画2020」や「新なごや人権施策推進プラン」に基づき、偏見や差別の解消に向けた取組みの推進に努めています。

この調査は今後、性的少数者に関する本市施策の参考とさせていただくことを目的としており、お答えいただいた情報はすべて統計的に処理され、調査結果から個人が特定されることはありません。

ご記入上の注意点

- ・この調査用紙は、あて名のご本人がすべてお答えください。
- ・設問には初めから順にお答えください。
- ・お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに
7月31日（火）までにご投函くださいますようお願い申し上げます。

性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）について

性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）とは、同性愛者、両性愛者、トランスジェンダーやその他の多様な性自認や性的指向を持つ人のことです。

LGBTとは、性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）の一部で、L（レズビアン：女性の同性愛者）、G（ゲイ：男性の同性愛者）、B（バイセクシュアル：両性愛者）、T（トランスジェンダー：性同一性障害・性別違和など）の頭文字を合わせた言葉です。あくまでも性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）をあらわす総称の一つとして使われています。

【全員の方にうかがいます】

問1 次のア～ケのそれぞれについて、あなたのお考えやお気持ちにもっとも近いものを1～4、から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	どちら かとい えば そう 思わ ない	そう 思わ ない	無 回 答
ア 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるべきだ	(22.3%) 1,036 人	(42.4%) 1,976 人	(16.9%) 789 人	(17.4%) 811 人	(0.9%) 43 人
イ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ(働くのは男性で、家事は女性がするべきだ)	(4.9%) 228 人	(22.2%) 1,033 人	(26.8%) 1,246 人	(45.5%) 2,116 人	(0.7%) 32 人
ウ 女性のような男性をみると、不快になる	(8.3%) 386 人	(19.5%) 906 人	(26.4%) 1,230 人	(45.1%) 2,099 人	(0.7%) 34 人
エ 男性のような女性をみると、不快になる	(5.7%) 266 人	(15.7%) 730 人	(30.9%) 1,438 人	(46.9%) 2,181 人	(0.9%) 40 人
オ 男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい	(12.8%) 594 人	(22.2%) 1,032 人	(26.4%) 1,227 人	(37.7%) 1,756 人	(1.0%) 46 人
カ 女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい	(10.8%) 502 人	(21.7%) 1,009 人	(28.0%) 1,302 人	(38.5%) 1,793 人	(1.1%) 49 人
キ 男性には女性のような服装をする自由がある	(29.9%) 1,394 人	(35.3%) 1,642 人	(21.2%) 989 人	(12.3%) 573 人	(1.2%) 57 人
ク 女性には男性のような服装をする自由がある	(32.5%) 1,515 人	(38.9%) 1,812 人	(17.2%) 801 人	(10.2%) 477 人	(1.1%) 50 人
ケ 同性を好きになることも性の多様性として認めるべきである	(37.4%) 1,742 人	(37.3%) 1,736 人	(13.7%) 639 人	(10.5%) 491 人	(1.0%) 47 人

【全員の方にうかがいます】

問2 次の性的少数者に関する事から、人権上問題があると思われるものはどれですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 1 就職・職場で不利な扱いを受けること | (81.4%) 3,788 人 |
| 2 経済的に自立していくことが困難なこと | (38.0%) 1,769 人 |
| 3 病院や福祉施設等での看護や介護における処遇が不適切であること | (56.0%) 2,605 人 |
| 4 住宅を容易に借りることができない場合があること | (55.1%) 2,565 人 |
| 5 スポーツ・文化活動や地域活動の参加に支障があること | (39.6%) 1,845 人 |
| 6 セクシュアリティを明かせないことで精神的負担を被ること | (46.1%) 2,147 人 |
| 7 テレビやインターネットの中で笑いの素材とされること | (46.2%) 2,149 人 |
| 8 学校や職場でいじめにあう可能性があること | (72.9%) 3,393 人 |
| 9 じろじろ見られたり、避けられたりすること | (45.9%) 2,138 人 |
| 10 交流や交際など日常生活における不利な扱いを受けること | (44.9%) 2,090 人 |
| 11 異性との交際や結婚を強いられること | (49.2%) 2,290 人 |
| 12 その他 | (2.0%) 91 人 |
| 無回答 | (4.0%) 186 人 |

【全員の方にうかがいます】

問3 次のア～ケの言葉と意味について、知っていますか。次の1～3、から1つ選んで〇をつけてください。（それぞれ〇は1つ）

	言葉も意味も 知っている	言葉は知っているが 意味は知らない	知らない	無回答
ア セクシュアル・マイノリティ (性的少数者、性的マイノリティ)	(53.5%) 2,492 人	(25.7%) 1,197 人	(18.9%) 882 人	(1.8%) 84 人
イ L G B T	(40.7%) 1,895 人	(17.9%) 831 人	(38.8%) 1,804 人	(2.7%) 125 人
ウ レズビアン	(91.5%) 4,261 人	(5.3%) 246 人	(2.0%) 92 人	(1.2%) 56 人
エ ゲイ	(91.8%) 4,275 人	(5.5%) 255 人	(1.6%) 74 人	(1.1%) 51 人
オ バイセクシュアル	(62.9%) 2,927 人	(17.2%) 801 人	(17.7%) 823 人	(2.2%) 104 人
カ トランスジェンダー	(42.4%) 1,972 人	(24.3%) 1,129 人	(31.3%) 1,457 人	(2.1%) 97 人
キ カミングアウト	(69.4%) 3,230 人	(12.7%) 593 人	(16.0%) 746 人	(1.8%) 86 人
ク アウティング	(5.9%) 275 人	(9.9%) 460 人	(81.8%) 3,809 人	(2.4%) 111 人
ケ SOGI	(2.3%) 107 人	(6.0%) 281 人	(89.3%) 4,159 人	(2.3%) 108 人

【全員の方にうかがいます】

問4 あなたは、次のア～ケの身近な人から、①「同性が好きである」(同性愛者)や、②「自分の性別に違和感を持っている」(トランスジェンダー)などと打ち明けられたとき、受け入れられますか。あなたのお気持ちにもっとも近いものを、①②それぞれについて1～3、から1つ選んで○をつけてください。
(それぞれ○は1つ)

① 同性が好きである」(同性愛者)などと打ち明けられた場合

	受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答
ア 父親	(12.7%) 592 人	(43.4%) 2,021 人	(39.9%) 1,859 人	(3.9%) 183 人
イ 母親	(13.7%) 639 人	(42.4%) 1,972 人	(39.8%) 1,854 人	(4.1%) 190 人
ウ 兄弟姉妹	(36.3%) 1,691 人	(23.6%) 1,098 人	(36.1%) 1,682 人	(4.0%) 184 人
エ 配偶者	(10.9%) 508 人	(51.0%) 2,372 人	(34.0%) 1,583 人	(4.1%) 192 人
オ 子ども	(30.5%) 1,422 人	(23.5%) 1,093 人	(42.0%) 1,956 人	(4.0%) 184 人
カ 友人	(62.3%) 2,900 人	(8.6%) 399 人	(25.6%) 1,192 人	(3.5%) 164 人
キ 職場の同僚・同じ学校の人	(64.6%) 3,005 人	(7.0%) 327 人	(24.4%) 1,137 人	(4.0%) 186 人
ク 親戚 (親・兄弟姉妹・配偶者・子ども以外)	(56.2%) 2,615 人	(9.8%) 456 人	(30.1%) 1,402 人	(3.9%) 182 人
ケ 町内などの近所の人	(63.7%) 2,967 人	(7.1%) 332 人	(25.4%) 1,184 人	(3.7%) 172 人

②「自分の性別に違和感を持っている」（トランスジェンダー）などと打ち明けられた場合

	受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答
ア 父親	(19.7%) 918 人	(32.5%) 1,514 人	(43.2%) 2,013 人	(4.5%) 210 人
イ 母親	(20.2%) 939 人	(32.4%) 1,508 人	(42.8%) 1,992 人	(4.6%) 216 人
ウ 兄弟姉妹	(40.1%) 1,865 人	(19.7%) 919 人	(35.7%) 1,663 人	(4.5%) 208 人
エ 配偶者	(18.6%) 868 人	(39.6%) 1,842 人	(37.2%) 1,731 人	(4.6%) 214 人
オ 子ども	(35.5%) 1,651 人	(20.2%) 939 人	(39.7%) 1,848 人	(4.7%) 217 人
カ 友人	(62.9%) 2,930 人	(7.3%) 340 人	(25.6%) 1,192 人	(4.1%) 193 人
キ 職場の同僚・同じ学校の人	(64.8%) 3,015 人	(5.6%) 259 人	(25.2%) 1,174 人	(4.4%) 207 人
ク 親戚 (親・兄弟姉妹・配偶者・子ども以外)	(58.3%) 2,715 人	(7.9%) 370 人	(29.4%) 1,367 人	(4.4%) 203 人
ケ 町内などの近所の人	(63.9%) 2,973 人	(5.5%) 254 人	(26.3%) 1,225 人	(4.4%) 203 人

【全員の方にうかがいます】

問5 あなたの周りに、同性愛者や性別を変えた、又は変えようと考えている人はいますか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|-----------------|----------|
| 1 いる | (12.6%) 587 人 | } (→問6へ) |
| 2 いない | (69.8%) 3,249 人 | |
| 3 わからない | (16.0%) 743 人 | |
| 無回答 | (1.6%) 76 人 | |

【問5で「1 いる」を選択された方にうかがいます】

問6 あなたと、その方との関係についてお答えください。(〇はいくつでも)

1 家族(親・兄弟姉妹・配偶者・子ども)	(2.6%) 15 人
2 友人	(51.3%) 301 人
3 職場の同僚・同じ学校の人	(29.0%) 170 人
4 親戚(親・兄弟姉妹・配偶者・子ども以外)	(5.1%) 30 人
5 町内などの近所の人	(7.5%) 44 人
6 その他	(17.9%) 105 人
無回答	(2.6%) 15 人

【問5で「1 いる」を選択された方にうかがいます】

問7 あなたの周りに、同性愛者や性別を変えた、又は変えようと考えている人は何人いますか。(〇は1つ)

1 1人	(44.1%) 259 人
2 2～4人	(37.5%) 220 人
3 5～9人	(3.7%) 22 人
4 10人以上	(3.6%) 21 人
5 正確な人数はわからない	(7.0%) 41 人
無回答	(4.1%) 24 人

【全員の方にうかがいます】

問8 あなたは、同性愛者であることや、性別を変えた、又は変えようと考えていることを打ち明けられた経験はありますか。(〇は1つ)

1 ある	(9.7%) 451 人
2 ない	(89.3%) 4,156 人
無回答	(1.0%) 48 人

【全員の方にうかがいます】

問9 あなたは、同性愛者や性別を変えた、又は変えようと考えている人に関して、どのような意識啓発や、支援が必要だと思いますか。1～13のうち、当てはまるものの番号を最大5つまで□に記入してください。「13 その他」の場合は、具体的に記入してください。

1 相談できる窓口の設置	(68.1%) 3,172 人
2 気持ちや情報を共有できる居場所づくり	(48.7%) 2,269 人
3 いじめや差別を禁止する法律や条例の制定	(32.5%) 1,514 人
4 行政職員や教職員に対する研修の実施	(35.4%) 1,647 人
5 企業等に対する啓発活動の実施	(28.2%) 1,314 人
6 地域住民に対する啓発活動の実施	(12.8%) 595 人
7 幼少期からの教育の充実	(39.0%) 1,817 人
8 更衣室やトイレ、制服など男女で区別されているものに対する配慮	(42.2%) 1,966 人
9 同性同士のパートナーであることを証明する行政の証明書等の発行	(27.6%) 1,284 人
10 同性同士のパートナーやその家族も、法律上の夫婦や家族と同等に扱うこと	(40.8%) 1,900 人
11 必要だとは思わない	(4.6%) 215 人
12 わからない	(9.5%) 441 人
13 その他	(1.7%) 79 人
無回答	(2.7%) 126 人

【全員の方にうかがいます】

問10 あなたが最近、性的少数者に関して情報を見聞きしたものはどれですか。次の1～14のうち当てはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | | |
|-----------------|----------------|------------------|----------------|
| 1 家族 | (2.3%) 109人 | 2 学校 | (2.3%) 108人 |
| 3 職場 | (5.8%) 271人 | 4 テレビ(報道・教養番組) | (58.1%) 2,706人 |
| 5 テレビ(娯楽番組等) | (48.1%) 2,237人 | 6 テレビドラマ・映画 | (29.5%) 1,372人 |
| 7 新聞 | (27.9%) 1,299人 | 8 雑誌・書籍 | (16.3%) 757人 |
| 9 ラジオ | (5.2%) 240人 | 10 女性向けマンガ・コミック | (5.5%) 254人 |
| 11 男性向けマンガ・コミック | (3.6%) 166人 | 12 インターネット(SNS等) | (21.3%) 990人 |
| 13 見聞きしたものはなし | (7.0%) 328人 | 14 その他 | (1.7%) 81人 |
| 無回答 | (1.9%) 90人 | | |

【全員の方にうかがいます】

問11 セクシュアル・マイノリティについて、もっと詳しく知りたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 そう思う | (9.8%) 457人 |
| 2 ややそう思う | (25.3%) 1,178人 |
| 3 あまりそう思わない | (42.2%) 1,964人 |
| 4 そう思わない | (21.4%) 997人 |
| 無回答 | (1.3%) 59人 |

【全員の方にうかがいます】

問12 あなたご自身は、性的少数者の当事者ですか。(○は1つ、ただし、答えたくない場合は無記入でも構いません。その場合は、問18へ進んでください。)

- | | | |
|------------------|----------------|---------|
| 1 いいえ(性的少数者ではない) | (95.1%) 4,428人 | (→問18へ) |
| 2 はい(性的少数者である) | (1.6%) 76人 | (→問13へ) |
| 無回答 | (3.2%) 151人 | |

【問12で「2 はい(性的少数者である)」を選択された方にうかがいます】

問13 あなたご自身の認識に近いものはどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| 1 L(レズビアン・女性同性愛者) | (5.3%) 4人 |
| 2 G(ゲイ・男性同性愛者) | (13.2%) 10人 |
| 3 B(バイセクシュアル・両性愛者) | (42.1%) 32人 |
| 4 T(トランスジェンダー・性同一性障害・性別違和) | (15.8%) 12人 |
| 5 X(エックスジェンダー・男性女性どちらでもない又はどちらでもある) | (13.2%) 10人 |
| 6 Q(クエスチョニング・性が定まっていない) | (3.9%) 3人 |
| 7 わからない、決めたくない | (14.5%) 11人 |
| 8 その他 | (6.6%) 5人 |
| 無回答 | (14.5%) 11人 |

【問12で「2 はい（性的少数者である）」を選択された方にうかがいます】

問14 あなたが、性的少数者であると意識し始めた時期をお答えください。
(○は1つ)

- | | | | |
|----------------|-------------|-----------------|-------------|
| 1 小学生より前 | (5.3%) 4人 | 2 小学校1～3年生 | (6.6%) 5人 |
| 3 小学校4～6年生 | (15.8%) 12人 | 4 中学生 | (17.1%) 13人 |
| 5 高等学校・高等専門学校生 | (22.4%) 17人 | 6 短期大学・大学・専門学校生 | (6.6%) 5人 |
| 7 その他 | (9.2%) 7人 | | |
| 無回答 | (17.1%) 13人 | | |

【問12で「2 はい（性的少数者である）」を選択された方にうかがいます】

問15 あなたが、これまでに性的少数者であると打ち明けた人数をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------|-------------|-----------|
| 1 0人（誰にも打ち明けていない） | (26.3%) 20人 | (→問17へ) |
| 2 1～4人 | (27.6%) 21人 | } (→問16へ) |
| 3 5～9人 | (5.3%) 4人 | |
| 4 10人以上 | (18.4%) 14人 | |
| 5 人数は不明だが打ち明けたことがある | (10.5%) 8人 | |
| 無回答 | (11.8%) 9人 | |

【問15で「2 1～4人」～「5 人数は不明だが打ち明けたことがある」を選択された方にうかがいます】

問16 あなたが、これまでに性的少数者であると打ち明けた相手をお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1 性的少数者の友人 | (63.8%) 30人 |
| 2 性的少数者ではない友人 | (51.1%) 24人 |
| 3 家族（親・兄弟姉妹・配偶者・子ども） | (44.7%) 21人 |
| 4 職場・学校 | (29.8%) 14人 |
| 5 医療・援助職関係者 | (12.8%) 6人 |
| 6 親戚（親・兄弟姉妹・配偶者・子ども以外） | (4.3%) 2人 |
| 7 町内などの近所の人 | (4.3%) 2人 |
| 8 SNS・インターネット上の知り合い | (42.6%) 20人 |
| 9 その他 | (8.5%) 4人 |
| 無回答 | (2.1%) 1人 |

【問 1 2 で「2 はい（性的少数者である）」を選択された方にうかがいます】

問 1 7 あなたが抱えている悩みや困りごとについて、お答えください。
(○はいくつでも)

- | | |
|---|--------------|
| 1 家族の理解がなく、偏見や差別があると感じる | (28.9%) 22 人 |
| 2 友人や職場、学校の理解がなく、偏見や差別があると感じる | (26.3%) 20 人 |
| 3 テレビや新聞、雑誌、コミック、インターネットなどで、偏見や差別があると感じる | (27.6%) 21 人 |
| 4 周りに相談できる人がいない | (22.4%) 17 人 |
| 5 いじめやハラスメントなどを受けている（受けたことがある） | (17.1%) 13 人 |
| 6 更衣室やトイレ、制服など男女で区別されているものに対する抵抗がある | (17.1%) 13 人 |
| 7 パートナーやその子どもが法的な親族ではないことを理由に、各種給付やサービス、住宅入居、病院での面会、相続などを拒否されたことがある | (6.6%) 5 人 |
| 8 就職や転職等で不利に扱われたことがある | (6.6%) 5 人 |
| 9 適切な医療的措置を受けられる機関が地域に少ない | (9.2%) 7 人 |
| 10 医療的措置に要する費用負担が大きい | (10.5%) 8 人 |
| 11 悩みや困りごとはない | (21.1%) 16 人 |
| 12 わからない | (7.9%) 6 人 |
| 13 その他 | (7.9%) 6 人 |
| 無回答 | (18.4%) 14 人 |

【全員の方にうかがいます】

問 1 8 最後に、あなた自身のことについておたずねします。

F 1 戸籍上の性別をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------|-----------------|
| 1 男性 | (44.1%) 2,051 人 |
| 2 女性 | (55.9%) 2,604 人 |

F 2 年齢（満年齢）をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 18～29歳 | (10.2%) 475 人 |
| 2 30～39歳 | (13.8%) 642 人 |
| 3 40～49歳 | (18.3%) 850 人 |
| 4 50～59歳 | (17.5%) 814 人 |
| 5 60～69歳 | (18.7%) 870 人 |
| 6 70歳以上 | (21.6%) 1,004 人 |

F 3 あなたは結婚していますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 結婚している（事実婚を含む） | (66.9%) 3,115 人 |
| 2 離別・死別した | (13.5%) 627 人 |
| 3 結婚したことはない | (19.2%) 896 人 |
| 無回答 | (0.4%) 17 人 |

F 4 あなたと現在同居している家族の構成は、次のうちどれにあたりますか。

(○は1つ)

1 単身世帯（一人暮らし）	(14.0%)	651 人
2 1 世代世帯（夫婦だけ）	(27.5%)	1,280 人
3 2 世代世帯（親と子）	(46.4%)	2,159 人
4 3 世代世帯（親と子と孫）	(7.9%)	367 人
5 その他	(3.8%)	176 人
無回答	(0.5%)	22 人

F 5 現在のあなたの暮らしむきについて、もっともあてはまるものはどれにあたりますか。(○は1つ)

1 たいへんゆとりがある	(4.3%)	202 人
2 ややゆとりがある	(16.8%)	780 人
3 ふつう	(57.2%)	2,663 人
4 やや苦しい	(16.0%)	745 人
5 たいへん苦しい	(5.5%)	254 人
無回答	(0.2%)	11 人

F 6 あなたの最終学歴をお答えください。在学中・退学は卒業とみなしてください。

(○は1つ)

1 中学校（新制中学、高等小学校を含む）	(8.8%)	408 人
2 高等学校（新制高校、旧制中学、高等女学校を含む）	(34.3%)	1,597 人
3 専修学校、職業訓練校	(8.0%)	373 人
4 短期大学、新制高等専門学校	(13.0%)	606 人
5 大学（大学院、旧制女子専門学校、旧制高等専門学校を含む）	(35.6%)	1,658 人
無回答	(0.3%)	13 人

F 7 あなたのご職業をお答えください。(○は1つ)

1 会社員・公務員（フルタイム）	(34.0%)	1,584 人
2 自営・自由業	(8.5%)	396 人
3 アルバイト・パート（派遣も含む）	(18.0%)	839 人
4 家事専業	(14.5%)	673 人
5 学生	(2.7%)	126 人
6 無職（定年後も含む）	(19.0%)	886 人
7 その他	(2.6%)	122 人
無回答	(0.6%)	29 人

F 8 あなたのお住まいの区はどこですか。(〇は 1 つ)

1 千種区 (7.2%) 334 人	2 東 区 (3.5%) 165 人	3 北 区 (7.4%) 343 人
4 西 区 (6.5%) 303 人	5 中村区 (5.6%) 261 人	6 中 区 (3.1%) 146 人
7 昭和区 (4.6%) 214 人	8 瑞穂区 (5.4%) 253 人	9 熱田区 (2.9%) 135 人
10 中川区 (9.1%) 425 人	11 港 区 (5.2%) 242 人	12 南 区 (5.5%) 255 人
13 守山区 (7.3%) 339 人	14 緑 区 (11.3%) 528 人	15 名東区 (7.1%) 331 人
16 天白区 (7.3%) 342 人	無回答 (0.8%) 39 人	

[性的少数者や今回のアンケートに関し、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください]

～本調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。～